



2013年度 事業報告書 決算報告書

1月通常総会資料

事業年度 自 2013年 1月 4日
至 2013年 12月 31日

公益社団法人 長井青年会議所

The Creed of Junior Chamber International

We Believe :

That faith in God gives meaning
and purpose to human life ;
That the brotherhood of man
transcends the sovereignty of nations ;
That economic justice can best be won
by free men through free enterprise ;
That government should be of laws
rether than of men ;
That earth's great treasure lies in
human personality ; and
That service to humannity is the best
work of life

[邦訳]

我々はかく信じる

人生に意味と目的を与えてくれるのが信仰です

人類の同胞愛は、国家の主権すら超えたものであります

経済の正しい発展は、自由経済社会によって、最もよく成し遂げられます

政府の運営は、人によって左右されず、法によってなされるべきであります

この世の本当の宝は、人間の個性であります

人生最善の仕事とは、人類への奉仕であります

わたしたちは、以上の事を信じます

JC宣言

日本の青年会議所は

混沌という未知の可能性を切り開き

個人の自立性と社会の公共性が

生き生きと調和する確かな時代を築くために

率先して行動する事を宣言する

綱 領

われわれ J A Y C E E は

社会的・国家的・国際的な責任を自覚し

志を同じうするもの 相集い 力を合わせ

青年としての

英知と勇気と情熱をもって

明るい豊かな社会を築き上げよう

社団法人長井青年会議所は1966年、長井の未来を拓く青年経済人が集い、県内4番目の青年会議所として創立されました。以来45年にわたり先輩諸兄から脈々と受け継がれた地域を愛する精神と、若さあふれる発想を持って地域社会の発展のためまちづくり運動を展開してまいりました。今年度、ひとつの節目を迎えるにあたり今まで以上に地域社会から必要とされる存在であり続けるために、活動の道しるべとなる今後5年間の運動指針を提言します。

公益社団法人長井青年会議所 運動指針 2010年～2014年

確かな地域連携社会の実現へ
～共に手を取り合うところ豊かな地域の創造～

【まちづくり】

人と人との交流の輪を広げることが、地域全体を巻き込んだ活性化とまちづくりに対する意識の向上に繋がります。我々青年会議所が主導的に地域の抱える問題をしっかりと認識し課題解決に取り組み、その地域が持つ様々な資源を最大限に引き出し活用することで、その地に暮らす人たちの愛郷心を育み、更なるまちづくりに対する参画を促し、ところ豊かに暮らせるまちの醸成に努めます。

【ひとづくり】

多種多様な個のちからを集積、融合することは様々な問題に挑戦できる「つよさ」となります。輝く地域の未来を創造する経験と学びの中から個のちからも高まり、混沌とした現状を打開出来る勇気が生まれます。地域社会の問題を解決する手法を見出し、地域資源の保全と価値を提供できる人材の育成を行います。

【ところづくり】

地域の未来を担う子供たちがところ豊かに成長するために、地域社会と家庭、学校が三位一体となり、それぞれが常に問題意識をもって、学びの機会を創出していく事が大切であると考えます。地域社会の豊富な教育資源を効果的に結びつけ活用するコーディネート機能を担いながら地域教育を更に実践して参ります。

2013年度スローガン

<公益社団法人 日本青年会議所 2013年度 スローガン>

新しい時代への燈火となれ！

<公益社団法人 日本青年会議所 2013年度 東北地区協議会 スローガン>

LiNK-TOHOKU

～つなごう！東北 新たなコミュニティーの創造へ向けて～

<公益社団法人 日本青年会議所 2013年度 東北地区山形ブロック協議会 スローガン>

清らかな「こころ」に火を燈そう！

～熱意、情熱こそが創造の源泉である～

<社団法人 長井青年会議所 2013年度 スローガン>

自己の信念を持って、決断！行動！



所 感

公益社団法人長井青年会議所

第48代理事長 鈴木喜典

幸せとは

2013年度、皆さん幸せでしたか。私はとっても幸せでした。公益社団法人長井青年会議所第48代理事長として、組織のトップとして1年間活動できたことは私の人生の中で大きな意味を持つものだと思います。J Cの中で地域に求められている姿を具現化する活動、事業を開催していただけました。本当に有難う御座いました。

J C理事長としての担いは内部のトップとしてだけではなく、青年公益団体長として様々な外部の会議へ参加させていただきその中で個人の意見ではなくリーダーとしての考えを言わせていただきました。長井市が構想している「道の駅」。建設の是非や場所、内容など市民からの意見も取り入れ建設が決定されました。地域の様々な魅力の発信地、新規雇用の開発などいいこと尽くめのように聞こえますがそれ程甘いものではないでしょう。経済下降、人口減少、少子化などを鑑みれば過大な収益を上げることは困難なのかも知れません。斬新な人材登用により短期の収益は十分見込めるかも知れませんが継続的運営になるとしっかりとしたプランを持って市民が活用できる公の施設として認識されなければなりません。市外の方は何を目的にこの地にやってくるのでしょうか。何も目的が無いまま訪れる人は稀です。何か目的を持ってこの地を訪れる、その目的が他地域より見劣りするのためにこの長井西置賜地域は観光客が増えない、これは明白です。それだから新たな魅力を作る、その魅力が過小、または飽きられれば更に新たな魅力を作る、これが昨今の地域観光です。その魅力が継続すればそれは文化になり、歴史になります。その魅力がなくなりつつある中心市街地が3年後国の市街地活性化事業で大きく変化します。今まで下降線をたどっていた中心市街地へ地域に必要な施設を作り、新たなまちとして再生する事業です。市民や居住者の意見を吸い上げ将来に亘って必要なまちを作り上げることが肝心です。個人の考えでそれぞれに建物を作っていく今までのやり方ではばらばらなまちになってしまいます。人口減少地域にはみんなが幸せになるようみんなが意見を出し合える仕組みが必要です。みんなで地域を作り上げみんなで幸せになりましょう。そんな地域を牽引する若者団体がJ Cであることは言うまでもありません。J Cはもっと積極的に政策を提言できる組織であるよう願います。

日本青年会議所や東北地区協議会、山形ブロック協議会に対しても社会の変化を十分に理解し、新たな考え、政策を会員の意思による進化を期待します。公益社団法人格を取得して以来、社会に開かれた事業や求められる活動を積極的に行なっている現状は非常に評価できます。しかしながらかつての感覚に陶醉する一部の経験者によってこうあるべきという固定観念がいまだに満ちています。青年としての独自性ある社会への提言を時代時代の当事者による行動を取るべきだと考えます。単年度性で解決できなければ通年来の継続的解決を決議し未来への布石とするべきです。

夢灯り

7月に開催された「みんなで灯そう~夢灯り~2014絆」そして「元気創造プロジェクト~みんなの心に太陽を~」今年度で5回目を数え長井J Cの継続事業として地域に根ざしてきた事業です。結果として事業開催中のあやめまつり来場者も前年比増、多くの皆様との関わりをもって成功に終わることができました。そこに至るまでの大竹委員長、まちづくり委員会の苦悩、努力は非常に大変だったと思います。事業立案、委員会運営など多くの問題点がありました。それをみんなで解決し、開催に至りました。基金申請をするためにステージでのイベントを夢灯りと分離し開催したことは非常に評価に値する動きでした。今後はこういった基金がいただけなくても企業協賛金、長井市行政の事業として企画する方法など金銭面に関しては様々な方法が考えられます。しかしながら第一にこの「夢灯り」の目的を明確化し、どういったことを伝えたいかを考え、発信することが必要です。この事業の意味を信じ、ぶれる事の無い想いを持ってすればまだまだ継続できる事業だと思います。

防災

7月に発災した集中豪雨にて置賜地方に大きな被害をもたらしました。長井市では我々長井J Cも参加し被害状況の調査後、災害ボランティアセンターを開設するに至らないと判断しましたが白鷹町や南陽市ではボランティアセンターを開設し、長井J Cからもお手伝いやボランティアに行かせていただきました。そこで再確認したのがJ Cのちからでした。我々が率先して行動することにより周囲の方々へ想いを伝達する。お隣の方が困っていたら助けてあげる、人として当たり前の行動を我々は取ることが出来ます。

私も防災については事業を検討することを年初委員会にお願いしておりましたが身近な災害を体験してJ Cが行わなければならない動きがはっきりしました。それは外部の災害に対して迅速に行動できる組織の構築と日頃の備え、訓練。内部の災害に関してはボランティアを受け入れる災害ボランティアセンターの運営。それらのことを念頭にすれば事業の立案も明確になってくるとおもわれます。地域に求められる担いを認識し、継続的事业として扱っていただきたいと思っています。

青少年育成

継続して開催できる青少年事業開発をひとつづくり委員会、椎名委員長にお願いしておりました。そして「ながい寺子屋」という名称のもと学校や家庭で学ぶことができない学びを行う場として立案、実施しました。教育関係者、PTAなど子供に関わる様々な方々との意見交換を行い、その中で見えてきた教育問題の現状、それをJCが解決できる糸口が「アウトメディア」でした。10年前には考えられないくらい生活を便利にしてくれる様々なメディア機器が現代では氾濫しております。そんな便利な機器は親にとって乳幼児のころから便利な玩具として子供に与え、小学生では当たり前のようにそんな機器を持っています。しかしながら成長期に与える影響は障害を与えるまでになるという医学的結果が出ております。そんなメディアを無くすことはできないまでも減らす運動を学校、家庭は推進している現状を鑑み、JCとしても同じ想いを持って事業立案しました。親に対する講演会、普段できない自然遊びや宿泊体験をした「ながい寺子屋 アウトメディアな一泊二日宿泊体験」一年間でこれほどまでの成果が出たことはメンバーの能力の高さかと思えます。この継続事業を内容は変われど想いを引き継いで次年度以降も開催していただきたいと思えます。

人材育成

青年会議所は地域意識改革団体であります。地域を明るく豊かな社会に導く活動をするJCメンバー自身の資質向上は必要です。活動を共に行ない向上する能力もありますが能力を育成するカリキュラムも必要不可欠です。今年度は外部から招聘した講師によるセミナーや会議、組織を運営する資質を高めるJCアカデミーを開催しました。実際にJC活動や会社運営の基礎となる能力開発を念頭に実施しました。私にとっては人材育成、能力開発こそがJCの原点であると考えます。これからも是非実施していただきたい分野であります。

会員拡大

今年度は必ずメンバーを増やします、これが年頭に公言した目標です。会員拡大はJCの大きな事業です。共に事業を実施し、地域の意識を変革する同士を集うこと。年初23名だったメンバーが今年度は36名に増えました、実質13名の拡大。1年でこんなにメンバーを増やした年は近年ありません。本当にメンバーみんなで勝ち取った成功事業でありました。会社経営者だけでなく、様々な分野の人材が入会していただきました、有難う御座います。入会に至るまでの経緯は様々ですがまずは新鮮な候補者情報の共有、そしてその候補者の人柄をどれだけ知ることができるか。対応したメンバーが候補者と本当の友人にならなければ候補者は簡単には入会しません。対応者自身の資質も候補者より見られます。入会説明会を3回も開催しましたがこれは拡大活動に対する意識の向上と強化日、強化月間を設けることでメリハリをつけること、そして説明会では外部からの講演者から内部では持てない熱い想いの伝達、候補者の心を揺さぶり入会の意思を明確化する工程を作り上げました。

JCに入会したメリットは金銭などの目に見えるものではありません。公益の心を持って日々生活できること、交流範囲が格段に広がること、様々な体験をして自身の能力の向上に至ること。JCに入ったからといって簡単に能力が高まるわけではありません。同士はそのお手伝いをするだけで自身が求めなければ掴み取ることができないことをしっかりと教えていく。向上心、ポジティブシンキングを持ってすればJCは様々なことを得られる場ですが逆は否です。拡大活動はトップの旗振りのもと組織全体で取り組む事業ですが戦いは個人戦です。拡大活動をしなかったメンバー、活動をしなくても候補者が入会に至らなかったメンバーは個人戦に敗退したのです。あなた方はその能力が無かったことを実感して下さい。そして自身を変えようための努力をすることも自身の人材開発なのです。会議体横山議長をはじめとする会議体の皆様、メンバーの皆様有難うございました。次年度以降もトップの動きをしっかりと発信し、拡大活動に本気で取り組み、必ずや成果を出してください。

山形ブロック大会

今年度ブロック大会寒河江大会では樋口ブロック大会運営委員長をはじめ多くのメンバーが出向してブロック側の運営に携わっていただきました。その経験から長井大会の創造をしていただくのが目的でありましたが開催運営が多忙でそれどころではありませんでした。県民に開かれた青年会議所事業として開催された寒河江大会ですがまだまだ限界があったようです。どうしたら目的に達するか、JC運動の発信に繋がるか、多種の目的に対して大会事業が合致したものはなかったようです。主管地域の様々な文化発信、青年会議所としての運動発信、会員の交流、この3つに分類して大会事業を開催すれば目的が明確化し、事業立案がスムーズになるのではないのでしょうか。そのためにはブロック運営委員会と主管実行委員会が同調の歩みを持ってすれば解決します。また準備期間が半年と短いため開催が満足いかない結果に終わることもあります。そのためにも次年度長井大会では今年度の検証と反省を持って変革に取り組み、明確な目的を達成するために努力していきます。

正義 公

言葉とは言い続けると目標になる、そして他者への宣言になる。それがはったり、ほらの部類、果てしない夢でもいい、言い続けければ必ずそのような自分になるよう自己が変化する。よく目標を文字として紙に書き、見えるところに張るのを聞きますが私はそれを言葉として周りの人に宣言しています。今年度のスローガン「自己の信念を持って決断！行動！」自己の信念、それが正義なのです。

青年会議所の活動を通して学ぶことの一歩は「公の精神、利他の心」ではないでしょうか。他を幸せにするための

行動、それは何も公益活動だけではなく営利活動においても用いるべき精神です。物やサービスを提供する相手のために、従事するスタッフのために、そして営利活動をする地域のために、すべての幸せのために行動する。

私は1年間という短い期間ではありましたが組織のトップとして自己の正義を貫き、走り続けてまいりました。これからも自分が定めた正義を持って様々な行動に移し、周りを、地域を幸せにしたいと思います。一年間本当に有難う御座いました。

所 感

ブロック大会支援室 室長 樋口 和 哉

今年度、ブロック大会支援室室長として一年間活動させていただきました。

支援室の一年間の主な活動内容としては、L O M内での活動はほぼ皆無で次年度「長井大会」を主管するにあたり、佐藤副室長と共にブロック大会運営委員会に出向させていただき、出向先での運営委員長としての活動がほとんどでございました。

大会準備期間中は大会を構築する難しさや主催と主管のつながりの大切さを日を追うごとに感じる日々でしたが、多くの皆様のご多大なるご協力を賜り、無事に寒河江大会を開催出来ましたことに心より感謝申し上げます。次年度の長井大会がより良い大会に成るように今年度の経験をしっかりとつなげていくことをお誓い申し上げまして、私の所感とさせていただきます。一年間本当にありがとうございました。

所 感

副理事長 齋 藤 繁 喜

今年度、ひとづくり委員会担当副理事長として青少年育成の継続的事業の開発と実施を重点事業として一年間活動を展開して参りました。椎名委員長を筆頭に、委員会メンバーと共に青年会議所だからこそできる青少年育成事業を構築するべく議論を交わし合い、学校教育と家庭教育の現状を把握するところからスタートをいたしました。

4月例会の青少年教育座談会を経て、「ながい寺子屋」を継続できる事業として開発し、アウトメディアをテーマとした感動体験事業と親力を高める講演会を開催する事ができました。アウトメディアな一泊二日と題して実施した感動体験事業では、豪雨災害が発生した直後での事業という事もあり、予定をしておりましたカヌー体験が残念ながら実施する事が叶わず、開催前日に大幅な実施プログラムの変更を行う必要に迫られる状況になりましたが、委員会メンバーの協力の下しっかりとした運営ができたと感じました。

ながい寺子屋の開催元年ということもあり、事業実施後にはまだまだ改善すべき点が多々あげられましたが、しっかりと反省点に向き合い、ながい寺子屋がこの地域に定着するよう、そして地域に求められる青少年育成の継続事業にするべく更に進化させていきたいと思っております。

また、親野智可等を講師としてお招きし開催しました親力を高める講演会は、長井市PTA連合会様、長井市まちづくり青少年育成市民会議様との共催にて地域の大人を対象にした内容で実施いたしました。これまでの長井青年会議所主催の青少年育成講演会では、大人と子どもが共に参加できるスタイルの講演会が主でありましたが、対象者を限定することで子育てに対する悩みやアウトメディアに関しての内容まで幅広くご講話いただき、責任世代を中心とした参加者の皆様よりとても好評を頂く事ができました。

このように、4月例会よりスタートし、7月のながい寺子屋、9月の親力を高める講演会と一連の流れを持って、アウトメディアを主なテーマとして活動して参りましたが、いかに求められる事業を長井青年会議所として実施できるかどうかという点が非常に大切である事が改めて感じられる機会となりました。

長井青年会議所だからこそできる事業、地域から求められるJ Cとして今後も地域に根ざした運動を展開して参りましょう。

最後に椎名委員長をはじめ、ひとづくり委員会メンバーの皆様には一年間本当にお世話になりました。そして、長井青年会議所すべてのメンバーの皆様にご協力を頂きました事に心より感謝申し上げます私の所感とさせていただきます。ありがとうございました。

所 感

副理事長 板 垣 洋 一

今年度まちづくり委員会担当副理事長という大役を与えていただきまして、心から感謝いたしております。鈴木理事長、理事役員の皆様、そして大竹委員長、委員会メンバー、一般メンバーの皆様、たくさんの心からの助言、協力や支援を頂き、本当にありがとうございました。自分の能力不足の為に多くの方々にご迷惑とご苦勞をお掛けしましたことも感謝と合わせてお詫びいたします。

副理事長という大きな責任の伴う役割を担うことは、自分にとっては非常に大きな挑戦でありました。3月、地域の諸団体の皆様方との交流例会から始まり、2013年度長井J C最後の事業となったクリスマスパーティーまで、長くもあつという間の、充実した活動を続けることができました。中でも一番胸に残る事業と言えば、やはり6月最後に

行われた「みんなで灯そう～夢灯～」でございます。大きな重圧を胸中に抱えながら、大竹委員長が中心となってまちづくり委員会全体で、一つ一つ準備を進め、汗水流し、時に涙しながら成功まで導いた今年度の夢灯は本当に美しく、心に残る事業となりました。鈴木理事長をはじめメンバーの皆様には多大なご迷惑をお掛けしたこととは思いますが、その度に叱咤激励し、真っ先に手を差し伸べてくれた理事長には頭も上がりません。感謝でいっぱいでありませう。

この一年半、多くの困難とそれ以上の楽しさをメンバーの皆と共有できたことが何より大切な財産となりました。大変な思いもしながらも、自分一人ではなくメンバーの誰かが一緒にその思いを共有してくれて、そういう時間を重ねていくうちに会員同士から友人となり、仲間と言える間柄になるのだと、心底そのように感じさせられた2013年度でした。

今年度の思いを胸に、卒業まではまだ少しありますが、それまでの間にできるだけ多くの仲間を作っていきたいと思ひます。みんなほんとおもしろいなねっし。

所 感

専務理事 井 上 典 嗣

今年度、専務理事としての一年間を振り返りまして、とても貴重な時間を過ごさせていただきました。風間事務局長、梅津総務局長を筆頭に事務局メンバーの皆様には、それぞれの役割を全ういただくことで、私を支えてくださり本当に感謝しております。また、積極的に私達に手を差し伸べてくださった鈴木理事長にも本当に感謝しております。LOMのスムーズな運営があったのは皆様のご協力のお陰であります。誠にありがとうございました。

年々増えていく事務局・総務局の職務ではありますが、しっかりと役割を分担しそれぞれがこなしていけば、スムーズな運営ができることを実感しました。しかし私が至らないことで皆様にご迷惑をかけることも多く、大変申し訳なく思っておりますし今後の課題であります。

この一年間には多くの気づきと学びがありましたし、充実感と多くの課題も見わかりました。それらをしっかりと活かし自身の成長に繋げ、今後は更にJC運動に邁進して参りたいと思ひます。鈴木理事長をはじめ、長井青年会議所メンバーの皆様にご協力いただきました事に心から感謝申し上げ所感とさせていただきます。本当にありがとうございました。

所 感

顧問・未来創造会議議長 横 山 敬 生

青年会議所メンバーとして皆様と共に過ごす最終年度に於いて、顧問という役職に留まらず、会員拡大と人材育成を担当する未来創造会議の議長という担いを与えていただきましたことに心から感謝申し上げます。

長年の課題でありました会員拡大に於いて一定の成果を上げることが出来たのは、会員拡大ミーティングや入会説明会といった事業を明確な意図を持って、一連の流れとして組み上げられたことにも増して、リーダーである鈴木理事長が率先して行動を持って示し、その熱意が伝わったメンバーとともに一年を通じて取り組んでこられたからであると感ひします。議長としての私の考えを良く理解してくださり、いつも小気味よく行動してくれた小関副議長と遠藤副議長には常に支えていただきました。

東北芸工大の教授と学生をお招きしての人材育成講座や、JCの基礎を学び会議運営手法や組織の有り様について再確認した長井JCアカデミーなど、会員の資質向上に資する事業も多く開催させていただきました。まちづくりはひとづくりからと言われるように、地域の将来を次代につなぐ責任世代として、地域に貢献できる人材としての資質を高める機会は、公益事業に傾倒せざるを得ない現状においてもなおざりにせず、次年度以降も持ち続けてくださることを願ひます。

我々がやらねば誰がやる。そんな気概を持って会員の意識変革と自己研鑽を重ね、2014年の山形ブロック大会を契機にこの地域の各種団体、行政、地域住民と深く関わり交流することで、長井・西置賜地域の活気溢れるまちづくりを実現するのは他ならぬ私達です。そんな大きな節目となるであろう2014年を目前に控えた本年、皆様とともに歩んでこられましたことに心から感謝申し上げ、皆様の今後益々の奮起をご期待申し上げまして所感と致します。

【2013年度 常任理事会・理事会 出席状況】

No	役職名	理事名	第1回		第2回		第3回		第4回		第5回		第6回		第7回		第8回		第9回		第10回		第11回		第12回		
			常任理事	理事	常任理事																						
1	理事	鈴木喜典	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	直前理事	吉田重成	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○
3	顧問・未来創造会議議長	横山敬生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○
4	監事	飯鉢文義	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	副理事	齋藤繁喜	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	副理事	板垣洋一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	専務理事	井上典嗣	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	グロブツク大支援室室長	樋口和哉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	未来創造会議議長	小関幸一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	未来創造会議議長	遠藤浩樹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	ひとづくり委員会委員長	椎名恭一	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	まちづくり委員会委員長	大竹貴之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	グロブツク大支援室副室長	佐藤真光	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	事務局局長	風間正志	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	事務局補佐	梅津敦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	事務局補佐	齋藤憲幸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	ひとづくり委員会委員長	渡部清隆	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	まちづくり委員会委員長	那須丈雄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【理事・役員会報告】

会議名	期日と場所	議 題	出席数
第1回 理事予定者会議	2012.9.28 J C ルーム	<p>討議事項</p> <p>1. 理事長所信（案）について</p> <p>協議事項</p> <p>1. 2013年度 基本理念・基本方針・基本重点（案）について</p> <p>2. 2013年度 職務分掌（案）について</p> <p>3. 2013年度 組織図（案）並びに役員名簿（案）について</p> <p>4. 2013年度 基本運営（案）について</p> <p>5. 2013年度 公式スケジュール（案）について</p>	13
第2回 理事予定者会議	2012.10.16 J C ルーム	<p>協議事項</p> <p>1. 2013年度 基本理念・基本方針・基本重点（案）について</p> <p>2. 2013年度 職務分掌（案）について</p> <p>3. 2013年度 組織図（案）並びに役員名簿（案）について</p> <p>4. 2013年度 基本運営（案）について</p> <p>5. 2013年度 基本計画書（案）について</p> <p>・未来創造会議</p> <p>・ひとづくり委員会</p> <p>・まちづくり委員会</p> <p>・会員大会支援室</p> <p>・事務局</p> <p>・総務局</p> <p>6. 2013年度 公式スケジュール（案）</p> <p>審議事項</p> <p>1. 2013年度 基本理念・基本方針・基本重点（案）について</p> <p>2. 2013年度 職務分掌（案）について</p> <p>3. 2013年度 組織図、理事役員名簿（案）について</p> <p>4. 2013年度 基本運営（案）について</p>	12
第3回 理事予定者会議	2012.11.9 J C ルーム	<p>討議事項</p> <p>1. 2013年度 組織図（案）について</p> <p>協議事項</p> <p>1. 2013年度 基本計画書（案）について</p> <p>・未来創造会議</p> <p>・ひとづくり委員会</p> <p>・まちづくり委員会</p> <p>・事務局</p> <p>・総務局</p> <p>2. 2013年度 当初予算（案）について</p> <p>3. 新春賀詞交歓会について</p> <p>4. 記録の管理について</p> <p>5. ホームページ運営について</p> <p>6. 2013年度 公式スケジュール（案）</p> <p>7. 2013年度 LOMスローガン（案）について</p>	12
第4回 理事予定者会議	2012.12.3 J C ルーム	<p>協議事項</p> <p>1. 2013年度 基本計画書（案）について</p> <p>・未来創造会議</p> <p>・ひとづくり委員会</p> <p>・まちづくり委員会</p> <p>・事務局</p> <p>・総務局</p> <p>2. 2013年度 当初予算（案）について</p> <p>3. 新春賀詞交歓会について</p> <p>4. 記録の管理について</p> <p>5. ホームページ運営について</p> <p>6. 2013年度 公式スケジュール（案）</p> <p>7. 2013年度 LOMスローガン（案）について</p> <p>8. まちづくり基金助成交付申請書について</p> <p>審議事項</p> <p>1. 2013年度 基本計画書（案）について</p> <p>・未来創造会議</p> <p>・ひとづくり委員会</p> <p>・まちづくり委員会</p> <p>・事務局</p> <p>・総務局</p> <p>2. 2013年度 当初予算（案）について</p> <p>3. 新春賀詞交歓会について</p> <p>4. 記録の管理について</p>	12

会議名	期日と場所	議 題	出席数
		5. ホームページ運営について 6. 2013年度 公式スケジュール (案) 7. 2013年度 LOMスローガン (案) について	
第5回理事予定者会議	2013.1.11 J C ルーム	討議事項 1. 新春賀詞交歓会について (事務局) 協議事項 1. まちづくり基金助成交付申請書について (まちづくり委員会) 2. 1月通常総会について (総務局) 3. 会員拡大ミーティングについて (未来創造会議) 審議事項 1. まちづくり基金助成交付申請書について (まちづくり委員会) 2. 1月通常総会について (総務局)	11
第2回理事会	2013.2.11 J C ルーム	協議事項 1. 委員会内事業予算内訳変更について (未来創造会議) 2. 会員拡大ミーティングについて (未来創造会議) 3. 入会説明会について (未来創造会議) 4. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」について (まちづくり委員会) 5. 元気創造プロジェクトみんなの心に太陽を！について (まちづくり委員会) 6. 地域交流事業について (まちづくり委員会) 7. 仮会員 (村上聡君) 承認について (未来創造会議) 8. 仮会員 (遠藤譲一君) 承認について (未来創造会議) 審議事項 1. 委員会内事業予算内訳変更について (未来創造会議) 2. 会員拡大ミーティングについて (未来創造会議) 3. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」 (日時・場所) について (まちづくり委員会) 4. 元気創造プロジェクトみんなの心に太陽を！ (日時・場所) について (まちづくり委員会) 5. 地域交流事業 (日時・場所・案内状) について (まちづくり委員会) 6. 仮会員 (村上聡君) 承認について (未来創造会議) 7. 仮会員 (遠藤譲一君) 承認について (未来創造会議)	12
第3回理事会	2013.3.7 J C ルーム	協議事項 1. 入会説明会について (未来創造会議) 2. 長井 J C アカデミーについて (未来創造会議) 3. 人材育成講座について (未来創造会議) 4. 地域交流事業変更事業計画及び予算書について (まちづくり委員会) 5. 地域交流事業について (まちづくり委員会) 6. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」について (まちづくり委員会) 7. 元気創造プロジェクトみんなの心に太陽を！について (まちづくり委員会) 8. 教育座談会について (ひとづくり委員会) 9. 親力を高める講演会について (ひとづくり委員会) 10. 仮会員 (平宗正君) 承認について (未来創造会議) 11. 仮会員 (佐藤和之君) 承認について (未来創造会議) 12. 仮会員 (玉橋恵子君) 承認について (未来創造会議) 13. 仮会員 (橋本一磨君) 承認について (未来創造会議) 審議事項 1. 人材育成講座について (未来創造会議) 2. 委員会内事業予算変更について (まちづくり委員会) 3. 地域交流事業について (まちづくり委員会) 4. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」 (関係団体協力依頼、名義使用及び承諾書) について (まちづくり委員会) 5. 仮会員 (平宗正君) 承認について (未来創造会議) 6. 仮会員 (佐藤和之君) 承認について (未来創造会議) 7. 仮会員 (玉橋恵子君) 承認について (未来創造会議) 8. 仮会員 (橋本一磨君) 承認について (未来創造会議)	13

会議名	期日と場所	議 題	出席数
第4回 理事会	2013.4.4 J C ルーム	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員拡大ミーティング補正予算について（未来創造会議） 2. 会員拡大ミーティング事業報告決算書について（未来創造会議） 3. 長井J Cアカデミーについて（未来創造会議） 4. 人材育成講座について（未来創造会議） 5. 長井駅周辺整備事業補正予算について（まちづくり委員会） 6. 長井駅周辺整備事業について（まちづくり委員会） 7. フラワーボランティア教室について（ひとづくり委員会） 8. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」について（まちづくり委員会） 9. 元気創造プロジェクトみんなの心に太陽を！について（まちづくり委員会） 10. 青少年教育座談会について（ひとづくり委員会） 11. 第22回J C杯中学野球大会について（ひとづくり委員会） 12. 青少年育成メイン事業について（ひとづくり委員会） 13. ブロック大会長井大会PRについて（ブロック大会支援室） 14. 新春賀詞交歓会補正予算について（事務局） 15. 新春賀詞交歓会事業報告決算書について（事務局） 16. 東北未来のステージ後援依頼について（事務局） 17. 仮会員（小関弾君）承認について（未来創造会議） 18. 仮会員（小松龍侍君）承認について（未来創造会議） 19. 仮会員（齋藤圭央君）承認について（未来創造会議） 20. 仮会員（鈴木亜由美君）承認について（未来創造会議） 21. 仮会員（関穰君）承認について（未来創造会議） <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 会員拡大ミーティング補正予算について（未来創造会議） 2. 会員拡大ミーティング事業報告決算書について（未来創造会議） 3. 長井J Cアカデミーについて（未来創造会議） 4. 人材育成講座（講師・日時・会場・チラシ）について（未来創造会議） 5. 長井駅周辺整備事業補正予算について（まちづくり委員会） 6. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」（企業協賛・外部団体依頼文章、ランタン用紙）について（まちづくり委員会） 7. 元気創造プロジェクトみんなの心に太陽を！（外部団体依頼文章・承諾書）について（まちづくり委員会） 8. 青少年教育座談会について（ひとづくり委員会） 9. 第22回J C杯中学野球大会について（ひとづくり委員会） 10. 青少年育成メイン事業（心のまちづくり活動推進補助金申請書類）について（ひとづくり委員会） 11. 新春賀詞交歓会補正予算について（事務局） 12. 新春賀詞交歓会事業報告決算書について（事務局） 13. 東北未来のステージ後援依頼について（事務局） 14. 仮会員（小関弾君）承認について（未来創造会議） 15. 仮会員（小松龍侍君）承認について（未来創造会議） 16. 仮会員（齋藤圭央君）承認について（未来創造会議） 17. 仮会員（鈴木亜由美君）承認について（未来創造会議） 18. 仮会員（関穰君）承認について（未来創造会議） 	11
第5回 理事会	2013.5.2 J C ルーム	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入会説明会について（未来創造会議） 2. 人材育成講座予算額変更について（未来創造会議） 3. 人材育成講座について（未来創造会議） 4. 長井駅周辺整備事業について（まちづくり委員会） 5. フラワーボランティア教室について（ひとづくり委員会） 6. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」について（まちづくり委員会） 7. 元気創造プロジェクトみんなの心に太陽を！について（まちづくり委員会） 8. ブロック大会長井大会PR横断幕・PRPVについて（ブロック大会支援室） 9. 2013年度5月補正収支予算書について（事務局） 10. 広報誌「あゆみ」について（総務局） 11. 正会員（遠藤譲一君）承認について（未来創造会議） 12. 正会員（村上聡君）承認について（未来創造会議） <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人材育成講座について（未来創造会議） 2. 人材育成講座予算額変更について（未来創造会議） 3. 長井駅周辺整備事業について（まちづくり委員会） 4. フラワーボランティア教室について（ひとづくり委員会） 5. 元気創造プロジェクトみんなの心に太陽を！（ポスター・チラシ）について（まちづくり委員会） 6. 2013年度5月補正収支予算書について（事務局） 7. 正会員（遠藤譲一君）承認について（未来創造会議） 8. 正会員（村上聡君）承認について（未来創造会議） 	12

会議名	期日と場所	議 題	出席数
第6回 理事会	2013.6.6 J C ルーム	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入会説明会補正予算書について（未来創造会議） 2. 入会説明会事業報告並びに決算報告について（未来創造会議） 3. 長井J Cアカデミー補正予算書について（未来創造会議） 4. 長井J Cアカデミー事業報告並びに決算報告について（未来創造会議） 5. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」変更事業計画及び補正事業予算書について（まちづくり委員会） 6. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」について（まちづくり委員会） 7. 元気創造プロジェクトみんなの心に太陽を！について（まちづくり委員会） 8. 青少年育成メイン事業について（ひとづくり委員会） 9. 親力を高める講演会について（ひとづくり委員会） 10. ブロック大会長井大会PR横断幕・PRPVについて（ブロック大会支援室） 11. 2013年度6月補正収支予算書について（事務局） 12. ブロック大会たからいちへの参加協力について（事務局） 13. LOM協働運動推進事業について（事務局） 14. 広報誌「あゆみ」について（総務局） 15. 正会員（佐藤和之君）承認について（未来創造会議） 16. 正会員（平宗正君）承認について（未来創造会議） 17. 正会員（玉橋恵子君）承認について（未来創造会議） 18. 正会員（橋本一磨君）承認について（未来創造会議） <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 入会説明会補正予算書について（未来創造会議） 2. 入会説明会事業報告並びに決算報告について（未来創造会議） 3. 長井J Cアカデミー補正予算書について（未来創造会議） 4. 長井J Cアカデミー事業報告並びに決算報告について（未来創造会議） 5. 委員会内事業予算内訳変更について（まちづくり委員会） 6. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」（広報しらたか掲載文章、チラシ裏面企業協賛リスト）について（まちづくり委員会） 7. ながい寺子屋（ポスター・チラシ・日時・会場）について（ひとづくり委員会） 8. ブロック大会長井大会PR横断幕・PRPV（横断幕）について（ブロック大会支援室） 9. 2013年度6月補正収支予算書について（事務局） 10. ブロック大会たからいちへの参加協力について（事務局） 11. LOM協働運動推進事業について（事務局） 12. 正会員（佐藤和之君）承認について（未来創造会議） 13. 正会員（平宗正君）承認について（未来創造会議） 14. 正会員（玉橋恵子君）承認について（未来創造会議） 15. 正会員（橋本一磨君）承認について（未来創造会議） 	13
臨時理事会	2013.6.12 J C ルーム	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会内事業予算内訳変更について（まちづくり委員会） 2. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」について（まちづくり委員会） 3. 元気創造プロジェクトみんなの心に太陽を！について（まちづくり委員会） 4. 2013年度公式スケジュール一部変更について（事務局） <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会内事業予算内訳変更について（まちづくり委員会） 2. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」について（まちづくり委員会） 3. 元気創造プロジェクトみんなの心に太陽を！について（まちづくり委員会） 4. 2013年度公式スケジュール一部変更について（事務局） 	12

会議名	期日と場所	議 題	出席数
第7回 理事会	2013.7.4 商工会議所会議室	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会内事業予算内訳変更について（未来創造会議） 2. 人材育成講座補正事業予算書について（未来創造会議） 3. 人材育成講座事業報告決算書について（未来創造会議） 4. 入会説明会について（未来創造会議） 5. 青少年教育座談会事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 6. 第22回J C杯中学野球大会補正事業予算書について（ひとづくり委員会） 7. 第22回J C杯中学野球大会事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 8. ながい寺子屋について（ひとづくり委員会） 9. 納涼パーティーについて（ひとづくり委員会） 10. 親力を高める講演会について（ひとづくり委員会） 11. 第22回J C杯中学野球大会一年生の部について（ひとづくり委員会） 12. ブロック大会長井大会PR横断幕・PRPVについて（ブロック大会支援室） 13. 広報誌「あゆみ」について（総務局） 14. 8月通常総会について（総務局） 15. 正会員（小関弾君）承認について（未来創造会議） 16. 正会員（小松龍侍君）承認について（未来創造会議） 17. 正会員（齋藤圭央君）承認について（未来創造会議） 18. 正会員（鈴木亜由美君）承認について（未来創造会議） 19. 正会員（関穰君）不承認について（未来創造会議） <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会内事業予算内訳変更について（未来創造会議） 2. 人材育成講座補正事業予算書について（未来創造会議） 3. 人材育成講座事業報告決算書について（未来創造会議） 4. 入会説明会について（未来創造会議） 5. 青少年教育座談会事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 6. ながい寺子屋について（ひとづくり委員会） 7. 親力を高める講演会（講師・日時・会場・PTA連合会用案内文）について（ひとづくり委員会） 8. ブロック大会長井大会PR横断幕・PRPVについて（ブロック大会支援室） 9. 正会員（小関弾君）承認について（未来創造会議） 10. 正会員（小松龍侍君）承認について（未来創造会議） 11. 正会員（齋藤圭央君）承認について（未来創造会議） 12. 正会員（鈴木亜由美君）承認について（未来創造会議） 13. 正会員（関穰君）不承認について（未来創造会議） 	12
第8回 理事会	2013.7.30 J C ルーム	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第22回J C杯中学野球大会補正事業予算書について（ひとづくり委員会） 2. 第22回J C杯中学野球大会事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 3. 納涼パーティーについて（ひとづくり委員会） 4. 親力を高める講演会について（ひとづくり委員会） 5. 2013年度8月補正収支予算書について（事務局） 6. ブロック大会たからいちへの参加協力補正予算について（事務局） 7. 日本J Cアワードへのエントリーについて（事務局） ・2013地域活性化事業 8. 広報誌「あゆみ」について（総務局） 9. 8月通常総会について（総務局） 10. 次年度理事長候補者所信発表例会について（総務局） 11. 仮会員（小笠原信吾君）承認について（未来創造会議） 12. 仮会員（竹田政貴君）承認について（未来創造会議） 13. 2014年度理事長候補者の選出について（次年度役員選考委員会） 14. 2014年度理事候補者の選出について（次年度役員選考委員会） <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第22回J C杯中学野球大会補正事業予算書について（ひとづくり委員会） 2. 第22回J C杯中学野球大会事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 3. 納涼パーティーについて（ひとづくり委員会） 4. 親力を高める講演会について（ひとづくり委員会） 5. 日本J Cアワードへのエントリーについて（事務局） ・2013地域活性化事業 	10

会議名	期日と場所	議 題	出席数
		6. 広報誌「あゆみ」について（総務局） 7. 8月通常総会について（総務局） 8. 仮会員（小笠原信吾君）承認について（未来創造会議） 9. 仮会員（竹田政貴君）承認について（未来創造会議） 10. 2014年度理事長候補者の選出について（次年度役員選考委員会） 11. 2014年度理事候補者の選出について（次年度役員選考委員会）	
第9回理事会	2013.9.5 J C ルーム	協議事項 1. 7月入会説明会補正事業予算書について（未来創造会議） 2. 7月入会説明会事業報告決算書について（未来創造会議） 3. 地域交流事業変更補正事業予算書について（まちづくり委員会） 4. 地域交流事業事業報告決算書について（まちづくり委員会） 5. 2013年度9月補正収支予算書について（事務局） 6. 置賜4LOM合同例会について（事務局） 7. 次年度理事長候補者所信発表例会について（総務局） 審議事項 1. 7月入会説明会補正事業予算書について（未来創造会議） 2. 7月入会説明会事業報告決算書について（未来創造会議） 3. 2013年度9月補正収支予算書について（事務局） 4. 次年度理事長候補者所信発表例会について（総務局）	13
第10回理事会	2013.10.3 J C ルーム	協議事項 1. 委員会予算額変更について（未来創造会議） 2. 第2回長井J C アカデミーについて（未来創造会議） 3. 第22回J C 杯中学野球大会一年生の部について（ひとづくり委員会） 4. 地域交流事業変更補正事業予算書について（まちづくり委員会） 5. 地域交流事業事業報告決算書について（まちづくり委員会） 6. 地域防災に関する事業について（まちづくり委員会） 7. 2013年度10月補正収支予算書について（事務局） 8. 置賜4J C 合同例会について（事務局） 9. 卒業式について（総務局） 審議事項 1. 委員会予算額変更について（未来創造会議） 2. 第2回長井J C アカデミーについて（未来創造会議） 3. 第22回J C 杯中学野球大会一年生の部について（ひとづくり委員会） 4. 地域交流事業変更補正事業予算書について（まちづくり委員会） 5. 地域交流事業事業報告決算書について（まちづくり委員会） 6. 2013年度10月補正収支予算書について（事務局） 7. 置賜4J C 合同例会について（事務局）	11
第11回理事会	2013.11.7 J C ルーム	協議事項 1. 委員会予算額変更について（未来創造会議） 2. 11月入会説明会について（未来創造会議） 3. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」変更事業計画及び補正予算書について（まちづくり委員会） 4. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」事業報告決算書について（まちづくり委員会） 5. 元気創造プロジェクトみんなの心に太陽を！変更事業計画及び補正予算書について（まちづくり委員会） 6. 元気創造プロジェクトみんなの心に太陽を！事業報告決算書について（まちづくり委員会） 7. 地域防災セミナー変更事業計画について（まちづくり委員会） 8. 地域防災セミナーについて（まちづくり委員会） 9. クリスマスパティーについて（まちづくり委員会） 10. 2013年度公式スケジュール一部変更について（事務局） 11. 2013年度11月補正収支予算書について（事務局） 12. ブロック大会やまがたからいちへの参加協力事業報告について（事務局） 13. 卒業式について（事務局） 14. 次年度理事長候補者所信発表例会変更事業計画及び補正事業予算書について（総務局） 15. 次年度理事長候補者所信発表例会事業報告決算書について（総務局） 16. 次年度事業発表例会について（総務局） 17. 会員褒賞について（総務局） 18. 会員資格規程第5条の改定（案）について（事務局） 19. 臨時総会について（総務局） 20. 正会員（小笠原信吾君）承認について（未来創造会議） 21. 正会員（竹田政貴君）承認について（未来創造会議）	11

会議名	期日と場所	議 題	出席数
		<p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 委員会予算額変更について（未来創造会議） 2. 11月入会説明会について（未来創造会議） 3. 地域防災セミナー変更事業計画について（まちづくり委員会） 4. 地域防災セミナーについて（まちづくり委員会） 5. クリスマスパティーについて（まちづくり委員会） 6. 2013年度公式スケジュール一部変更について（事務局） 7. 2013年度11月補正収支予算書について（事務局） 8. ブロック大会やまがたからいちへの参加協力事業報告について（事務局） 9. 卒業式について（事務局） 10. 次年度理事長候補者所信発表例会変更事業計画及び補正事業予算書について（総務局） 11. 次年度理事長候補者所信発表例会事業報告決算書について（総務局） 12. 次年度事業発表例会（日時・場所・案内文）について（総務局） 13. 会員資格規程第5条の改定（案）について（事務局） 14. 臨時総会について（総務局） 15. 正会員（小笠原信吾君）承認について（未来創造会議） 16. 正会員（竹田政貴君）承認について（未来創造会議） 	
第12回理事会	2013.12.12 J C ルーム	<p>協議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第2回長井J Cアカデミー補正予算書について（未来創造会議） 2. 第2回長井J Cアカデミー事業報告決算書について（未来創造会議） 3. 11月入会説明会補正予算書について（未来創造会議） 4. 11月入会説明会事業報告決算書について（未来創造会議） 5. 委員会予算額変更について（ひとづくり委員会） 6. ながい寺子屋補正予算書について（ひとづくり委員会） 7. ながい寺子屋事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 8. 納涼パーティー事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 9. 親力を高める講演会補正予算書について（ひとづくり委員会） 10. 親力を高める講演会事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 11. 第22回J C杯中学野球大会一年生の部補正予算書について（ひとづくり委員会） 12. 第22回J C杯中学野球大会一年生の部事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 13. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」変更事業計画及び補正予算書について（まちづくり委員会） 14. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」事業報告決算書について（まちづくり委員会） 15. 元気創造プロジェクトみんなの心に太陽を！変更事業計画及び補正予算書について（まちづくり委員会） 16. 元気創造プロジェクトみんなの心に太陽を！事業報告決算書について（まちづくり委員会） 17. フラワーボランティア教室補正予算書について（ひとづくり委員会） 18. フラワーボランティア教室事業報告決算書について（ひとづくり委員会） 19. 長井駅周辺整備事業補正予算書について（まちづくり委員会） 20. 長井駅周辺整備事業事業報告決算書について（まちづくり委員会） 21. 地域防災セミナー補正予算書について（まちづくり委員会） 22. 地域防災セミナー事業報告決算書について（まちづくり委員会） 23. L O M協働運動推進事業への参加協力事業報告決算書について（事務局） 24. 置賜4 J C 合同例会事業報告決算書について（事務局） 25. 次年度事業発表例会について（総務局） 26. 会員褒賞について（総務局） 27. 会員資格規程第5条の改定（案）について（事務局） <p>審議事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 第2回長井J Cアカデミー補正予算書について（未来創造会議） 2. 第2回長井J Cアカデミー事業報告決算書について（未来創造会議） 3. 11月入会説明会補正予算書について（未来創造会議） 4. 11月入会説明会事業報告決算書について（未来創造会議） 5. 委員会予算額変更について（ひとづくり委員会） 	14

会議名	期日と場所	議 題	出席数
		<ul style="list-style-type: none"> 6. ながい寺子屋補正予算書について (ひとづくり委員会) 7. ながい寺子屋事業報告決算書について (ひとづくり委員会) 8. 納涼パーティー事業報告決算書について (ひとづくり委員会) 9. 親力を高める講演会補正予算書について (ひとづくり委員会) 10. 親力を高める講演会事業報告決算書について (ひとづくり委員会) 11. 第22回J.C杯中学野球大会一年生の部補正予算書について (ひとづくり委員会) 12. 第22回J.C杯中学野球大会一年生の部事業報告決算書について (ひとづくり委員会) 13. 長井駅周辺整備事業補正予算書について (まちづくり委員会) 14. 長井駅周辺整備事業事業報告決算書について (まちづくり委員会) 15. 地域防災セミナー補正予算書について (まちづくり委員会) 16. 地域防災セミナー事業報告決算書について (まちづくり委員会) 17. LOM協働運動推進事業への参加協力事業報告決算書について (事務局) 18. 置賜4J.C合同例会事業報告決算書について (事務局) 19. 次年度事業発表例会について (総務局) 20. 会員褒賞について (総務局) 21. 会員資格規程第5条の改定(案)について (事務局) 22. 2014年度 基本資料について (2014年度事務局) 23. 2014年度 事業計画について (2014年度事務局) 24. 2014年度 当初予算(案)について (2014年度事務局) 25. 2014年度公式スケジュール(案)について (2014年度事務局) 26. 2014年度 スローガン(案)について (2014年度事務局) 27. 新春賀詞交歓会について (2014年度事務局) 28. ホームページ運営について (2014年度事務局) 	
2014年 第1回 理事会	2014.1.10 はぎ苑	<p>協議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」補正予算書について (まちづくり委員会) 2. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」事業報告決算書について (まちづくり委員会) 3. 元気創造プロジェクトみんなの心に太陽を！補正予算書について (まちづくり委員会) 4. 元気創造プロジェクトみんなの心に太陽を！事業報告決算書について (まちづくり委員会) 5. フラワーボランティア教室補正予算書について (ひとづくり委員会) 6. フラワーボランティア教室事業報告決算書について (ひとづくり委員会) 7. クリスマスパティー事業報告決算書について (まちづくり委員会) 8. 卒業式補正予算書について (事務局) 9. 卒業式事業報告決算書について (事務局) 10. 記録の管理補正予算書について (事務局) 11. 記録の管理事業報告決算書について (事務局) 12. 次年度事業計画発表例会事業報告決算書について (総務局) 13. 会員褒賞事業報告決算書について (総務局) 14. 広報誌「あゆみ」事業報告決算書について (総務局) 15. ホームページ運営事業報告決算書について (総務局) 16. 2013年度補正予算(案)について (事務局) 17. 2013年度決算(案)について (事務局) ・貸借対象表 ・正味財産増減計算書 ・財産目録 ・財務諸表に対する注記 ・附属明細書 18. 1月通常総会について (2014年度総務局) <p>審議事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」補正予算書について (まちづくり委員会) 2. 地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯り」事業報告決算書について (まちづくり委員会) 3. 元気創造プロジェクトみんなの心に太陽を！補正予算書について (まちづくり委員会) 	12

会議名	期日と場所	議 題	出席数
		4. 元気創造プロジェクトみんなの心に太陽を！事業報告決算書について (まちづくり委員会) 5. フラワーボランティア教室補正予算書について (ひとづくり委員会) 6. フラワーボランティア教室事業報告決算書について (ひとづくり委員会) 7. クリスマスパティー事業報告決算書について (まちづくり委員会) 8. 卒業式補正予算書について (事務局) 9. 卒業式事業報告決算書について (事務局) 10. 記録の管理補正予算書について (事務局) 11. 記録の管理事業報告決算書について (事務局) 12. 次年度事業計画発表例会事業報告決算書について (総務局) 13. 会員褒賞事業報告決算書について (総務局) 14. 広報誌「あゆみ」事業報告決算書について (総務局) 15. ホームページ運営事業報告決算書について (総務局) 16. 2013年度補正予算(案)について (事務局) 17. 2013年度決算(案)について (事務局) ・貸借対象表 ・正味財産増減計算書 ・財産目録 ・財務諸表に対する注記 ・附属明細書 18. 1月通常総会について (2014年度総務局)	

【会 議 報 告】

会 議 名	期 日	会 場	登 録 者
京都会議	1月18日(金)～ 1月20日(日)	京 都	鈴木 喜典、横山 敬生、井上 典嗣
復興フォーラム	3月10日(日)	仙 台	鈴木 喜典、吉田 重成、横山 敬生、井上 典嗣、 樋口 和哉、遠藤 浩樹、梅津壮一郎、玉橋 恵子
ASPAC	6月14日(金) ～ 6月16日(日)	光 州	鈴木 喜典、樋口 和哉
サマーコンファレンス	7月20日(土)～ 7月21日(日)	横 浜	鈴木 喜典、横山 敬生、齋藤 繁喜、井上 典嗣、 樋口 和哉、風間 正志、玉橋 恵子
J C I 世界会議	11月5日(火)～ 11月10日(日)	リオ・デ・ ジャネイロ	-

【会 員 動 向】

卒業者 6名	横山 敬生、飯鉢 文義、吉田 重成、小笠原 恒、梅津 敦、村上 聡
入会者 12名	井上 真、村上 聡、遠藤 譲一、佐藤 和之、玉橋 恵子、平 宗正、橋本 一磨、 小関 弾、小松 龍侍、鈴木亜由美、齋藤 圭央、小笠原信吾
休会者 0名	
退会者 1名	石田 和義

【総 会 報 告】

総 会 種 類	日 時	場 所	議 案
1月通常総会	1月30日(水) 19:00～	長井観光 はぎ苑	第1号議案 定款第37条改定(案)承認の件 第2号議案 2012年度収支決算(案)承認の件 第3号議案 2013年度理事(案)選任の件
8月通常総会	8月21日(木) 18:00～	グランパリス パーティリゾート	第1号議案 2014年度理事候補者(案)承認の件 第2号議案 2014年度理事長候補者(案)承認の件 第3号議案 2014年度監事候補者(案)承認の件
12月臨時総会	12月14日(土) 17:30～	グランパリス パーティリゾート	第1号議案 2013年度理事予定者(案)承認の件 第2号議案 2013年度理事長候補者(案)承認の件

【会 員 大 会 報 告】

会 議 名	期 日	会 場	登 録 者
ブロック会員大会	7月6日(土)～ 7月7日(日)	寒河江	鈴木 喜典、吉田 重成、横山 敬生、飯鉢 文義、 齋藤 繁喜、板垣 洋一、井上 典嗣、樋口 和哉、 佐藤 真光、小関 幸一、遠藤 浩樹、椎名 恭一、 小笠原 恒、鈴木亜由美、小関 弾、大竹 貴之、 影山 孝史、児玉 大輔、村上 聡、風間 正志、 梅津壮一郎、齋藤 憲幸、玉橋 恵子
東北青年フォーラム	9月7日(土)～ 9月8日(日)	大 曲	鈴木 喜典、横山 敬生、飯鉢 文義、齋藤 繁喜、 井上 典嗣、佐藤 真光、大竹 貴之、平 宗正、 齋藤 憲幸
全国会員大会	10月3日(木)～ 10月6日(日)	奈 良	鈴木 喜典、吉田 重成、横山 敬生、飯鉢 文義、 齋藤 繁喜、井上 典嗣、村上 聡、平 宗正、 梅津壮一郎

【祝 事】

周 年 事 業 名	期 日	会 場	登 録 者
高 島 J C 3 5 周 年	5月11日(土)	高 島 町	鈴木 喜典、飯鉢 文義、井上 典嗣、樋口 和哉

【例 会 報 告】

会議名	期 日	会 場	主 管	内 容
1月例会	1月30日(水)	長井観光 はぎ苑	総務局	通常総会 第1号議案 定款第37条改定(案)承認の件 第2号議案 2012年度収支決算(案)承認の件 第3号議案 2013年度理事(案)選任の件
2月例会	2月22日(金)	交流センター ふらり	未来創造会議	会員拡大ミーティング
3月例会	3月24日(日)	交流センター ふらり	まちづくり委員会	地域交流事業 (ソフトバドミントン)
4月例会	4月18日(木)	TASパークホテル アゼリア	ひとづくり委員会	青少年教育座談会
5月例会	5月16日(木)	TASパークホテル アイリス	未来創造会議	人材育成講座 若者集まれ!新時代の超企画力養成講座 ～芸工大に学ぶ、 次代の“しかけ人”とは～
6月例会	6月30日(日)	あやめ公園	まちづくり委員会	地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯」 元気創造プロジェクト みんなの心に太陽を!
7月例会	7月6日(土)～ 7月7日(日)	寒河江市	事務局	ブロック大会寒河江大会
8月例会	8月22日(木)	グランパリス パーティリゾート	総務局	通常総会 第1号議案 2014年度理事候補者(案)承認の件 第2号議案 2014年度理事長候補者(案)承認の件 第3号議案 2014年度監事候補者(案)承認の件
9月例会	9月25日(水)	交流センター ふらり	総務局	次年度理事長候補者所信発表会
10月例会	10月17日(木)	熊野大社 證誠殿	事務局	置賜4LOM合同例会
11月例会	11月29日(金)	グランパリス パーティリゾート	事務局	卒業式
12月例会	12月14日(土)	グランパリス パーティリゾート	総務局	次年度事業計画発表会

【事業報告】

総会種類	日時	場所	議案
新春賀詞交歓会	1月17日(木)	長井観光はぎ苑	事務局
ながい雪灯り回廊まつり 2013	2月2日(土)	最上川堤防沿い	ひとづくり委員会
入会説明会	3月21日(木)	中央会館	
長井 J C アカデミー	4月23日(火)	長井商工会議所研修室	未来創造会議
第 22 回 J C 杯 中学野球大会	5月4日(土)	飯豊球場 長井南 中川西中	ひとづくり委員会
長井駅周辺環境整備	5月23日(木) 10月18日(金)	長井駅周辺	まちづくり委員会
黒獅子まつり 売店運営	5月18日(土)	つつじ公園	事務局
フラワーボランティア教室	6月3日(月) 6月4日(火)	最上川河川 緑地公園	まちづくり委員会
17LOM 協働運動ふるさと OMOIYARI プロジェクト	6月9日(日)	最上川河川 緑地公園	事務局
7 月入会説明会	7月23日(火)	長井観光はぎ苑	未来創造会議
青少年メイン事業 ながい寺子屋	7月27日(土) 7月28日(日)	ふれあいの水辺河川公園 遍照寺 野川まなび館	ひとづくり委員会
水まつり 売店運営	8月3日(土)	最上川河川緑地公園	事務局
納涼パーティー	8月21日(水)	グランパリス パーティーリゾート	ひとづくり委員会
親力を高める講演会	9月19日(木)	生涯学習プラザ	ひとづくり委員会
第 21 回 J C 杯 中学野球大会 1 年生の部	10月5日(土)	飯豊球場 長井北中 長井南中	ひとづくり委員会
第 2 回長井 J C アカデミー	10月21日(日)	交流センター ふらり	未来創造会議
フラワー長井線まつり	10月19日(土)	長井駅	まちづくり委員会
地域防災セミナー	11月21日(木)	交流センター ふらり	まちづくり委員会
11 月入会説明会	11月27日(水)	長井観光 はぎ苑	
クリスマスパーティー	12月14日(土)	グランパリス パーティーリゾート	まちづくり委員会

【2013年度 例会出席状況】

No	役 職 名	理事	氏 名	1月 例会	2月 例会	3月 例会	4月 例会	5月 例会	6月 例会	7月 例会	8月 例会	9月 例会	10月 例会	11月 例会	12月 例会	例会出 席回数	例 会 出席率
1	理 事 長	◆	鈴木 喜典	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
2	直 前 理 事 長	◆	吉田 重成	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
3	顧問・未来創造会議議長	◆	横山 敬生	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
4	監 事		飯鉢 文義	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
5	副 理 事 長	◆	齋藤 繁喜	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	92%
6	副 理 事 長	◆	板垣 洋一	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	11	92%
7	専 務 理 事	◆	井上 典嗣	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
8	ブロック大会支援室室長		樋口 和哉	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	11	92%
9	ブロック大会支援室副室長		佐藤 真光	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		11	92%
10	未来創造会議副議長		小関 幸一	○	○	○	○	○	○	○				○	○	10	83%
11	未来創造会議副議長		遠藤 浩樹	○	○	○	○	○		○	○	○	○		○	10	83%
12	ひとづくり委員会 委員長	◆	椎名 恭一			○	○	○	○	○	○			○	○	9	75%
13			渡部 清隆				○	○								2	17%
14			小笠原 恒	○	○		○		○	○						5	42%
15			菅原 純一													0	0%
16			井上 真	○	○		○		○		○			○	○	7	58%
17			遠藤 譲一	/	/	/	/	○				○		○		3	25%
18			佐藤 和之	/	/	/	/	/	○		○	○		○		4	33%
19			小松 龍侍	/	/	/	/	/	/		○	○				2	17%
20			鈴木亜由美	/	/	/	/	/	/		○	○	○		○	4	33%
21			小関 弾	/	/	/	/	/	/		○	○	○	○	○	6	50%
22			小笠原信吾	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	○	○	2	17%
23	まちづくり委員会 委員長	◆	大竹 貴之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
24			影山 孝史	○			○		○	○	○	○	○	○	○	9	75%
25			那須 丈雄			○			○						○	3	25%
26			児玉 大輔					○	○	○						3	25%
27			村上 聡	/	/	/	/	/	○	○	○		○	○	○	7	58%
28			平 宗正	/	/	/	/	/	○		○	○	○	○	○	6	50%
29			橋本 一磨	/	/	/	/	/			○				○	2	17%
30			齋藤 圭央	/	/	/	/	/	/		○			○		2	17%
31	事 務 局 長	◆	風間 正志	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		11	92%
32	総 務 局 長	◆	梅津壮一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	12	100%
33	事 務 局 補 佐		梅津 敦			○	○	○	○					○		5	42%
34	事 務 局 補 佐		齋藤 憲幸	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	92%
35	事 務 局 補 佐		玉橋 恵子						○	○	○	○		○		5	42%
出 席 数				18	17	16	19	21	25	23	26	24	18	25	24		
出 席 率				62%	59%	55%	66%	72%	86%	79%	90%	83%	60%	93%	89%		

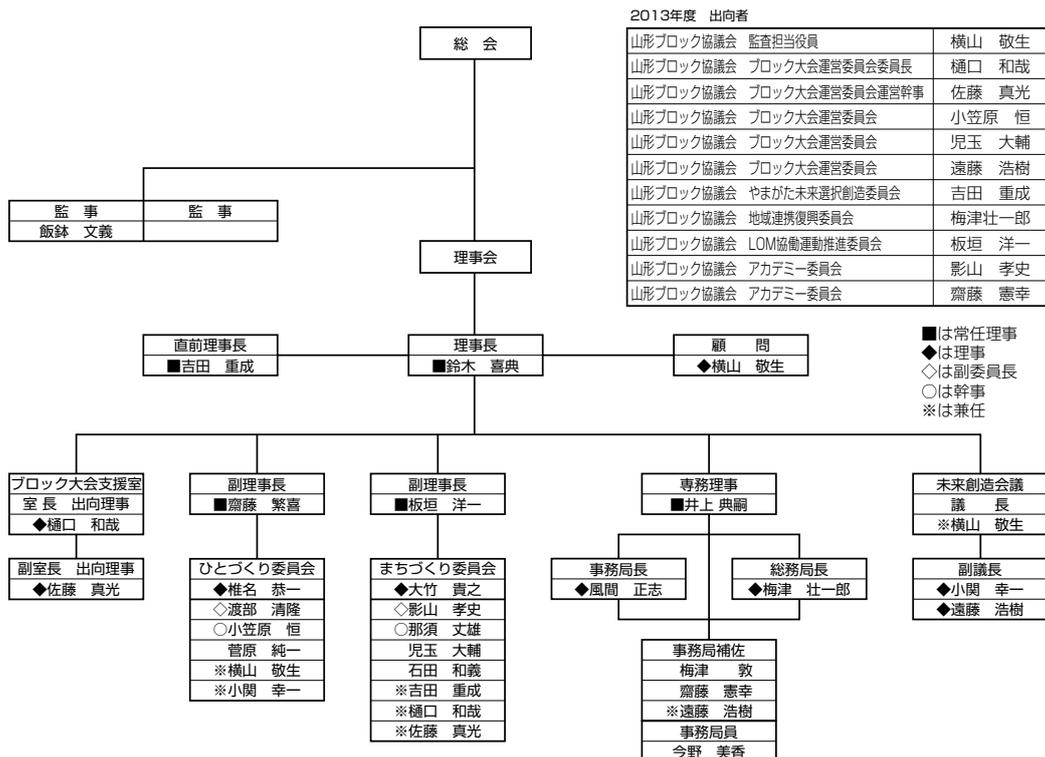
【2013年度 行事・諸会合報告】

期 日	内 容	場 所	代理出席者
11月4日	山形ブロック協議会 第1回会員会議所候補者会議	南陽市	
11月25日	山形ブロック協議会 第2回会員会議所候補者会議	天童市	
11月30日	東北地区協議会 第1回会員会議所候補者会議	秋田市	
12月20日	山形ブロック協議会 会員拡大セミナー	寒河江市	
1月4日	長井市新春祝賀会	長井市タスパークホテル	
1月10日	長井市、白鷹町、飯豊町、小国町各首長へ 新春のご挨拶	長井市、白鷹町、飯豊町、 小国町	
1月16日	長井商工会議新春祝賀会	長井市タスパークホテル	
1月16日	ながい雪灯り実行委員会	長井市役所	板垣洋一
1月18日	長井市宅地開発事業	長井市役所	板垣洋一
1月18日 ～20日	公益社団法人日本青年会議所 京都会議 日本J C総会、東北地区会員会議所会議、新年式典	京都市	
1月18日	勤労青少年ホーム新春の集い	長井市中央公民館	板垣洋一
1月23日	長井市かわまちづくり推進協議会	長井市中央公民館	
1月24日	山形青年会議所 新春祝賀会	山形市	
1月26日	山形ブロック協議会 第1回会員会議所会議	南陽市	
1月30日	置賜地区青少年推進会議	長井市置賜総合支庁	吉田重成
2月4日	長井市社会福祉協議会ボランティアセンター運営会議	スパークホテル	
2月9日	東北地区協議会ゼミナール開校式、 東北3つの夢決起会	仙台市	
2月9日	長井市青少年議会	長井市役所	欠席
2月12日	山形青年会議所 公開例会	山形市	
2月17日	山形大学、長井市連携シンポジウム	長井市タスパークホテル	
2月19日	山形ブロック協議会 会長公式訪問	南陽市	
2月27日	置賜4L O M理事長専務会	長井市はぎ苑	
3月5日	山形ブロック協議会 ブロック大会運営委員会	長井市中央会館	
3月6日	山形ブロック協議会 会員拡大セミナー	東根市	
3月9日	衆議院議員 近藤洋介氏対談	長井市萬寿屋	
3月10日	日本J C総会、復興創造フォーラム	仙台市	
3月12日	長井1000人芋煮会 実行委員会	長井市タスパークホテル	
3月15日	長井市まちづくり青少年育成市民会議理事会	長井市教育委員会	欠席
3月16日	平成23年度ボランティア連絡協議会	長井市社会福祉協議会	
3月23日	山形ブロック協議会 第2回会員会議所会議	山形市	
3月27日	長井市青年団体連絡協議会総会	長井市ココットフォー	
4月2日	長井ロータリークラブ 例会卓話	長井市タスパークホテル	
4月12日	長井1000人芋煮会 実行委員会	長井市もとまち館	
4月15日	日本J C 会頭公式訪問	南陽市	
4月19日	山形青年会議所 井上理事長対談	長井市萬寿屋	
4月23日	長井市観光協会理事会	長井市タスパークホテル	欠席
4月24日	長井市こころのまちづくり助成金選考委員会	長井市役所	
4月25日	長井市振興審議会	長井市民文化会館	
4月27日	山形ブロック協議会 第3回会員会議所会議	鶴岡市	齋藤繁喜
4月29日	東北未来のステージ	はぎ苑	井上典嗣
4月30日	長井1000人芋煮会 芋種植え付け	長井市	
5月8日	長井市青年団体連絡協議会役員会	長井市中央会館	

期 日	内 容	場 所	代理出席者
5月11日	高島青年会議所 創立35周年式典	高島	
5月14日	長井市社会福祉協議会 第2回ボランティアセンター運営会議	長井市役所	板垣洋一
5月14日	長井市観光協会総会	長井市はぎ苑	
5月16日	フラワー長井線利用拡大協議会 幹事会	長井市タスパークホテル	
5月21日	明るい選挙推進協議会常任理事会	長井市役所	
5月25日	山形ブロック協議会 第4回会員会議所会議	米沢市	
5月28日	フラワー長井線利用拡大協議会総会	タスパークホテル	
5月28日	長井おどり実行委員会	長井市民文化会館	
5月30日	明るい選挙推進協議会総会	長井市役所	欠席
6月3日	第1回都市再生整備検討委員会	保健センター	
6月8日	東北地区協議会役員会オブザーブ	南陽市	
6月11日	置賜4 LOM理事長専務会議	米沢市	
6月13日	ながい1000人芋煮会実行委員会	天六	
6月14日 ～16日	ASPAC JCIアジア太平洋会議 ジャパンナイト、総会	韓国 グアングジュ	
6月23日	東日本大震災ドキュメンタリー映画上映会	寒河江市	
6月25日	参議院選挙公開討論会	山形市	
6月27日	長井市防犯協会総会	長井市タスパークホテル	
6月27日	山形J C 6月例会 ASPAC山形大会成功へ向けた学びと感謝の集い	山形市	
6月27日	長井市まちづくり青少年育成市民会議総会	長井市	齋藤繁喜
6月28日	山形鉄道株式会社 株主総会	タスパークホテル	委任状出席
6月29日	山形ブロック協議会 第5回会員会議所会議	酒田市	
7月4日	第2回都市再生整備検討委員会	ふらり	
7月6日 ～7日	山形ブロック協議会 第6回会員会議所会議 山形ブロック協議会 ブロック大会 寒河江大会	寒河江市	
7月17日	山形ブロック協議会 拡大セミナー	天童市	
7月19日	長井市振興審議会 専門部会	長井市役所	
7月19日	長井1000人芋煮会 実行委員会	タスパークホテル	
7月20日 ～21日	日本J C サマーカンファレンス in横浜	横浜市	
7月29日	置賜4 L O M理事長専務会	米沢市	
8月2日	長井市都市再生整備検討委員会	ふらり	
8月19日	長井市都市再生整備検討委員会	ふらり	吉田重成
8月19日	山形ブロック協議会 つながろうプロジェクト	山形市	
8月20日	フラワー長井線まつり実行委員会	山形鉄道	大竹貴之
8月20日	長井1000人芋煮会 実行委員会	タスパークホテル	
8月27日	長井市振興審議会	長井市役所	欠席
8月28日	かわまちづくり推進協議会	ふらり	板垣洋一
9月2日	長井市都市再生整備検討委員会	ふらり	
9月2日	長井市振興審議会	ふらり	
9月3日	フラワー長井線まつり実行委員会	山形鉄道	板垣洋一
9月6日 ～8日	東北地区協議会 会員会議所会議 東北青年フォーラムin大曲	秋田県大曲市	
9月10日	長井1000人芋煮会 実行委員会	あしえる	
9月10日	置賜4 LOM理事長専務会	南陽市	
9月18日	長井1000人芋煮会 実行委員会	にゅー菜園	
9月20日	長井市観光協会	タスパークホテル	欠席

期 日	内 容	場 所	代理出席者
9月23日	長井1000人芋煮会	野川河川公園	
9月28日	山形ブロック協議会 第7回会員会議所会議	村山市	
10月1日	長井市振興審議会	長井市役所	
10月4日	フラワー長井線まつり実行委員会	山形鉄道	板垣洋一
10月4日 ～6日	日本J C 総会 日本J C 全国大会in奈良	奈良市	
10月20日	長井市防災訓練	致芳小学校	
10月26日	山形ブロック協議会 第8回会員会議所会議	天童市	
10月31日	長井市振興審議会	長井市役所	
11月2日	長井市ふるさと親善大使との意見交換会	タスパークホテル	
11月3日	長井市市民表彰式	タスパークホテル	
11月4日	長井市フットパスウォーク	長井市フットパス	板垣洋一
11月5日	長井市都市再生整備検討委員会	保健センター	
11月9日	国際ソロプチミスト長井チャリティーコンサート	グランパリス	
11月12日	長井市まちづくり基金事業発表会	タスパークホテル	
11月13日	あやめまつり委員会	商工会議所	井上典嗣
11月16日	相馬野馬追太鼓チャリティー講演	タスパークホテル	
11月23日	山形ブロック協議会 第9回会員会議所会議 卒業式	南陽市	
11月26日	長井市振興審議会	タスパークホテル	
12月3日	あやめまつり委員会	商工会議所	井上典嗣
12月6日	東北地区協議会 会員会議所会議	山形市	
12月6日	長井市青年団体連絡協議会 交流会	長井市教育委員会	
12月17日	山形県監査	長井商工会議所	
12月21日	置賜4LOM理事長専務会	高島町	

【公益社団法人長井青年会議所 2013年度 組織図】



未来創造会議 事業報告書

- 議長 横山 敬生 ●副議長 小関 幸一
●副議長 遠藤 浩樹

議長所感

青年会議所メンバーとして皆様と共に過ごす最終年度に於いて、顧問という役職に留まらず、会員拡大と人材育成を担当する未来創造会議の議長という担いを与えていただきましたことに心から感謝申し上げます。

長年の課題でありました会員拡大に於いて一定の成果を上げることが出来たのは、会員拡大ミーティングや入会説明会といった事業を明確な意図を持って、一連の流れとして組み上げられたことにも増して、リーダーである鈴木理事長が率先して行動を持って示し、その熱意が伝わったメンバーとともに一年を通じて取り組んでこられたからであると感じます。議長としての私の考えを良く理解していただき、いつも小気味よく行動してくれた小関副議長と遠藤副議長には常に支えていただきました。

東北芸工大の教授と学生をお招きしての人材育成講座や、JCの基礎を学び会議運営手法や組織の有様について再確認した長井JCアカデミーなど、会員の資質向上に資する事業も多く開催させていただきました。まちづくりはひとつりからと云われるように、地域の将来を次代につなぐ責任世代として、地域に貢献できる人材としての資質を高める機会、公益事業に傾倒せざるを得ない現状においてもなおざりにせず、次年度以降も持ち続けてくださることを願います。

我々がやらねば誰がやる。そんな気概を持って会員の意識変革と自己研鑽を重ね、2014年の山形ブロック大会を契機にこの地域の各種団体、行政、地域住民と深く関わり交流することで、長井・西置賜地域の活気溢れるまちづくりを実現するのは他ならぬ私達です。そんな大きな節目となるであろう2014年を目前に控えた本年、皆様とともに歩んでこられましたことに心から感謝申し上げ、皆様の今後益々の奮起をご期待申し上げまして所感と致します。

年間事業報告

会員拡大ミーティング

- 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業
- 定款上の根拠
第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業
- 事業実施に至る背景
ここ近年における青年会議所全体の会員動向を見てみると、新入会員数よりも卒業生や退会者数が多い傾向にあり、年々メンバーの減少が進んでいるのが現状であります。もちろん、長井青年会議所も同じ状況であることなどは言うまでもありません。しかし、このような時期ではあるものの、酒田・鶴岡・南陽JCなど山形ブロック協議会の中でもこれらの青年会議所は会員数を伸ばしております。さらには酒田JCは日本青年会議所のアワードに2年連続で受賞しております。
当会議所は今年度は25名スタートであります。また、14年度にブロック大会誘致をしているわけではありますが、13年度は5名、14年度には2人もの卒業者が見込まれます。このまま会員が一人も入会しないで行けば、ブロック大会のときには20名となります。ここで、再度全メンバーに、現在の状況への危機感や拡大の重要性を認識してもらい、会員拡大に対する意思統一を図り、会員数を確実に増やしていきたいと考えます。
- 事業目的
仲間の創出に向けた会員の意識喚起と情報共有を図る
- 事業の検証方法とその手段
当日参加された方より聞き取りを行い検証としました。
- 事業概要
まずは、メンバー数の現状を把握し、会員拡大の重要性や一人

ひとりが拡大担当者であることを再認識してもらいました。今までの反省点も踏まえて、この拡大ミーティングのあとの会員拡大につなげていけるよう努めました。

また、具体的な手法等も他の青年会議所の活動も参考しながら、会員同士で話し合いをもち、全メンバーが会員拡大の動きを現実的に起こしてもらえるようなミーティングとなりました。

- 実施日時：2月21日 木曜日
- 実施場所・会場：交流センターふらり
- 事業対象者 公益社団法人長井青年会議所メンバー
- 参加者募集方法 メールなどによる連絡
- 決算総額：¥8,249
- 特別の利害関係を有する理事 なし 以上0名
- 決議の条件
議決権のある理事=理事14名(総理事) - 特別の利害関係を有する理事0名=14名
決議の成立する理事数=14名(議決権のある理事数) × 2/3以上の員数
承認の成立する議決権=出席理事数 × 1/2を越える員数
- 参加員数
◆内部
担当委員会 【計画】 3名 【実施】 3名
その他メンバー 【計画】 17名 【実施】 17名
合計 【計画】 20名 【実施】 20名
- 外部協力団体及び協力種別
- 実施プログラム
19:00 例会セレモニー
長井市企画調整課より依頼のあった意見交換会を開催(事務局担当)
20:00 (10分)
会員拡大ミーティング開会
主旨説明 遠藤副議長 座長：横山議長
(候補者リストの確認、リストアップを含む)
20:10 (10分)
12年度の取り組みの良い点、反省点を報告
20:20 (20分)
今後の会員拡大の具体的実行手法の話し合い
20:40 (10分)
他のLOM、酒田JC(案)の取り組みを紹介
20:50 (5分)
会員拡大実行の為の今後のスケジュールについて
20:55 (5分)
総評 鈴木理事長
会員拡大ミーティング閉会
21:00 例会セレモニー
21:20 例会終了
- 対外配付資料
- 人員配置・役割分担表
司会 小関 幸一
趣旨説明 遠藤 浩樹
グループ討議進行 横山 敬生
- 引用著作物の有無 なし
- 事業目的達成の検証
後日メンバーより聞き取り調査を行いましたところ、他の

L O Mの取り組みが参考になった、私たちのところでも活用したらよいのではという意見がありました。昨年度の取り組みのところでは、他人任せで一人ひとりをもっと意識をもっていかなくてはいけないとの意見がありました。以上のことから、会員拡大に向けて会員の意識を換気することが実現できたと考えます。

2 1 実施上の問題点

【運営面】

他のL O Mの拡大の情報などを事前にメールなどをして、メンバーと共有すればもっと意見が出たと思います。

F A Xでの連絡をしなかったのが、メールを見れないメンバーに対する案内が遅れてしまった。

【予算面】 特になし

【その他】 特になし

2 1 引継ぎ事項

会員拡大に向けた意識喚起を行う同様のミーティングは、年初の早い時期にこそ必要であると思います。次年度も同様に開催いただきたいと思います。

2 2 各担当者所見

副議長：遠藤 浩 樹

今年度、未来創造会議の副議長を仰せつかって初めての例会となりました。はじめのステップとして、会員拡大ミーティングとして、新たにメンバーの創出を主に今回の例会を行っています。今回の例会成功が、次のステップの入会説明会に繋がると思います。後日メンバーより、アンケートにより聞き取り調査を行いました。他のL O Mの取り組みは参考になった、昨年度の取り組みではもっとメンバーが主体的に動かないといけないなどたくさんの意見をいただきました。この反省を元に次の事業へつなげていきます。参加されたメンバーはありがとうございました。

担当議長：横山 敬 生

まずは、多くのメンバー皆様よりご参加いただきましてありがとうございました。会員拡大に向けての意義目的を明確にするとともに、気軽にそして現実的に実行に移すよう促すことの難しさを感じました。SNSツールの活用やメルマガ配信による情報共有などと組み合わせながら意識高揚を図り、その後の入会説明会の開催などと結びつけながら、しっかりした計画と勢いをもって拡大を実現して参ります。

担当議長：小 関 幸 一

会員拡大ミーティングを開催させて頂き、具体的に「だれ」が「どこ」に行くのかを今までリスト化してあった資料をもとに際に絞り込みターゲットングでき良かったです。一人ひとりの会員拡大の意識が更に高まり、また情報の共有としての機会は大事だということが改めて感じました。3月開催の入会説明会までの1カ月という決められた目標に対して、あとは、メンバーが「やるか」「やらないか」この後のフォローが更に大事だなと感じました。有意義な時間を頂戴しありがとうございました。

入 会 説 明 会

1 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

ここ近年における青年会議所全体の会員動向を見てみると、新入会員数よりも卒業生や退会者数が多い傾向にあり、年々メンバーの減少が進んでいるのが現状であります。もちろん、長井青年会議所も同じ状況であることなどは言うまでもありません。しかし、このような時期ではあるものの、酒田・鶴岡・南陽J Cなど山形ブロック協議会の中でもこれらの青年会議所は会員数を伸ばしております。さらには酒田J Cは日本青年会議所のアワードに2年連続で受賞しております。

当会議所は今年度は25名スタートであります。また、14年度にブロック大会誘致をしているわけではありますが、13年度は5名、14年度には2人もの卒業生が見込まれます。このまま会員が一人も入会しないで行けば、ブロック大会のときには20名となります。ここで、再度全メンバーに、現在の状況への危機感や拡大の重要性を認識してもらい、会員拡大に対する意思統一

を図り、会員数を確実に増やしていきたいと考えます。

4 事業目的

ともに活動する仲間の創出に向け、入会候補者が意欲を持って入会し積極的に活動に関われるようにするために、意識を共有する機会を持つ。

5 事業の検証方法とその手段

当日参加された方より聞き取りを行い検証としました。

6 事業概要

2月・3月を拡大重点月間と位置付け、入会説明会までに15名の参加を目標としました。3月末時点で新入会員を10人の目標に近づけるため開催しました。入会にあたっての説明に加え、山形ブロック会長である鹿又源州君からJ Cについての様々な経験談や体験談をお聞きし、新入会員または新入会員候補者から、「入会して良かった」「J Cに入会したい!」と思われる入会説明会にしました。また、当日参加の会員候補者に名札をつけていただき、会長より名前を呼んでいただくことで親近感がわくような講演を設えました。

7 実施日時：3月21日(木) 19:00より

8 実施場所・会場：中央会館

9 事業対象者

公益社団法人長井青年会議所メンバー、入会候補者

10 参加者募集方法

案内チラシを作成し、勧誘活動とあわせて告知。メンバーにはメールなどによる連絡を行った。

1 1 決算総額：¥9,750

1 2 特別の利害関係を有する理事 なし 以上0名

1 3 決議の条件

議決権のある理事=理事14名(総理事)-特別の利害関係を有する理事0名=14名

議決の成立する理事数=14名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

1 4 参加員数

◆内部

担当委員会	【計画】 3名	【実施】 3名
その他メンバー	【計画】 22名	【実施】 18名
新入会員候補者	【計画】 15名	【実施】 5名
合 計	【計画】 40名	【実施】 26名

1 5 外部協力団体及び協力種別

1 6 実施プログラム

19:00

開 会 司会 小関副議長

19:01(5分)

2012年度事業紹介PV上映

19:06(3分)

理事長挨拶 鈴木理事長

19:09(11分)

今年度事業紹介

まちづくり委員会 大竹委員長

ひとづくり委員会 椎名委員長

事務局・総務局 井上専務

ブロック支援室 樋口室長

未来創造会議 横山議長

19:21(35分)

基調講演 山形ブロック会長 鹿又源州君

19:56(10分)

入会説明 横山議長

入会しての感想 影山 孝史君 齋藤 憲幸君

資料の説明

入会までの流れ

入会申込書に記入

20:06(5分)

総 評 鈴木理事長

20:11

J C アカデミー

17 対外配付資料

18 人員配置・役割分担表

- ・鈴木理事 理事長挨拶、総評
- ・横山敬生君 受付、入会説明、今年度事業紹介
- ・小関幸一君 司会進行
- ・椎名恭一君・大竹貴之君・樋口和哉君 今年度事業紹介
- ・遠藤浩樹君 主旨説明、PPT操作
- ・齋藤憲幸君・影山隆史君 新入会員から一言

19 引用著作物の有無 なし

20 事業目的達成の検証

小松龍侍君、小関 弾君、齋藤 圭央君、鈴木亜由美君より入会の意思が聞けましたので、本セミナーは、有意義なものであったと思います。後日メンバーより聞き取り調査を行いましたところ、会員候補者の方からは、鹿又会長の話聞いて、自分もそうならない、ぜひ入会してまちづくりをしたい。また現役メンバーからは、自分ももっともっとがんばらないといけないなどの前向きな意見が多数ありましたので今事業が達成したのと思われる。

21 実施上の問題点

- 【運営面】
交流会を重視した時間配分でしたので、十分交流が図られたと思います。
- 【予算面】 特になし
- 【その他】
当日、キャンセルの方がいたので、事前に確認をしておけば良かったと思います。

22 引継ぎ事項

新入会員候補者が目標より少なかったことが上げられます。来年度は目標を上回る人数をどうすれば集められるか、もっと検討する必要があります。当日、キャンセルの方がいたので、前日電話確認、当日迎へに行くくらいでないといけないと思います。

23 各担当者所見

副議長：遠藤 浩 樹
当初、企画段階では、なかった事業ではありますが、結果としては4人の入会と、今年度10名の入会につながったのではないかと思います。この事業の成功が次のJCアカデミーに繋がると思います。反省すべき点は、鹿又会長の交渉を横山議長任せにしたことがあります。時間をつくり同席すればもっと良いセミナーになったのではないかと思います。また後日メンバーより、事業の聞き取り調査を行いました。メンバーからは参加して良かった。鹿又会長の話聞いてJCや仕事に頑張ろうと思ったなどこの事業に参加してよかったとの意見がありました。また、反省点もありますので反省など検証をして次の事業へつなげていきます。参加されたメンバーの方々ありがとうございました。

議長：横山 敬 生
年当初に掲げた目標実現にむけて、会員拡大ミーティングや実際の勧誘活動をしっかりと運動させたことで、この度の入会説明会は有意義なものになったと感じます。開催に向けてメンバー皆様と意識を共有し、みんなで拡大に臨めたことに深く感謝申し上げます。メンバー皆様のJCに対する熱意を鹿又会長より代弁いただけただけのこと、加えて会長自身のこれまでの経験や見識を候補者にしっかりとお伝えいただけただけの心が動かし、入会を決心いただくに至ったものと思います。わたし達現役メンバーの意識高揚も図られた、有意義な事業でありました。

副議長：小 関 幸 一
この度、新入会員の方が4名入会されすばらしい結果となり、メンバー皆さんの協力が形として現れたのではないかと思います。また、鹿又会長のJCに対する熱い思い、これまでの経験などを例に、とても分かりやすい講演で会員候補者の方が、共感できる時間であり、メンバーとしても、とても有意義な時間でありました。会員候補者の方がいる限り、仲間と共に、賛同頂ける方と一緒によりよいまちづくりに邁進して参りたいと思います。ありがとうございました。

- 1 事業の区分：他 1. 内部例会及び会員交流事業
- 2 定款上の根拠
第2章第5条（5） その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業
- 3 事業実施に至る背景
当会議所はここ3年で約10名もの会員が減少し、今年度は会員数が25名と過去最低のスタートであります。また、13年度と14年度で7人もの卒業者が見込まれます。そうした中で会員の拡大に真剣に取り組まなくてはなりません。人材育成もまた、あわせて取り組まなければならない大きな課題です。同じ想いで共に活動する仲間を増やすこと、それは地域のまちづくりの根本を左右する重要なことです。さらに14年度に行われます、ブロック大会の成功にもつながるものと思います。
現役メンバーが新入会員をしっかりサポートしながら、青年会議所の原点に立ち返り基本を再認識し、また現役メンバーの体験談を聞く事によって新入会員の不安を少しでも和らげ、より一層意欲を持って取り組めるよう意識の向上を図らなければなりません。
そして、長井青年会議所の組織を強固にし、地域社会から必要とされ、明るい豊かな社会の実現に向けて活動の原動力になっていきます。
- 4 事業目的
ともに活動する仲間の創出に向け、入会候補者が意欲を持って入会し積極的に活動に関われるようにするために、意識を共有する機会を持つ。
- 5 事業の検証方法とその手段
当日参加された方より聞き取りを行い検証としました。
- 6 事業概要
入会3年以内の新入会員を対象にして、JCについて学びました。「JCとは？」ではJCの成り立ちや組織体系などについて学びました。JCの三信条である修練・奉仕・友情の精神を新入会員と共有できたと思います。「三信条、JCイクリード、宣言文」も学びました。日頃例会や理事会で唱和しているJCIクリードや綱領、使われている用語について学ぶ場もつくりました。また現役メンバーは再確認をしていただけたと思います。「現役メンバーより体験談の紹介」では現役メンバーより、入会しての感想、いろいろな役職や出向を通して感じたことを話していただき、新入会員のJC運動に対する不安を取り除き、より一層意欲を持って取り組めるよう意識の向上を図りました。
- 7 実施日時：4月23日（火）19：00より
- 8 実施場所・会場：長井商工会議所研修室
- 9 事業対象者
入会3年以内の新入会員を主とした現役メンバー
- 10 参加者募集方法
メール配信によるご案内でメンバーに周知をする
- 11 決算総額：¥8,040
- 12 特別の利害関係を有する理事 なし 以上0名
- 13 決議の条件
議決権のある理事=理事14名（総理事）-特別の利害関係を有する理事0名=14名
決議の成立する理事数=14名（議決権のある理事数）×2/3以上の員数
承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数
- 14 参加員数
◆内部
担当委員会 【計画】 3名 【実施】 3名
その他メンバー 【計画】 21名 【実施】 13名
新入会員 【計画】 11名 【実施】 5名
合 計 【計画】 35名 【実施】 21名

15 外部協力団体及び協力種別

16 実施プログラム

- 【予定】19:00(3分) 【実施】19:00(5分)
開会 小関副議長
理事長挨拶 鈴木理事長
【予定】19:03(3分) 【実施】19:05(3分)
趣旨説明 遠藤副議長
【予定】19:06(30分) 【実施】19:08(17分)
セミナー開始
- J Cとは J Cの成り立ちや組織体系などについて 遠藤副議長
 - 三信条、J C I クリード、J C 宣言文、綱領について 遠藤副議長
 - 例会セレモニーについて 風間事務局長
 - 2013年度基本資料について 井上専務理事
- 【予定】19:36(20分) 【実施】19:25(15分)
現役メンバーより体験談の紹介
入会しての感想 佐藤真光君 齋藤繁喜君
【予定】19:56(15分) 【実施】19:40(5分)
J Cに関するテスト 遠藤副議長
【予定】20:14(10分) 【実施】19:45(5分)
テスト解答、解説 遠藤副議長
【予定】20:24(5分) 【実施】19:50(15分)
総評 横山議長
【予定】20:29 【実施】20:05
閉会 小関副議長

17 対外配付資料

18 人員配置・役割分担表

- 鈴木理事長 理事長挨拶
 - 横山敬生君 受付、総評
 - 小関幸一君 司会進行
 - 佐藤真光君 齋藤繁喜君 現役メンバーより体験談の紹介
 - 遠藤浩樹君 主旨説明
- J Cとは J Cの成り立ちや組織体系などについて・三信条、J C I クリード、J C 宣言文、綱領について
風間事務局長例会セレモニーについて
井上専務理事2013年度基本資料(スローガン、基本理念、基本方針)について

19 引用著作物の有無 なし

20 事業目的達成の検証

参加いただいた仮会員及び新入会員の5名の方からは、「内容が難しかった。」「内容が盛りだくさんすぎて少ししか理解できなかった。」「内容はある程度理解できたので、J C活動を前向きにします。」との意見がありました。また現役メンバーからは、「ブロック協議会でしか行っていない、J C I ミッションなど勉強になった。」「普段使っているような単語も意味の再確認ができた。」「J Cテストは勉強になりました。セミナーの再確認という意味だったと思いますが、自分ももっと勉強が必要」など、前向きな意見が多数ありましたので、今事業が達成したものと思われる。

21 実施上の問題点

- 【運営面】
雰囲気硬すぎたように感じます。もう少し和やかにできたら良かったと思います。
一方的な説明ばかりでなく、受講者に対する投げかけややり取りがあればもっとよかったですのではないかと思います。
1部のセミナーと2部の交流会がありますが、交流会を重視した時間配分でしたので、十分に交流、意見交換が図られたと思います。
【予算面】 特になし
【その他】
当日、キャンセルの方がいたので、事前に確認をしておけば良かったと思います。

22 引継ぎ事項

J Cの用語などは、1回だけでは覚えられないと思いますので、何回も勉強をする場を提供できればと思います。当日キャンセルの方がいたので、前の日の電話確認が必要だと思います。セミナーの雰囲気が硬くなりすぎないように、一方的な説明ばかりでなく、受講者に対する投げかけややり取りを組み入れるなどの工夫が必要であると感じます。

23 各担当者所見

副議長：遠藤 浩 樹

反省点をまず挙げたいと思います。当初の予定よりも皆様に伝える部分が増えた事もあり、私自信もっと余裕を持ちわかりやすく説明できたと思います。

また、このセミナーで使用したテキストは、当初鶴岡JCさんのものを書き加えたものでした。J C バイブルなど、参考文献からほとんど内容が濃くなったと思います。私自身も15年入会していますが、とても勉強になりました。入会当時と現在では、宣言文が変わっていますがその説明などあり勉強になりました。ただ勉強したことがうまく伝えられないのが、課題に残りました。

参加されたメンバーの方々には、1つでも持ち帰っていただければ幸いです。今後のJ C ライフで生かされることを願っております。ありがとうございました。

議長：横山 敬 生

新入会員の皆様と多くのメンバーに出席いただき誠に有難うございました。新入会員を対象としたセミナーは久方ぶりの開催であり、入会数年のメンバーにとっても有意義な機会となったのではないのでしょうか。担当者の事前の準備不足の感は否めなかったものの、L O Mメンバーが各パートの説明を担当することで、担当者自身の研修にもつながったことと思えます。今回のセミナーをきっかけにしてさらに積極的にJ C活動に関わっていただくことを期待いたします。

副議長：小 関 幸 一

新入会員セミナーを開催させて頂き、私も大変勉強になりました。今まで、このような形で開催が近年ございませんでしたので、確認の意味も含めて、日頃、何気なく行っていることの意味合いも知ることができ参加者全員で共通認識ができたと思います。ただ、若干参加者の数が少なかったように思われます。基本の部分となりますので、今後も何らかの形でメンバー全員が参加頂けるような機会を作っていければよいと考えます。同じ長井JCのメンバーの中から、J Cの先輩としてお話し頂いたことにも、なかなかそういう機会がありませんので、とても興味深い内容であったと思います。皆様、ありがとうございました。

人 材 育 成 講 座

1 事業の区分：公1. 地域開発事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(2) セミナー、催事の開催又は体験活動を通じて地域社会の健全な発展を目的とするまちづくり事業

3 事業実施に至る背景

現代社会は、日々が進行形であり、今日の流行が明日にも廃る可能性があります。私たちの行っている、まちづくりも共通するものがあると私は思います。ビジネスや文化において数年前までには、映画のワンシーンだったような未来の世界も、今ではそれ自体が当たり前のものとしている価値観として常識となり、いつの間にか私たちの生活にとけこみ、定着していることを、私たちは肌で感じています。新たな価値観を生み出す人材は、まさに、次代のリーダーであります。そんな人材を生み、育てることは、世の中が、私たちの暮らす地域が、明るい豊かな社会を実現するまちづくりにつながると私は考えます。

4 事業目的

人とのつながりを活かし地域の共感を得た体制づくりを担う、新たな地域コミュニティを創造する次代のしかけ人を育成する。

5 事業の検証方法とその手段

セミナー終了後に参加者、現役メンバーよりアンケートに記入をして頂き、アンケート集計をもって検証としました。

6 事業概要

今、求められている地域のリーダーとは「人とつながる力が強い人」、「人が好きな人」であると思います。リーダーには「出会い」と「思いやり」が大切です。明るい豊かな社会を実現するためのまちづくりと言っても、まずは、身近なことから始める必要があります。型にはまった仕事や日常、あるいはいまの社会をもっと面白くするにはどうすればいいのだろう？という心の動きから始まります。周囲の人たちにサプライズを提供したり、みんなのやる気が出るようなちょっとした企画を実行する、こういう

ことも大事なことです。

喜びのタネを上手に育てるには、やはり「企画力」が必要です。世の中のあらゆることは、企画から始まります。様々な商品開発やイベント、各種サービスにいたるまで、その成否は「企画力」で決まるといっても過言ではないと思います。また、企画を個人で育み成長させることは難しいことです。様々な「人びと」とのコラボレーションや組織、コミュニティのバックアップを経て、人びとが共感できる存在価値のある企画になるのだと思います。企画を通じてプレゼンテーション能力とリーダーシップを兼ね備え、世の中を活気づけ、様々な問題を解決できる次代の「しかけ人」が必要です。

今回、多様な分野で活躍する講師のもと、実体験などの事例を通して具体的に学ぶことができる講座を開設しました。

内容として、「人」が持つ企画力を最大限に生かし、現代のシーンに活力を与えている様々な企業や組織の事例を通して「企画」の生み出し方、考え方を学びました。

講座では、はじめに学生の方より、取り組みが実際にどのように地域の方との関わり方を行っているのか事例を通して紹介して頂きました。その後、松村先生より、地域を担っていく若者が、どうやって地域と関わり、様々な地域が抱える問題を解決していけるのか等を、今後の1～2年だけではなく、5～10年を視野に入れ、様々な視点から、地域コミュニティに対しての考え方や、地域に住んで、我々がどういう立ち位置で、どういう視点で捉えたら、一人ひとりが次代の「しかけ人」として活躍できる人材に成長していけるかを解説して頂きました。

7 実施日時：5月16日（木） 午後7時～9時00分

8 実施場所・会場：TASパークホテル3階 アイリス

9 事業対象者
長井青年会議所メンバー、新入会員候補者、一般参加者

10 参加者募集方法
・ホームページでの告知
・Facebookでの告知とイベント機能を活用し情報発信
・チラシ配布"

11 決算総額：¥81,233

12 特別の利害関係を有する理事 以上0名

13 決議の条件
議決権のある理事=理事14名（総理事）-特別の利害関係を有する理事0名=14名
決議の成立する理事数=14名（議決権のある理事数）×2/3以上の員数
承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

◆内部			
担当委員会	【計画】 3名	【実施】 3名	
その他メンバー	【計画】 32名	【実施】 29名	
◆外部			
講師	【計画】 1名	【実施】 2名	
事例紹介者	【計画】 2名	【実施】 2名	
東北芸術工科大学学生	【計画】 3名	【実施】 0名	
新入会員候補者	【計画】 5名	【実施】 0名	
一般参加者	【計画】 30名	【実施】 18名	
合計	【計画】 76名	【実施】 54名	

15 外部協力団体及び協力種別
東北芸術工科大学 共創デザイン室協力

16 実施プログラム

18:40～18:50 例会セレモニー
18:40～19:00 受付
19:00 開会 ◆司会進行：遠藤副議長
19:01 講師入場
19:02～19:10 理事長挨拶
19:11～19:15 趣旨説明・講師紹介 小関副議長
19:15～19:45 渡部芳章さん、小幡卓人さん
活動・事例紹介
20:45～20:10 阪野正義氏
次代のしかけ人を目指したい！！地域にあふれる“今だけ”との出会いを創る
スマートフォンアプリを用いた事業スタートアップ事例

20:10～20:50 松村茂氏講演
東京発をまねるのではなく
長井発のオリジナリティを育てよう！

20:50～20:55 質疑応答

20:55～21:00 謝辞（記念品贈呈） 横山議長

21:00 講師退場

21:00～21:03 アンケート記入

21:03 閉会（終了後 交流会を開催のため一般参加者は会場へ移動）

21:10～ 監事講評（飯鉢監事）

21:15 メンバーは交流会場へ移動

17 対外配付資料 資料名内容

- 1 参加者募集チラシ
- 2 アンケート

18 人員配置・役割分担表

受付…事務局・総務局 カメラ…事務局
会場準備…小関・遠藤副議長 講師送迎・付添…横山議長
司会・進行…遠藤副議長

19 引用著作物の有無 松村茂氏プロフィール写真

20 事業目的達成の検証

アンケート回答率 一般参加者18名中10名回答 回答率56%

① 今回の講座を知ったきっかけは何でしたか？

1. 知人・友人から誘われて 10%
2. チラシを見て 10%
3. facebookで知った 0%
4. 長井青年会議所HP 0%
5. 長井JCメンバーから誘われて 20%
6. その他 60%（元にごわいプロジェクト代表 渡部雄市さんより誘われて）

② 今回の講座に参加して満足できましたか？

1. とても満足 20%
2. 満足 70%
3. どちらともいえない 10%
4. あまり満足できない 0%
5. 不満 0%

③②で答えて頂いた理由は何か？

- ・いろいろな事例を聞いたのが良かった。
- ・先生のお話しをもっと聞きたかった。
- ・自分の知識を増やすことが出来たと思う。
- ・学生の方々も楽しく交えて、発見しながら聞いた。
- ・これからも注意深く関わり興味を持っていきます。
- ・新しい仕事の形を知ることができた。
- ・自分の仕事と異なる仕事をみる事ができた。
- ・やりたいことをやると、教えてくれたから。
- ・青年会議所以外の一般参加者が少ない。

④ 企画力について理解できましたか？

1. とても理解できた 0%
2. 理解できた 80%
3. どちらともいえない 10%
4. あまり理解できない 10%
5. 分からない 0%

⑤ 講座に参加されてのご感想をお聞かせください。

- ・横文字が多く難しかったが、勉強になった。
- ・おもしろかった。
- ・場所や企画力は関係なく実行力が重要、ローカルからでも情報発信が可能。
- ・とても聞きやすい講座であった。
- ・飯豊町の個人事業主のためのピンポイントコンサルを聞いたかった。
- ・松村先生の話が短く少し残念。
- ・何気く知っていただけの新しいツールについて本質を理解できた。
- ・事例紹介の時間がながく、松村先生の話がもっと聞きたかった。
- ⑥ 長井青年会議所への期待、一緒に活動したいので説明がほしい、その他ご要望あればぜひお書きください。
- ・また機会を作って頂きたい。
- ・また事業がある際にお誘い頂きたい。
- ・長井以外での活動をするか広域で団体との交流をちゃんとすれば違う見方もあるかも。
- ・これからも活動に期待しております。頑張ってください。
- ・長井・飯豊合同のフランクな婚活（街婚）

以上のことから、満足度、理解度を検証した結果、今回の人材育成講座はとても有意義な時間であり、人とのつながりを活かし

地域の共感を得た体制づくりを担う、新たな地域コミュニティを創造する次代のしかけ人を育成することができたと考えます。

21 実施上の問題点

【運営面】

- ・講師自ら事例発表者（学生）の選定をしていただいたため、発表者の確定が開催直前になってしまった。
- ・例会開始の時間が遅くなり、一般来場者については受付後、会場に入って頂く際に少しお待ち頂く時間があった。
- ・前の席に若干の空きがあり後ろ側が混みあった。会場に誘導する際に注意する必要がある。
- ・時間配分を事前に確認し、発表者（講師及び事例発表者）が複数人数であったので、時間の配分で工夫する必要がありました。
- ・講師について予め早めの確認を行い、事前に変更になることのないようにする。
- ・参加者募集について、メンバー経由での参加者が少なかった。会議体を中心となり一人ひとりにお願いするなどが足りなかった。

【予算面】

・特になし

【その他】

- ・交流会の会場確保を事前に早めに確認し、会場が同会場であれば、もう少し参加者が見込めたのではないかと。

22 公益目的事業の種類（1）《公益事業の場合のみ記載》

19. 地域社会の健全な発展を目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由(1)《公益事業の場合のみ記載》

本事業は地域のまちづくりに対する意識の高揚を図る事を目的とした地域活性化事業であったり、地域の魅力を地域の方々と共に考え、発信することを主とする事業を含む事から、項目に該当すると考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント(1)《公益事業の場合のみ記載》

3. 講座、セミナー、育成

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明(1)《公益事業の場合のみ記載》

①当該講座、セミナー、育成（以下「講座等」）が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。

不特定多数の参加者の、新たな地域コミュニティを創造する次代のしかけ人を育成する事を事業目的としていることから、不特定多数の者の利益の増進に寄与していると考えられる。

②当該講座等を受講する機会が、一般に開かれているか。（注）ただし、高度な専門的知識・技能等を育成するような講座等の場合、質を確保するため、レベル・性格等に応じた合理的な参加の要件を定めることは可。

若者向けの企画力を高める講座ではあるが、各市町の主要施設等に配布するため、受講する機会が一般に開かれていると考える。

③当該講座等及び専門的知識・技能等の確認行為（受講者が一定のレベルに達したかについて必要に応じて行う行為）に当たって、専門家が適切に関与しているか。（注）専門的知識の普及を行うためのセミナー、シンポジウムの場合には、確認行為については問わない。

東北芸術工科大学の教授を講師として講座を開催するため、専門家が適切に関与していると考えられる。

④講師等に対して過大な報酬が支払われることになっていないか。通常、依頼先の内容により変動はあるようだが、東北芸術工科大学の教授ということも考慮しても、今回の講座は安価で適当な報酬でお願いすることができた。

26 引継ぎ事項

- ・東北芸術工科大学に協力をお願いする際は、共創デザイン室さんに相談し講師選定等に力を貸して頂く。
- ・交流会がセットとなった事業である場合移動が少ないように設える。
- ・複数、発表者、講師がいる場合、時間を知らせる工夫が必要であった。
- ・年代などもある程度特定された講座であったため、メンバー経由での参加募集が必要不可欠である。

29 各担当者所見

副議長：小 関 幸 一

今回、担当として人材育成講座に関わらせて頂き打合せから松村教授と色々やり取りさせて頂き、考え方について深く学びました。打合せ段階でも終始快く、我々のお話しをお聞き頂き、趣旨に賛同して頂くことで、その後も的確にご指導頂きました。講

演では今後のヒントとなるべくお話しが沢山あり、プレゼン力に関しては、参加者も圧倒され、学生の方、卒業生にも視点を交えて熱弁をふるって頂きました。もう少し松村教授のお話しが聞きたかったのが正直な感想で多くあり、時間配分に関して事前に確認が重要でありました。最後にメンバーの方、運営等中心にご協力・参加頂き感謝致しております。ありがとうございました。

副議長：遠 藤 浩 樹

東北芸術工科大学の学生の皆様、また松村教授のお話しが聞け、自分自身、学ぶ点があったと思います。発想力では、今後の山形、日本を変えることが出来そうな気がします。桃色ウサビの話も聞け、一人の学生の熱い思いが、町を変えることができることがわかりました。また、交流会でも、講師の皆様と交流ができた有意義な時間であったと思います。担当していただいた、小関副議長お疲れ様でした。

議長：横 山 敬 生

小関副議長が担当者となって準備を進めた事業でありましたが、こちらの主旨に合致した講師に巡り会えたことでその後の打ち合わせ等がスムーズに進み、こちらの意図をご了承いただいた後は講師の松村さんから提案をいただきながら内容を構築することができました。一般参加者にとっても我々JCメンバーにとっても、これまでとはまた異なる視点からの取り組みを多く紹介いただいたことは非常に有益であったと感じます。今回の芸工大さんとのつながりを一過性のものにするのではなく、今後の他の事業等にも活かしていただけますことを期待しています。

入 会 説 明 会

1 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業

2 定款上の根拠

第2章第5条（5） その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

ここ近年における青年会議所全体の会員動向を見てみると、新入会員数よりも卒業生や退会者数が多い傾向にあり、年々メンバーの減少が進んでいるのが現状であります。もちろん、長井青年会議所も同じ状況であることなどは言うまでもありません。しかし、このような時期ではあるものの、酒田・鶴岡・南陽JCなど山形ブロック協議会の中でもこれらの青年会議所は会員数を伸ばしております。さらには酒田JCは日本青年会議所のアワードに2年連続で受賞しております。

当会議所は今年度は25名スタートであります。また、14年度にブロック大会誘致をしているわけではありますが、13年度は5名、14年度には2人もの卒業生が見込まれます。このまま会員が一人も入会しないで行けば、ブロック大会のときには20名となります。ここで、再度全メンバーに、現在の状況への危機感や拡大の重要性を認識してもらい、会員拡大に対する意思統一を図り、会員数を確実に増やしていきたいと考えます。

4 事業目的

ともに活動する仲間の創出に向け、入会候補者が意欲を持って入会し積極的に活動に関われるようにするために、意識を共有する機会を持つ。

5 事業の検証方法とその手段

当日参加された方より聞き取りを行い検証としました。

6 事業概要

2月・3月を拡大重点月間と位置付け、入会説明会までに15名の参加を目標としました。3月末時点で新入会員を10人の目標に近づけるため開催しました。入会にあたっての説明に加え、山形ブロック会長である鹿又源州君からJCについての様々な経験談や体験談をお聞きし、新入会員または新入会員候補者から、「入会して良かった」「JCに入会したい!」と思われる入会説明会にしました。また、当日参加の会員候補者に名札をつけていただき、会長より名前を呼んでいただくことで親近感がわくような講演を設えました。

7 実施日時：7月23日（火）19：00より

8 実施場所・会場：長井観光はぎ苑

- 9 事業対象者
公益社団法人長井青年会議所メンバー、入会候補者
- 10 参加者募集方法
案内チラシを作成し、勧誘活動とあわせて告知。メンバーにはメールなどによる連絡を行った。
- 11 決算総額：¥5,915
- 12 特別の利害関係を有する理事 なし 以上0名
- 13 決議の条件
議決権のある理事=理事14名（総理事）-特別の利害関係を有する理事0名=14名
決議の成立する理事数=14名（議決権のある理事数）×2/3以上の員数
承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数
- 14 参加員数
◆内部
担当委員会 【計画】 3名 【実施】 2名
その他メンバー 【計画】 32名 【実施】 18名
◆外部
新入会員候補者 【計画】 10名 【実施】 5名
合計 【計画】 45名 【実施】 25名
- 15 外部協力団体及び協力種別
- 16 実施プログラム
18:30 受付開始
(候補者にはネームプレートをつけていただく)
19:00 開会
遠藤副議長司会横山議長
理事長挨拶鈴木理事長
今年度事業紹介
まちづくり委員会大竹委員長
ひとづくり委員会権名委員長
事務局・総務局井上専務理事
ブロック支援室樋口室長
未来創造会議横山議長
19:20 基調講演
公益社団法人長井青年会議所OB 白井賢一郎先輩
山形ブロック協議会 副会長 鈴木篤 君
20:40 現役メンバーから一言 遠藤謙一君、小関弾君
20:45 入会説明 横山議長
20:55 総評 鈴木理事長
21:00 閉会 遠藤副議長
以後となりの会場で交流会
- 17 人員配置・役割分担表
・鈴木理事長 理事長挨拶、総評
・横山敬生君 受付、入会説明、今年度事業紹介、司会進行、PPT操作
・遠藤浩樹君 開会、閉会のあいさつ
・権名恭一君・大竹貴之君・井上典嗣君・樋口和哉君 今年度事業紹介
- 18 引用著作物の有無 なし
- 19 事業目的達成の検証
小笠原信吾君、竹田政貴より入会の意思が聞けましたので、本セミナーは、有意義なものであったと思います。
後日メンバーより聞き取り調査を行いましたところ、会員候補者の方からは、白井先輩、鈴木副会長の話を聞いて、自分もそうなりたい、ぜひ入会してまちづくりを青年会議所メンバーと一緒にしたい。また現役メンバーからは、今まで以上にまちづくりに前向きにがんばりたい。会員拡大に主体的に取り組みたい、自分ももっともっとがんばらなれないといけないなどの前向きな意見が多数ありましたので今事業が達成したものと思われまます。
- 20 実施上の問題点
【運営面】
交流会を重視した時間配分でしたので、十分交流が図られたと思います。
【予算面】 特になし
【その他】
会員候補者が目標10名でしたが、前日1人キャンセルが出て

結果的に5人でありました。全メンバーで候補者を集められるかもっと検討が必要だと思います。

- 21 引継ぎ事項
新入会員候補者が目標より少なかったことが上げられます。来年度は目標を上回る人数をどうすれば集められるか、3月の入会説明会では、全メンバーが動きましたが、7月の入会説明会では主に理事メンバーしか動いていないような気がします。もっと検討する必要があると思います。
前日、キャンセルの方がいたので、しっかりと青年会議所について説明しないといけないと思います。

- 22 各担当者所見
副議長：遠藤 浩 樹
結果としては私たちの熱い思いを組んでいただき、2人の入会と今年度13名の入会につながったのではないかと思います。しかし反省すべきもあります。目標10名に対して、5名の参加に終わったことは、私の力不足であったと思います。メンバーが熱い思いを共有して、候補者を募ることができれば、もっと参加人数が増えたのではないかと思います。今回、入会されなかった方々にも、さまざまな形で思いを共有できれば必ず入会につながると思います。
敬愛する白井先輩、現役で会員拡大を引っ張っておられる鈴木副会長の話を聞いて、私自信も目からうろこであります。JCに入った当時の熱い気持ちになり、今後のJC活動や仕事に頑張ろうと思った次第であります。時間を作って参加された入会候補者、参加されたメンバーの方々ありがとうございました。

- 副議長：小 関 幸 一
今年度2回目の入会説明会ということで、結果2名の入会につなげることができ良かったと思います。当日、残念ながら参加ができませんでしたが内容として、とても興味深いお話しがあったと思います。時間を合せて、皆と一緒にJCに対しての、共通認識できる場となったことは意味があることだと思います。講師をお引き受けいただいた鈴木副会長、そして、尊敬している白井先輩、ありがとうございます。また、当日までお声掛け頂き参加を促して頂きたメンバーの方、ありがとうございます。

- 議長：横 山 敬 生
年当初に掲げた目標である15名拡大を達成すべく、その通過点として2回目となる入会説明会を開催させていただきました。その成果として新たに2名の仲間を迎えることができたのは大変喜ばしいことでありました。これまでに入会された皆様の積極的な参加、前向きな姿勢も感じられ、白井先輩と鈴木副会長の講演をお聞きいただけたことは私自身にとってもうれしいことでした。お二人の講演を通じて感じたこと学んだことを今後の活動に活かしていただきたいと思います。一方で、現役メンバーの参加が少なかったことが非常に残念でした。勧誘活動はJCの魅力を伝えることに他なりません。会員拡大を特定のだれかに頼るのではなく、全員が一年を通じて取り組むべきものであることを今一度会員ひとりひとりに自覚いただきたいと思います。

第2回長井JCアカデミー

- 1 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業
- 2 定款上の根拠
第2章第5条（3） 指導力啓発の知識及び教養の習得と向上、並びに能力の開発を促進する事業
- 3 事業実施に至る背景
当会議所はここ3年で約10名もの会員が減少し、今年度は会員数が25名と過去最低のスタートであります。また、13年度と14年度で7名もの卒業者が見込まれます。そうした中で会員の拡大に真剣に取り組まなくてはなりません。人材育成もまた、あわせて取り組まなければならない大きな課題です。同じ想いで共に活動する仲間を増やすこと、それは地域のまちづくりの根本を左右する重要なことです。さらに14年度に行われます、ブロック大会の成功にもつながるものと思います。
現役メンバーが新入会員をしっかりとサポートしながら、青年会議所の原点に立ち返り基本を再認識し、また現役メンバーのもっているJCに関わる知識をお聞きし、理解を深めることで新会員の不安を少しでも和らげ、より一層意欲を持って取り組めるよう意識の向上を図らなければなりません。

そして、長井青年会議所の組織を強固にし、地域社会から必要とされ、明るい豊かな社会の実現に向けて活動の原動力になっていきます。

4 事業目的

新入会員、メンバーがJCについて学び、再確認をして、次代のまちづくりを担う新たな原動力となる人材の育成を行う

5 事業の検証方法とその手段

当日参加された方より聞き取りを行い検証としました。

6 事業概要

入会3年以内の新入会員を対象にして、JCについて学びました。「ロバート議事法とは？」では、会議の進め方についてお話しをお聞きし学びました。事業を立案するにあたり、アイデアを委員会メンバー等で出し合う際に活用できる「ブレインストーミング」についても学びました。実際にテーマを設けグループ形式になり実際に行いました。また、次年度体制が準備を進めている時期となり、組織体制の在り方、職務についても解説して頂きました。改めて確認の意味も含めて、全メンバーで聴講することで、現役メンバーは再確認をしていただきました。新入会員のJC運動に対する不安を取り除き、より一層意欲を持って取り組めるよう意識の向上を図りました。

7 実施日時：10月21日(月) 午後7時～8時55分

8 実施場所・会場：交流センターふらり2F実習室

9 事業対象者

入会3年以内の新入会員を主とした現役メンバー

10 参加者募集方法

メール配信によるご案内でメンバーに周知をしました。

11 決算総額：¥2,215

12 特別の利害関係を有する理事 なし 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事14名(総理事) - 特別の利害関係を有する理事0名=14名

議決の成立する理事数=14名(議決権のある理事数) × 2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

◆内部

担当委員会	【計画】 3名	【実施】 3名
その他メンバー	【計画】 22名	【実施】 15名
合計	【計画】 25名	【実施】 18名

15 外部協力団体及び協力種別

16 実施プログラム

19:00(3分)

開会 遠藤副議長、理事長挨拶 鈴木理事長

19:03(3分)

趣旨説明 小関副議長

19:06(100分)

長井JCアカデミー

1 ロバート議事法について(10分) 鈴木理事長

2 ブレインストーミングについて(60分) 鈴木理事長 3 グループに分かれて、実際にテーマを設けてロールプレイングを行い発表しました。

3 組織体制の在り方について(10分) 横山議長

4 職務について(10分) 横山議長

20:45(5分)

総評 横山議長

20:50

閉会 遠藤副議長

17 人員配置・役割分担表

受付・カメラ：小関副議長 司会：遠藤副議長

講師：鈴木理事長、横山議長

18 引用著作物の有無 なし

19 事業目的達成の検証

新入会員、現役メンバーに参加頂き、人数は予定よりも少ないなかでありました。しかし、参加頂いた方から感想をお聞きすると内容がとても充実しており、楽しく学ぶことができたという声が多数頂くことができました。また、一同に集まって一緒に時間を共有し、JCについて学び、再確認をして、次代のまちづくりを担う新たな原動力となる人材の育成を行うことができ、目的を達成できたと考えます。

20 実施上の問題点

【運営面】

予定時間よりも過ぎてしまい、事前の打合せが不十分であった。

【予算面】

参加員数計画と実際の参加人数との差異により、金額に大幅な差異が生じた。

【その他】

21 引継ぎ事項

メンバーに積極的に参加いただくために、徹底して参加を促す必要があります。

時間配分に注意し、事前の打合せをする必要があります。

会議運営手法や、個人の資質を磨く研修など、その時々において必要と思われるものを、次年度以降も臨機応変に開催いただきたい。

22 各担当者所見

副議長：小関 幸一

今回の第2回目の長井JCアカデミーは、参加された方が楽しんでアイデア・知恵を出し合い予想よりも盛り上がり参加頂いたメンバーよりも好評でありました。講師役を担当頂いた鈴木理事長、横山議長ありがとうございました。今後のJC活動に対してとても参考になりました。普段何気なく行っていることのJCでの意味など時間をとり考えることができ良かったと思います。新入会員の方も多数参加頂き、現役メンバーも再確認の意味も含めて有意義な時間となりました。

副議長：遠藤 浩 樹

第1回目のJCアカデミーとがらりと変わりましたが、基礎から応用編となったわけですが、私自身も参加して勉強になりました。研修系の委員会は長井JCでは近年なくて新鮮であったと思います。JCだけでなく、仕事でも即使えそうな内容であったと思います。また、出席者の顔ぶれを見ますと、14年度の委員長さん副委員長さんが多数出席で意識の高さを感じました。また、感想を聞いたところ、来年もしてほしい、ためになったなど前向きなご意見が多数あり、検討をして次年度もなんらかの形で、引き続き行いたいと思います。参加されたメンバーの方々お疲れ様でした。

議長：横山 敬 生

近年の長井JCにおいて中々実現できずにいた会員研修の一端を担わせていただきありがとうございました。多人数の意見を集約する手法を学ぶことは、委員会運営やさまざまな場面で議論する機会が多い私達にとっても有益なことであり、組織を構成する理事の役割についてあらためて認識することは、次年度の助走期間であるこの時期であればこそ価値のあることであったと思います。参加人数が少なかったことは大変残念なことであり反省すべき点もありましたが、出席し学んだメンバーが出席が叶わなかったメンバーにしっかりと伝え今後の活動に活かしていただけました幸いです。

11月入会説明会事業報告決算書

1 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(3) 指導力啓発の知識及び教養の習得と向上、並びに能力の開発を促進する事業

3 事業実施に至る背景

ここ近年における青年会議所全体の会員動向を見てみると、新入会員数よりも卒業生や退会者数が多い傾向にあり、年々メンバーの減少が進んでいるのが現状であります。もちろん、長井青年会議所も同じ状況であることなどは言うまでもありません。しかし、このような時期ではあるものの、酒田・鶴岡・南陽JCなど山形ブロック協議会の中でもこれらの青年会議所は会員数を伸ば

しております。さらには酒田JCは日本青年会議所のアワードに2年連続で受賞しております。

当会議所は今年度は25名スタートであります。また、14年度にブロック大会誘致をしているわけではありませんが、13年度は5名、14年度には2人もの卒業者が見込まれます。このまま会員が一人も入会しないで行けば、ブロック大会のときには20名となります。ここで、再度全メンバーに、現在の状況への危機感や拡大の重要性を認識してもらい、会員拡大に対する意思統一を図り、会員数を確実に増やしていきたいと考えます。

4 事業目的

ともに活動する仲間の創出に向け、入会候補者が意欲を持って入会し積極的に活動に関われるようにするために、意識を共有する機会を持つ。

5 事業の検証方法とその手段

当日参加された方より聞き取りを行い検証としました。

6 事業概要

3月、7月とを拡大重点月間と位置付け、入会説明会までに13名の新入会員が入会しました。今年度最後の、拡大重点月間とし、1人でも多く、入会説明会に参加していただき、入会していただくように開催し、また、参加する会員候補者を10人と目標にしました。

また、当日の入会説明会では、入会にあたっての説明に加え、吉田重成君からJCについての様々な経験談や体験談をお聞きしました。新入会員または新入会員候補者から、「入会して良かった」「JCに入会したい!」と思われる入会説明会にした。

7 実施日時：11月27日(水) 19時～20時40分

8 実施場所・会場：はぎ苑

9 事業対象者

公益社団法人 長井青年会議所メンバー 及び 入会候補者

10 参加者募集方法

メール配信によるご案内でメンバーに周知をしました。

11 決算総額：¥430

12 特別の利害関係を有する理事 なし 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事14名(総理事) - 特別の利害関係を有する理事0名=14名

決議の成立する理事数=14名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】3名 【実施】2名

その他メンバー 【計画】22名 【実施】13名

◆外部

新入会員候補者 【計画】11名 【実施】1名

合計 【計画】36名 【実施】16名

15 外部協力団体及び協力種別

16 実施プログラム

【当日】18:30 【予定】18:30

受付開始(候補者にはネームプレートをつけていただく)

【当日】19:00 【予定】19:00

開会 司会 小関副議長

【当日】19:01(3分) 【予定】19:03

理事長挨拶 鈴木理事長

【当日】19:04(1分) 【予定】19:06

出席者紹介

【当日】19:05(15分) 【予定】19:07

今年度事業紹介

まちづくり委員会 大竹委員長

ひとつくり委員会 齋藤副理事長

事務局・総務局 井上専務理事

ブロック支援室 樋口室長

未来創造会議 横山議長

【当日】19:20(20分) 【予定】19:17

JCについて

吉田重成君 2012年度理事長

【当日】19:40(50分) 【予定】19:27

ワークショップ 鈴木理事長

説明

グループ討議テーマ「この地域がさらに発展するには」

グループ発表

【当日】20:30(10分) 【予定】20:07

入会説明 横山議長

資料の説明

入会まで、入会後の流れを説明

入会申込書に記入

【予定】20:17

総評(交流会にて) 鈴木理事長

【当日】20:40 【予定】20:22

閉会 小関副議長

以後となりの会場で交流会

17 人員配置・役割分担表

・鈴木理事長 理事長挨拶、総評

・横山敬生君 今年度事業紹介、入会説明

・小関幸一君 司会進行、PC操作

・大竹貴之君・齋藤繁喜君、樋口和哉君 今年度事業紹介

・影山孝史君 受付

18 引用著作物の有無 なし

19 事業目的達成の検証

今回は、新入会員候補者の方が1名ということで、残念ながら当日にも体調不良等で欠席者があり少し寂しい入会説明会となりました。参加頂いた方からは、入会への前向きにコメントは頂けましたが即入会には至りませんでした。参加された方からは感想をお聞きしたところJCに対する理解が深まったことやブレインストーミングについても楽しく学ぶことができ良かったということでした。今回、少ない人数ではありましたが、参加された方からは、今後、青年会議所に意欲を持って入会していただけるきっかけづくりになったと思いますし、青年会議所に対する理解や意識を共有する機会を持つことができた感じており、目的は達成したと考ます。

20 実施上の問題点

【運営面】

入会説明会への入会候補者への声掛けの不足で、入会候補者の参加人数が少なかった。また、新入会員の参加率も低かった。

【予算面】 特になし

【その他】 特になし

21 引継ぎ事項

入会説明会ということで、入会候補者への声掛けのアナウンスの重要性、メンバーが動いて頂いているかの把握が必要である。入会候補者の方だけでなく、新入会員の方の参加率も上げることも重要である。

22 各担当者所見

副議長：小関 幸一

今回、入会説明会に来て頂いた原君、最後までご参加ありがとうございました。入会への前向きなコメントを頂き、一日も早く仲間として活動していけるよう今後も御案内させて頂きたいと思えます。今回、講師として、吉田直前理事長、鈴木理事長、横山議長にお話し頂き改めてJC人生の先輩として、とても参考になるお話しばかりだったと思います。入会候補者、新入会員の方でも熱心に耳を傾けておりました。今年度3回入会説明会に関わらせて頂き、自分自身もJCに対する理解や、メンバーの事業、地域に対する熱い思いを共有することができ、とても良い機会を頂き感謝しております。関わって頂きました全ての方、誠にありがとうございました。

副議長：遠藤 浩樹

まずは、当日体調を崩して欠席で申し訳ありませんでした。当日の新入会員候補者の参加者は2名となり、目標の10名には遠く及びませんでした。問題点としては、未来創造会議が積極的に行動する。いかにメンバーと協力をして動くかということだと思います。また、長井JCメンバーが一丸となって取り組まなくては、会員拡大は無しえませんが。今回の反省を糧として、来年度へ繋げる、会員拡大の方法を模索、検討して参ります。参加されたメンバーの方々お疲れ様でした。

議長：横山 敬生

入会候補者も一般メンバーも参加人数が非常に少ないなかでの開催になってしまい申し訳ございませんでした。年度末が近付き一層慌ただしさを増す中、参加いただいた皆様には心から感謝申し上げます。今回は勧誘活動に取り組む雰囲気作りが全くできていなかったと思います。理事会で承認された以上はせめて理事の方にはご協力いただけるだろうという甘えがありました。反省しております。

委員会活動報告

期 日	場 所	時 間	出 席 者	内 容
2012/10/30 (火)	J C ルーム	21:00~23:00	横山敬生、小関幸一、 遠藤浩樹	基本計画書について 年間事業計画について
2012/11/2 (金)	みよしの	12:00~13:00	横山敬生、小関幸一、 遠藤浩樹	年間事業計画について
2013/1/25 (金)	そばの 長谷川屋	12:45~14:00	横山敬生、小関幸一、 遠藤浩樹	会員拡大の実現について 会員拡大ミーティングについて、入会説明会について
2013/2/14 (木)	神 戸	12:00~14:00	横山敬生、小関幸一、 遠藤浩樹	会員拡大ミーティングについて、入会説明会について 新入会員セミナーについて、人材育成講座について
2013/2/21 (木)	サンノー 企画印刷	18:00~20:00	小関幸一、遠藤浩樹	会員拡大ミーティングについて、入会説明会について 新入会員セミナーについて、人材育成講座について
2013/3/14 (木)	しゃったか	13:00~14:30	横山敬生、小関幸一、 遠藤浩樹	入会説明会について 新入会員セミナーについて、人材育成講座について
2013/11/1 (金)	ムスメヤ 花 店	16:00~17:30	横山敬生、小関幸一、 遠藤浩樹	11月入会説明会について 正会員承認議案について

ブロック大会支援室 事業報告書

- 担当室長 樋口 和哉
- 副室長 佐藤 真光

議長所感

今年度、ブロック大会支援室室長として一年間活動をさせていただきました。

支援室の一年間の主な活動内容としては、LOM内での活動はほぼ皆無で次年度「長井大会」を主管するにあたり佐藤副室長と共にブロック大会運営委員会に出向させていただき、出向先での運営委員長としての活動がほとんどでございました。

大会準備期間中は大会を構築する難しさや主催と主管のつながりの大切さを日を追うごとに感じる日々でしたが、多くの皆様の多大なるご協力を賜り無事に寒河江大会を開催出来ましたことに心より感謝申し上げます。次年度の長井大会がより良い大会に成るように今年度の経験をしっかりとつなげて参ります。

一年間本当にありがとうございました。

まちづくり委員会 事業報告書

- | | | | |
|---------|-----------|-----|------------|
| ●担当副理事長 | 板垣 洋一 | ●委員 | 佐藤 真光（兼任） |
| ●委員長 | 大竹 貴之 | ●委員 | 児玉 大輔 |
| ●副委員長 | 影山 孝史 | ●委員 | 村上 聡 |
| ●幹事 | 那須 丈雄 | ●委員 | 平 宗正 |
| ●委員 | 吉田 重成（兼任） | ●委員 | 齋藤 圭央 |
| ●委員 | 樋口 和哉（兼任） | ●委員 | 竹田 政貴（仮会員） |

議長所感

はじめに、この一年間、見放す事なく、お付き合いして頂きました理事メンバーの皆様、そして、委員会メンバーの皆様、大変お疲れ様でございました。また、有難う御座いました。心から感謝申し上げます。

この一年という時間は、過ぎさってみれば、あつと言う間の出来事のように感じております。ですが、この一年間は、平坦な道を歩むものは一つもなく、デコボコ道をひたすら前に進むような一年でした。

その甲斐あって、私は、色々な事を学びました。いや、学ばせて頂きました。大切なことは、人が人を思う気持ちだと私は思っておりますが、人を思っている行動には、幾多に亘る思い方があることに気づかされました。

私は、この一年間で培った事を忘れずに伝えていかなければならない責任を感じました。

気付いたこと、教えられたことを後世に伝えつつ、私は私なりに一歩づつでも前へ進んでいきたいと思いました。

最後に、こんな貴重な体験を！理事長有難う御座いました！

年間事業報告

地域交流事業

- 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業
- 定款上の根拠
第2章第5条（5） その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業
- 事業実施に至る背景
まちづくり活動を行う際に、行政や他団体や多くの方々との日頃の繋がりが大切になります。J C内のみならず、まちづくりを共に行う方々に声掛けを行い、まちづくりの輪がさらに広がるような事業を展開します。
また、「明るい豊かな社会」の実現を目指した事業を計画、展開していくためには、メンバー1人1人の心身が充実していなければなりません。しかし、私達は忙しい毎日を送る中、目の前の事に追われてはいないでしょうか。身も心もリフレッシュする機会を設け今後の青年会議所活動の原動力になるような事業が必要だと思えます。
- 事業目的
まちづくりを共に行う方々との交流を通して、お互いの事業を行う際の連携がスムーズになるように団体間の繋がりを深める。
- 事業の検証方法とその手段
参加者から感想と意見を伺い内容を分析して検証とする。
- 事業概要
天候不順の場合も考えたスポーツ交流を実施します。男女、年齢、また経験・未経験に関係なく誰でも手軽にでき、また楽しみながらリフレッシュできるような種目を選定致します。また、各団体、個人がそれぞれコミュニケーションを取れるような設えにし、相互に親睦を深める機会とします。長井青年会議所メンバーだけではなく、行政、他団体に声掛けを行い、まちづくりを行う者同士のコミュニケーションの場とします。
上記の条件を踏まえ、競技種目は男女問わず初心者でもプレイしやすく誰でも楽しめる、ファミリーバドミントンを行いたいと思えます。1チーム6人編成とし、10～12チームを2つか3

つに分けそれぞれのコートでリーグ戦を行います。幅広く垣根の無い交流をねらい、各団体ごとではなく、参加者全体からくじ引きで6人を選出するようなチーム編成方法を考えております。最後に表彰式ということで優勝チームを紹介し表彰と致します。

7 実施日時：3月24日（日）

8 実施場所・会場：交流センターふらり（旧）勤労センター

9 事業対象者

長井青年会議所メンバー及び長井西置賜地域の中で活動されている各種団体に所属している方々。

10 参加者募集方法

メール配信、フェイスブック等のSNSツール。

11 決算総額：¥8,000

12 特別の利害関係を有する理事 無し 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事 = 理事14名（総理事） - 特別の利害関係を有する理事0名 = 14名

議決の成立する理事数 = 14名（議決権のある理事数） × 2/3以上の員数

承認の成立する議決権 = 出席理事数 × 1/2を越える員数

14 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】 8名 【実施】 6名

その他メンバー 【計画】 22名 【実施】 14名

◆外部

長井市役所職員 【計画】 17名 【実施】 10名

長井市青年団体連絡協議会 【計画】 24名 【実施】 13名

合計 【計画】 71名 【実施】 43名

15 外部協力団体及び協力種別

長井市青年団体連絡協議会 協力

16 実施プログラム

13:00 委員会メンバー集合、会場準備

14:00 メンバー集合、例会セレモニー

15:00 開会 進行【佐藤】

15:05 理事長挨拶

15:10 ルール説明【大竹】

15:15 準備体操（ラジオ体操）【樋口】

15:20 各チーム練習

15:30 試合開始

17:15 試合終了

17:20 表彰式

17:25 監事講評

17:30 閉会、後片付け

ケータリング内訳 ・スポーツ飲料 ・紙コップ
・消毒用アルコール ・救急セット

17 対外配付資料 資料名内容

1 地域交流事業案内資料

2 ファミリーバドミントンマニュアル

18 人員配置・役割分担表

進行役：佐藤真光

備品準備：全 員
ルール説明：大竹貴之
ラジオ体操：樋口和哉
審判長：板垣洋一

1 9 引用著作物の有無 無し

2 0 事業目的達成の検証

・昨年参加してはいますが、多種多様の方と繋がりが出来て良い事業だと思う。
・他業種の方とコミュニケーションがとれて楽しかった。
・くじ引きでチームを決めるのに抵抗があったがチーム内で打ち解けて楽しくスポーツが出来て良かった。
・思っていたよりハードなスポーツでいい汗をかくことが出来た。
・知り合いが増えることがうれしい。
・来年もこのような事業を行って頂きたい。
・夢灯事業にもぜひ参加したい。

など上記のように、人と人との繋がりが増えたり、コミュニケーションをとれたことにより多くの方々が悪縁を深め合う事の出来た事業だったと思います。また、交流事業に参加された青年会議所メンバーを除いた方23名中12名という半数の方が地域活性化事業 みんなで灯そう 夢灯のボランティアスタッフとして参加協力をして頂くことができましたのでこの事業の目的は達成されたと思います。

2 1 実施上の問題点

【運営面】

・対外的に集まりが悪かった。委員会内での呼びかけが足りなかった。
・会場（交流センターふらり）手配の確認不足があった。
・結果的に今年度の交流事業の集まった人数が体育館に見合った人数だと感じた。人数の集まり次第で場所を検討しなければならなかった。
・会場を早く抑えなくてはならないと思った。1、2か月前で思うように抑えられなかった。

【予算面】

・会費のみの予算では厳しい。

【その他】

2 6 引継ぎ事項

・会場を早めに抑えること。また、小、中、高校の体育館を使用させて頂けないか確認をすること。
(今年度は、両高校の体育館の使用を試みたが空気がなかった。)
・3月に事業を行うのであれば、他団体へ早めの呼びかけを行う必要がある。
・この事業を行うのであれば、2月か、4月下旬の入学式や、人事移動が終わった辺りが良いと思う。
・会費だけの運営では、赤字になりかねないので、5000円位の事業費を頂いた方がよいと感じた。
・会場の使用する日時をしっかりと確認をする必要がある。
(今年度は、交流センターふらり側の都合で日曜日に変更になったのだが、土曜日と日曜日の使用時間がことなつたため、思わぬアクシデントが起きてしまった。)

2 7 各担当者所見

委員長：大竹 貴 之

当初の予定より参加人数が少なく予算面が心配でしたが、結果予算内で終わることができホッとしました。また、試合内容としても思っていたよりハードなスポーツで日頃の運動不足の解消、心のリフレッシュが出来たと思います。

懇親の場でも、チームごとに集まり色々な分野の話ができ団体間の繋がりがより一層深まったと感じました。

ちょっとしたトラブル、参加人数の少なさが残念な結果となりましたが、交流を図ることで団結力が強まり、信頼関係を築いていくことが出来ると思いますので、今回の反省点を活かして、次年度ではより良い交流事業として行って頂きたいと思いました。最後に準備、設営をして頂きました委員会メンバーの皆様、当日参加して頂きましたメンバーの皆様、大変有難う御座いました。

担当副理事長：板垣 洋 一

準備、設営にご協力頂いた方々、また当日参加して頂いたメンバーの方々に感謝いたします。同じまちづくりを担う団体及び個人の方々とこのような形で交流を図れたことは非常に有意義な事業であったと思います。この後に開催した夢灯事業に関しても多数参加協力して頂いたことも大きな成果ではないかと思ひます。

スポーツだけではなく関心の高いテーマを用いたセミナーであったりワークショップなどのような内容での交流もまた有効であるように感じました。この事業を切っ掛けとしてさらに個人個人の交流の輪が広がって行って頂きたいと思ひます。

長井駅周辺整備事業

1 事業の区分：公1. 地域開発事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(2) セミナー、催事の開催又は体験活動を通じて地域社会の健全な発展を目的とするまちづくり事業

3 事業実施に至る背景

長井駅は『水と緑と花のまち 長井』の玄関口として、その周辺の風景も含めてとてもどこかで趣があります。創立40周年の記念事業として製作した巨大壁画も駅の顔として訪れる人々を迎えております。長井らしさが存分に詰まっている壁画の保全と周辺整備は、描いてくれた子供たちはもちろん、地域住民や観光客にきれいな状態で見て頂くために必要であると考えます。また、壁画と共に周辺の景観を整備することで花のまち長井としての魅力を発信するとともに、和みと癒しの空間を提供できると考えます。

4 事業目的

長井の玄関口である長井駅周辺を整備し、地域の魅力を発信する。

5 事業の検証方法とその手段

山形鉄道関係者に意見や感想を聞き、地域の魅力発信に繋がっているのかを検証する。

6 事業概要

長井駅の花壇の植栽を行った。また、駅周辺の整備を行った。同時に壁画や周辺の状態を確認し、雨や雪などから長期間保護を考えた。

7 実施日時：

春植え：5月23日(木) 16:30~18:00

秋植え：10月18日(金) 16:00~17:00

8 実施場所・会場：

長井駅プラットホーム向い壁画周辺 及び 主に花壇

9 事業対象者

長井青年会議所メンバー全員

1 0 参加者募集方法

メール配信

1 1 決算総額：¥37,340

1 2 特別の利害関係を有する理事 無し

以上0名

1 3 決議の条件

議決権のある理事=理事14名(総理事)-特別の利害関係を有する理事0名=14名

決議の成立する理事数=14名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

1 4 参加員数

◆内部

担当委員会	春植え	【計画】	8名	【実施】	7名
	秋植え	【計画】	8名	【実施】	3名
その他メンバー	春植え	【計画】	16名	【実施】	6名
	秋植え	【計画】	16名	【実施】	5名
仮会員	春植え	【計画】	12名	【実施】	0名
	秋植え	【計画】	12名	【実施】	0名

◆外部

合計	春植え	【計画】	36名	【実施】	13名
	秋植え	【計画】	36名	【実施】	8名

1 5 外部協力団体及び協力種別

1 6 実施プログラム

- ・5月20日 16:30 メンバー全員集合、堆肥の散布、雑草の除去等。
- ・5月23日 16:30 委員会メンバー集合、打ち合わせ。
- (春植え) 17:00 全メンバー集合、作業内容説明。
- 17:10 花植え作業開始。
- 18:00 花植え作業終了。
- ・7月12日 17:00 除草作業
- ・7月26日 17:00 除草作業
- ・9月4日 17:00 除草作業
- ・10月16日 16:00 委員会メンバー集合、堆肥の散布、雑草の除去等。
- ・10月18日 16:00 全メンバー集合、作業内容説明。
- (秋植え) 16:10 花植え作業開始。
- 17:00 花植え作業終了。

17 対外配付資料

18 人員配置・役割分担表

19 引用著作物の有無 無し

20 事業目的達成の検証

山形鉄道関係者、ならびに駅を利用していた乗客の方に感想をお聞きしたところ、美しく整備のされた花壇は利用者の気持ちを和ませ、気持ち良く駅を利用できるとの返答を頂きました。特に長井線まつりや黒獅子まつりなどのイベントなどは利用者が増加し幅広く花の長井をPRできる為、イベント前の植栽はなおの事効果的であったようです。以上のような観点から、当事業の目的である長井駅から地域の魅力の発信は果たされているものと判断します。

21 実施上の問題点

【運営面】

- ・除草作業の回数が少なく、雑草が生い茂っている日が多かった。
- ・委員会の呼びかけ不足のせいメンバーの集まりが良くなかった。
- ・日時が平日の仕事を抜け出さなければならぬ時間を設定した為、メンバーの集まりが良くなかった。

【予算面】 ・特になし

【その他】 ・特になし

22 公益目的事業の種類(1)《公益事業の場合のみ記載》

19. 地域社会の健全な発展を目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由(1)《公益事業の場合のみ記載》

本事業は地域のまちづくりに対する意識の高揚を図る事を目的とした地域活性化事業であったり、地域の魅力を地域の方々と共に考え、発信することを主とする事業を含む事から、項目に該当すると考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント(1)《公益事業の場合のみ記載》

4. 体験活動等

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明(1)《公益事業の場合のみ記載》

①当該体験活動等が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。

長井駅を訪れ利用する人にとって、ホームから壁画と花壇が目に入ることから、適切な方法で明らかにしていると考えます。

②公益目的として設定されたテーマを実現するためのプログラムになっているか。(例: テーマで謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか)

不特定多数が利用する長井駅を整備する事から、公益目的を実現するためのプログラムになっていると考えます。

③体験活動に専門家が適切に関与しているか。

花卉発注業者に苗の選定・時期・数量等をアドバイス頂いている事から、適切に関与していると考えます。

26 引継ぎ事項

- ・規模的に青年会議所メンバーのみで事業は行えるが、広く知って頂く為にも、青団連、他団体に協力を頂ければいいと思います。
- ・除草作業は、最低でも月2回は必要だと感じました。
- ・山形鉄道関係者にも、強くご協力をお願いし、お互いに協力して除草作業を行えるよう要望した方がいいと感じた。

27 各担当者所見

委員長: 大竹 貴之

この長井駅周辺整備事業は、私が入会当時のころからあった継続事業でございます。

今では、軽視しているような事業となっておるようになっておりますが、受け継がれてきた事業は、全うするのがあたり前ですし、止めるのであればそれなりの言い分がなくはなりません。今こそ、花壇の花植え程度のことしか事業としてやってはいたませんが、膨らませればとても大きな事業に変わることも確かだと考えます。例えば、壁画のリニューアルとか。

今年は、春の花植え、秋の花植えを実行しました。お集まり頂きましたメンバーの皆様、ご協力頂きまして大変有難う御座いました。そして、大変お疲れ様でございました。

景観豊かな姿を目にしました方々には、花の長井を連想して頂いたことだと思います。これからも、一つ一つ進化させていければと思いました。参加して頂きました皆様に感謝申し上げ、委員長所見とさせていただきます。皆様本当に有難う御座いました。

担当副理事長: 板垣 洋一

毎年行っている事業の一つでどうしても軽視しがちではありませんが、植物を扱う事業として事業当日と共に日頃の管理が必要になってくる長期的な事業であります。今年度はそれでも定期的な除草作業ができていたと思います。

西置賜を結ぶ沿線であり、地域の方々が多数利用する公共の場を美しく維持していくために、次年度以降もしっかりとこの事業を展開して行っていただきたいと思っております。壁画が出来て来年で10年目となり、これからは見据えるとこの事業も何かしらの変革が必要な時期にあると思っております。創意工夫をこらし、地域に感謝されるような活動にしていってほしいと思っております。

フラワーボランティア教室

1 事業の区分: 公2. 青少年育成事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(1) 講演会、体験活動又はスポーツ等を通じて児童又は青少年の健全な育成を目的とする青少年育成事業

3 事業実施に至る背景

花壇という環境の中で、花の小さな命は水を注ぐのを怠れば次第に枯れ果て、雑草を駆除しなければ太陽の光を浴びる事もできず枯れ果ててしまいます。限られた環境の中で花や生き物は、愛情を持って手をかけなければ生きていけません。様々な環境の中でそれぞれはお互いに関係を持ち、バランスを保ちながら命を育んでいます。私たちの社会においても、個々が自分勝手に生きていく事はできず、他人や周りの環境と関わりをもちながら生きていく事が必要です。

今年度も継続事業として、子供たちにはこれから生きていくために必要な、優しさや思いやりの大切さ、命の大切さを教えていかななくてはならないと思っております。

4 事業目的

子どもたちが花を育てることで、優しさ、思いやりのある心、命の大切さを理解する場を提供する。

5 事業の検証方法とその手段

この事業に携わる方からアンケートを記入して頂き、検証とする。

6 事業概要

継続事業として行っているフラワーボランティア事業に、長井市内の幼稚園、保育園、児童センターの園児、他団体に参加して頂いた。

長井青年会議所メンバー、他団体、親が園児をサポートし植栽を行い、花の名前や、正しい植え方を園児に学んでも頂いた。そして、日頃触れることの少なくなった土に触れ、実際に自分の手で花植え、水やりをする体験授業型の事業を行い、地域に根差す皆がこの事業を通して一貫してまちづくりに関わっていくきっかけとなった。

7 実施日時: 1日目: 6月3日(月) 9:00~12:00、 2日目: 6月4日(火) 9:30~12:00

8 実施場所・会場: 最上川河川緑地公園内花壇

9 事業対象者

長井市内の幼稚園、保育園、児童センターの園児及び先生、親、他団体

10 参加者募集方法 直接訪問しご案内しました。

11 決算総額：¥66,826

12 特別の利害関係を有する理事 無し 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事14名(総理事) - 特別の利害関係を有する理事0名=14名

決議の成立する理事数=14名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

◆内部

担当委員会	8名【計画】	5名【実施】	5名
その他メンバー	17名【計画】	9名【実施】	7名
仮会員	4名【計画】	1名【実施】	0名

◆外部

幼稚園児	270名【計画】	104名【実施】	98名
先生	20名【計画】	11名【実施】	8名
保護者	20名【計画】	16名【実施】	9名
老人クラブ	0名【計画】	9名【実施】	10名
計	339名【計画】	155名【実施】	137名

合計(1日目総数+2日目総数) 339名【実施】 292名

保護者内訳

1日目…花園：0名、めぐみ：8名、伊佐沢：3名、西根：2名、白山：0名、平野：3名/16名
2日目…小桜：5名、致芳：0名、白ゆり：4名、豊田：0名/9名

15 外部協力団体及び協力種別

長井市 共催

長井花卉生産組合長井花卉生産組合 協力

平野児童センター 協力

豊田児童センター 協力

致芳児童センター 協力

西根児童センター 協力

伊佐沢児童センター 協力

めぐみ幼稚園 協力

小桜幼稚園 協力

白山保育園 協力

白ゆり保育園 協力

はなぞの保育園 協力

長井市老人クラブ連合会 協力

16 実施プログラム

4月19日(金) 委員会メンバーで外部団体・各幼稚園・保育園・児童センターに打診、時間調整

5月21日(火) メンバーへのご案内・出欠確認

5月31日(金) マルチシート穴あけ
(委員会中心・メンバー全員)

6月3日(月) 各園・児童センター植栽

6月4日(火) 各園・児童センター植栽

6月3日(月)

AM9:00 メンバー集合
セレモニー

AM10:00 各幼稚園・保育園・児童センター到着

AM10:05 理事長挨拶(各園・児童センターに)

AM10:10 植栽開始

AM11:40 植栽終了

AM11:50 後片付け

AM11:59 メンバー解散

6月4日(火)

AM9:30 メンバー集合

AM10:00 各幼稚園・保育園・児童センター到着

AM10:05 理事長挨拶(各園・児童センターに)

AM10:10 植栽開始

AM11:40 植栽終了

AM11:50 後片付け

AM11:59 メンバー解散

6月7日(金) 委員会メンバーで各幼稚園・保育園・児童センターに集合写真を配布

7月15日(月) 市報掲載(原稿6月25日締切)

11月10日(日) JCメンバーにて花壇の撤去作業

17 対外配付資料

資料名内容

1 アンケート(幼稚園、保育園、児童センター用)

2 アンケート(保護者用)

3 依頼文章(幼稚園、保育園、児童センター)

4 依頼文章(保護者)

5 CDRROM内写真集1CDROM内写真集2集合写真

18 人員配置・役割分担表

19 引用著作物の有無 無し

20 事業目的達成の検証

■設問1 フラワーボランティアに参加して子供たちの様子は怎么样了か?

・花を植える機会が初めての子供もおり、貴重な体験ができた。

(幼稚園)

・親切に誘導、指導をしてもらい楽しんで花植えをできた。

(幼稚園)

・いつになく慎重な感じで植えていた。(幼稚園)

・地域の方とのふれあいや花に興味・関心・親しみの気持ちを持つことのできる経験はとても大切だと思う。(保護者)

・子供たちの心に貴重な体験として残ると思う。(保護者)

・普段の生活の中でできないことができて良かった。(保護者)

■設問2 作業全体を通しての感想をお聞かせください。

・手取り足取り教えてもらい、子供たちも戸惑うことなく作業ができた。(幼稚園)

・多人数での参加であったが、一人3~4個の苗を植えることができ、充実した活動となった。(幼稚園)

■設問4 子供たちにとって今回のような経験はよかったですか?またそれはどのような所ですか?

・とても良い経験だった。植物も生きているというところや見て触れているなどを感じてくれるところが良いと思う。(保護者)

・とても良い経験だった。生き物を育てるということは、いろいろな思いやりの心を持ってもらうと思う。(保護者)

以上、アンケートより一部抜粋。

【まとめ】

上記アンケートより抜粋した内容から子供達が積極的に生き物の事を思いながら植栽をしていた様子が受け取られる。また、日頃の生活の中ではなかなか経験できない、保護者や保育士以外の多人数の人々との関わりも子供達の社会性を育むための一助となったと思われる。以上の点より、当事業の「子どもたちが花を育てることで、優しさ、思いやりのある心、命の大切さを理解する場を提供する。」という目的は果たされたものと判断します。

アンケート結果

21 実施上の問題点

【運営面】

・平日での運営ともあって、メンバーの協力があまり得られなかった。

・植栽は、色々な地区で行っており、花の管理まで行って頂ける団体を見つけることが出来なかった。

【予算面】

・当初計画していた値段より、いざ注文使用した際、値段が変わっており、予算通りにならなかった。

・防草シートを全面分を購入した為、予算オーバーしてしまった。

【その他】 ・特になし

22 公益目的事業の種類(1)《公益事業の場合のみ記載》

7. 児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由(1)

《公益事業の場合のみ記載》

本事業は青少年および保護者を主な対象とした事業であり、青少年自らが気付きを得る機会となっており、項目に該当すると考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント(1)《公益事業の場合のみ記載》

4. 体験活動等

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明(1)《公益事業の場合のみ記載》

①当該体験活動等が不特定多数の者の利益の増進に寄与すること

を主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。
長井市内の幼稚園、保育園、児童センター及び他団体に案内をだし、多くの児童が参加できる環境にあり公益性があると考えられる。

②公益目的として設定されたテーマを実現するためのプログラムになっているか。(例：テーマで謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか)

子供たちが自ら花苗を植えるプログラムになっており、内容が目的から逸脱しておらず、公益性があると考えられる。

③体験活動に専門家が適切に関与しているか。

花苗の準備や花壇の下準備に長井市花卉生産組合が協力しており、公益性があると考えられる。

2.6 引継ぎ事項

- ・幼稚園、保育園、児童センターに依頼するときは、事前に、用意しなくてはならない物の確認と、出席人数を確認すること。
- ・花を植えて頂く人数も必要ですが、管理して頂ける団体も見つけておくのが好ましい。
- ・雑草除去は、少なからず月二度は見ておく必要がある。
- ・事前に保護者への参加協力の意義、関係する団体からどのような協力があるのか等について説明をしっかりとるようにすること。
- ・今年度、防草シートを再利用した為、防草シート(約1000m分)が余りましたので予算計上しなくとも次年度分は間に合います。

2.7 各担当者所見

委員長：大竹 貴之

フラワーボランティア教室にご参加いただきましたメンバーの皆様、平日の最中ご出席頂きまして、誠に有難う御座いました。感謝申し上げます。

フラワーボランティア事業は、私が入会したの頃より、先に始まった事業の一つです。当時始まりのきっかけは私もよく知らない事業ですが、園児たちには、いい機会だと私は思っております。最初は、楽しみ、好奇心からがスタートだと考えます。花は、思いやりの心がなくては育つことなく、枯れ果ててしまいます。そんな思いやりの心をもった子供たちを育てることが私達の役目でもあります。

まずは、子供たちよりも、大人である私達が、優しさ、思いやり、命の尊さを深く学ばなければいけないと思いました。無邪気に笑い、楽しげにしている子供たちを見ること、守ることが出来るのは私達大人です。この事業を通じて一番わからなければならぬことは、大人としての私達の思いだと感じました。簡単ではございますが、所見とさせていただきます。

担当副理事長：板垣 洋一

参加協力していただきましたメンバーの皆様、誠にありがとうございます。毎年行っている事業ではありますが、今年度は長井市老人クラブ連合会の皆様より当日の子供達の植栽活動補助のご協力をいただきました。その点に関しては、双方が非常に活き活きと植栽を行っていらっしゃいましたので、お願いして正解だったのではないかと思います。

毎年のごことではありますが、植栽後の維持管理が難しく、気付けば雑草がはびこっている結果となりました。事業そのものの目的はと事業当日に果たしていますが、維持管理の点はメンバーが行うのか、委託するのか、難題を持ち越すことになりました。次年度以降、解消してもらいたいと思います。

地域活性化事業 みんなで灯そう 夢灯

1 事業の区分：公1. 地域開発事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(2) セミナー、催事の開催又は体験活動を通じて地域社会の健全な発展を目的とするまちづくり事業

3 事業実施に至る背景

近年、コミュニケーションツールの変化や少子高齢化等に伴い、人同士の繋がりが弱くなり、地域に対する関心も薄れてきています。しかし、私達は東日本震災を通して、人と人との繋がりがや郷土の大切さを感じさせられたのではないのでしょうか。そんな今だからこそ、地域の方々と連携・協働し、一体感を感じられるような場が必要だと考えます。

これまで当事業は、「水と緑と花の長井」に代表されるあやめ

公園を会場に、4年間継続して実施してきました。園内に彩られたランタンは、地域住民の心に温かくあかりを灯し、多くの方々に感動を与えてきました。長井市の代表的なイベントの1つになった地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯」を、さらに地域住民から愛され、地域の魅力として発信し続けていく為に、今年度も継続して実施していく必要があると考えます。

4 事業目的

地域住民やまちづくりを共に行う方々との連携・協働により、まちづくりの輪を広げると共に、地域の魅力を内外に発信し交流人口の増加を図る。

5 事業の検証方法とその手段

- ・事業にかかわる方の参加人数と来場者数をもって検証する。
- ・協力団体参加人数(延べ50名)・企業協賛口数(250口)と目標数を設定し、目標達成率をもって検証する。
- ・来場者、協力スタッフにアンケートを書いて頂き、内容を分析をし検証とする。

6 事業概要

小型ランタンを長井市各小学校に依頼して、子供達一人ひとりに夢や希望、願いを描いて頂き、ランタンをあやめ公園内に設置し灯りを灯す。また、当日小型ランタン制作ブースを公園内に設置し、一般入園者にも制作して頂けるようにチラシと共にランタン用紙を配る。内訳として、長井市各小学校制作依頼分約1398基(長井小学校693名、平野小学校157名、豊田小学校176名、伊佐沢小学校48名、西根小学校149名、致芳小学校175名、計1398名)当日制作分として約500基、その他ランタン制作し約3000基の小型ランタンで園内を彩る。

大型ランタンは、長井市内の中学校、高校に依頼し、制作してする。内訳として、長井市立南中学校20基、長井市立北中学校10基、山形県立長井高等学校20基、山形県立長井工業高等学校20基の制作をし、約70基の大型ランタンを園内に設置する。また、80基に満たない分は、既製のランタン用紙を使用する。

今年度は、企業協賛用として、ランタン型大型看板を作製しまして、企業協賛を頂いた企業名を記載し公園出入口に設置します。

小さな子供たち向けに昨年好評だったミニSLコーナーやふわふわドームを公園高台広場に設け、参加料無料で実施する。小さな子供たちからお年寄りまで幅広い年代に参加いただけるような、演出を図り、地域内外に長井西置賜の魅力発信する。また、地域住民やまちづくりを共に行う方々と連携し協働することで、さらなる地域住民との一体間のある事業を展開し、郷土愛の醸成を図る。

7 実施日時：6月30日(日)8:00~22:00

8 実施場所・会場：あやめ公園

9 事業対象者 長井西置賜地域及び一般者。

10 参加者募集方法

- ・新聞折込チラシ19950部(西置賜地域)、ポスター100枚、市報、町報(長井、白鷹)、フェイスブック等のツール、ホームページ記載。
- ・テレビCM(TUY:6月17日~29日、25本放映)(YBC:6月20~29日、10本放映)
- ・テレビPR(YBC:6月17日)(YTS:6月21日)(TUY:6月25日放映)
- ・ラジオPR(YBC:6月28日、12:40~)

11 決算総額：¥835,237

12 特別の利害関係を有する理事

井上典嗣(50,000円以上の利潤が発生) 樋口和哉(50,000円以上の利潤が発生) 以上2名

13 決議の条件

議決権のある理事 = 理事14名(総理事) - 特別の利害関係を有する理事2名 = 12名

決議の成立する理事数 = 12名(議決権のある理事数) × 2/3以上の員数

承認の成立する議決権 = 出席理事数 × 1/2を越える員数

14 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】 8名 【実施】 8名

その他メンバー	【計画】	17名	【実施】	15名
仮会員	【計画】	8名	【実施】	6名
◆外部				
関係諸団体	【計画】	50名	【実施】	58名
一般参加者	【計画】	3500名	【実施】	5000名
合計	【計画】	3583名	【実施】	5087名

1.5 外部協力団体及び協力種別

長井市 後援
長井市教育委員会 後援
長井観光協会 後援
長井市内、小中高校 協力
長井市青年団体連絡協議会 協力

1.6 実施プログラム

6月30日(日曜日)※天候不良時は随時、理事長、副理事長、委員長で実施判断をする。・雨天時連絡経路
8:00 まちづくり委員会メンバー集合・メンバー役割分担表・役割内容・当日スケジュール
10:00 JCメンバー集合(休憩所内)
例会セレモニー、打ち合わせ
10:30 協力スタッフ集合・協力スタッフ出席表・説明会資料、役割分担表
打合せ(高台班、小型ランタン班、大型ランタン班、本部テント班に分かれて)
11:00 会場セッティング、(高台班:ミニSL準備開始、ふわふわドーム準備開始)(小型、大型ランタン班:設置開始)
12:00 ミニSL乗車コーナー運転開始、ふわふわドーム開始・会場セッティング図・小型ランタン設置図
12:30 本部テントセッティング開始・大型ランタン設置図
13:00 当日ランタン作成コーナー、アンケート記入コーナー開始
15:00 小型、大型ランタン設置完了
16:00 夢灯点灯式開始・点灯式スケジュール・2012年度修正看板
16:10 ランタン点灯
17:00 ミニSL乗車終了
18:00 ミニSLコーナー撤収完了
18:00 ふわふわドーム終了
18:30 ふわふわドーム撤収完了
20:30 ランタン片付け開始
22:00 完全終了

1.7 対外配付資料

資料名内容

1	協力依頼承諾書	16
	長井市、各学校、観光協会、教育委員会	17
	消防団、青年団体連絡協議会	18
2	名義使用申請書	19
	長井市、各学校、観光協会、教育委員会	20
3	企業協賛依頼文章、ランタン型看板イメージ	21
4	ポスター、チラシ裏面、新聞折込チラシ裏面	22
	当日配布資料裏面	23
5	広報長井、広報長井表紙、広報しらたか	24
	広報しらたか掲載分、広報いいで	25
6	当日配布資料	26
	まとめ資料、当日スケジュール	27
7	お礼状	28
	小学校、中、高校、企業	29
8	2012年度修正看板	30

1.8 人員配置・役割分担表

・当日スケジュール
・まとめ資料
・メンバー役割分担表

1.9 引用著作物の有無 無し

2.0 事業目的達成の検証

・目標として、昨年度の来園者3500人同様としていたが、14%増の5000人を超える来園者となり、上回る結果が出せたので目的を達成できた。
・事前準備(説明会除き)を含め、協力スタッフ58名からご協力を頂けた。
・当初見込みから比べると非常に少ないアンケート数であったが、チラシの宣伝効果、西置賜の魅力感じた多かった。また、来年

も来たい、都合が合えば来たいなど、興味を持っていただいた方がおりました。協力スタッフにおいても、興味を持ち、参加する気持ちの向上が見受けられる。また、交流人口の増加や、長井市、観光協会、教育委員会、青团連等の協働作業により、まちづくりに対する気持ちを強めることが出来た。
・企業協賛数、目標250口(夢灯、元気創造プロジェクト合算数)と設定していたが、結果285口と目標より上回る結果が

出来た。
企業協賛口数結果 アンケート集約表

2.1 実施上の問題点

【運営面】

・事業計画書において、内容量が大きく、理事メンバーの方うまく伝えることが出来なかった。
・ランタンカップにおいて、昨年使用したランタンカップを再利用することが出来たのだが、確認不足で昨年同様のランタンカップ数を発注してしまった。
・ランタン用紙の締め切りに間に合わない学校があった。(長井工業、長井小学校)
・企業協賛において、必死に取り組んで頂いた方、間際に取り組んで頂いた方、取り組んで頂けなかった方と、温度差を感じた。
・アンケート用紙を本部で書いて頂き、記念品をプレゼントしていたが、予定(300名)より大幅(29名)にアンケート記入者が少なく、呼び掛ける必要性を感じた。
・物品管理に於いて、アンケート用紙を一部紛失もしくは他のアンケートに混入する不手際が出てしまった。

【予算面】

・予算計上していなかったが、必要とされる予算が多く発生してしまった。
・昨年同様、テレビCMをしてみたが、費用に見合った効果があったのか解らなかった。

【その他】

・観光協会、あやめ祭り実行委員会との打ち合わせ不足。
・小型ランタンの焼損があった。

2.2 公益目的事業の種類(1)《公益事業の場合のみ記載》

1.9. 地域社会の健全な発展を目的とする事業

2.3 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由(1)

《公益事業の場合のみ記載》

本事業は地域のまちづくりに対する意識の高揚を図る事を目的とした地域活性化事業であったり、地域の魅力を地域の方々と共に考え、発信することを主とする事業を含む事から、項目に該当すると考えます。

2.4 公益目的事業のチェックポイント(1)《公益事業の場合のみ記載》

9. 展示会、〇〇ショー

2.5 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明(1)《公益事業の場合のみ記載》

①当該展示会が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。
参加対象を一般の方とし、ポスター・新聞折込チラシ・HPにより広く公開していることから、受益機会は均等である。
②公益目的として設定されたテーマを実現するプログラムになっているか。(例:テーマに沿ったシンポジウムやセミナーを開催/出展者にはテーマに沿った展示を厳守させている/テーマで謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか(注)/入場者を特定の利害関係者に限っていないか(注)公益目的と異なるプログラムになっていないかを確認する趣旨であり、公益目的と異ならない限り、製品等の紹介も認め得る。
他団体や行政及び近隣住民との連携と対話によって、地域住民のまちづくりの輪を広げることを事業目的としている点から、公益性が認められる。
③(出展者を選定する場合、)出展者の資格要件を公表するなど、公正に選定しているか。(例:出展料に不当な差別がないか)出展者なし

2.6 引継ぎ事項

・事業計画書について、内容量が膨大な為、複数で分担して作成し、委員長がまとめるとよい。(必ず、複数的人数で確認すること)
・電気設備上、ほんほりだけつけて、水銀灯だけ消すということは現状不可能なので覚えておいた方がよい。
・企業協賛ランタン型看板を見ている方を多く見掛けましたので、

企業協賛する場合、是非、企業協賛ランタン型看板を活用して頂きたい。

- ・250口以上の企業協賛を頂けたが、250口以上の企業協賛目標設定は次年度のメンバー人数、各種開催事業を考えると、今年同様の口数を目標にした方がよいと思う。
- ・アンケート記入をして頂く際、当日配布チラシと一緒に渡したり、何らかの一工夫、努力が必要。
- ・この度は、雨が多少降った程度で取り、運営出来たが、雨の降る季節ですので、雨天時対策を強化した方がよいと思われる。
- ・この事業に初年度から携わっての経験上ですが、6月開催の場合16:00辺りまでは風が強クランタンが倒されることが多く見受けられるので、ランタン点灯は、17:00以降の方が風も静まり、焼損するランタンも防げると思う。
- ・時間と相談して、昼、夕方の弁当代、飲料代を考える。
- ・実施日時について、観光協会、あやめ祭り実行委員会がいい日を決めてしまうので、打ち合わせを早い段階で行うこと。
- ・実施日時について、打ち合わせ（あやめ祭り実行委員会は4月立ち上げ）次第でうまくコラボレーションすると、あまり費用が掛からなく済むかもしれない。
- ・当日使用する物品が膨大である為、管理する人をきちんと定め他、管理する場所などについてもしっかりと準備段階から策定しておくこと。
- ・準備段階及び、当日多くの方々に協力していただく為、常日頃から先方が主催するイベントなどへの積極的な参加と、準備段階からの長井JCメンバーの積極的な参加（最低でも協力者の人数よりも多くのメンバー参加）を意識付けしておくこと。

2.7 各担当者所見

委員長：大竹 貴之

初めに、予定者段階より、この夢灯事業は、議論して議論した上で開催できました夢灯事業だと思っております。理事メンバーの皆様、委員会メンバーに、多くの意見、アドバイスを頂いたからこそ出来た、絆の結晶のような事業だったと心から思い、感謝申し上げます。

事業を終えて見れば、ああすれば良かった。こうしたらもっと来場者に良く思われたのではないかなど、考えた時もありました。

ですが、今年は、今年なりに皆で頑張ってなし終えることが出来た事業だと深く思います。また、夢灯事業に対して、昨年度の夢灯のおかげで、今年があった。夢灯事業を大切に思っ築いてきてくれたからこそ今年があったと考えます。

交流人口の増加や、地域の魅力発信、連携、協働を掲げて行って参りましたが、一つの事業を考え、協力を募った時、一番大切にしなければならぬのが、「思い」、「貫く意思」だと強く思った所でした。

まだまだ、夢灯事業は、未知数の可能性を秘めた事業ですので、次年度は、私も陰ながら携わって行きたいと思っておりますので、思いを大切に頂き、未永く夢灯事業が開催できることを願い、簡単ですが所見とさせていただきます。

最後に、青年会議所メンバー皆様からは、企業協賛、準備まで、多数のご協力頂きまして、心より感謝申し上げます。皆様有難う御座いました。

担当副理事長：板垣 洋一

当日参加協力して下さった皆様、また当日までの長期間にわたり様々な協力、支援していただいた皆様に心から感謝いたします。例年行われている夢灯という事業ではありますが、毎年毎年長井JCが育ててきた大切な事業であります。認知度も深まり、足を運んでくださる方も増え、その分私達に課せられた責任の重さを実感しながら行った事業となりました。なかなか完璧な設えとはいかず、風に負けて倒れたランタンもございました。それらをメンバーと協力スタッフが丁寧に元に戻す作業をしている時に、一般の来場者の方々も一緒になって直すのを手伝って下さいました。子供たちの夢や希望を大切にしようとする気持ちが伝わった瞬間のように思い本当にやってよかったと実感した時でした。今後さらにこの事業が成長し、さらに多くの方々に私達が事業に込めた思いが伝わっていくことを切に望みます。皆様本当にありがとうございました。

元氣創造プロジェクト みんなの心に太陽を！

1 事業の区分：公1. 地域開発事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(2) セミナー、催事の開催又は体験活動を通じて地域社会の健全な発展を目的とするまちづくり事業

3 事業実施に至る背景

今、私達を取り巻く社会は、少子高齢化、景気低迷、安全保障問題、挙げればきりが無いほどの多種多様に深刻な状況にあります。そして2011年3月11日、東日本大震災という未曾有の大災害に見舞われ、多くの尊い命と財産が失われました。原発事故という一世代の間では解決できないほど長期にわたる被害と問題が加わり、人々の心はさらに暗くなっているように感じます。様々な負の連鎖が日本に訪れ、このままの状況が続いたらこれからの日本はどうなるのか、少なからず不安を抱えて生活している人がいると思います。

私達の住む西置賜でも、震災の被害は甚大ではないにしても大手企業の工場閉鎖や若者の都市部への流出など、抱えている問題は少なくありません。このような混沌とした時だからこそ、責任のある我々世代が中心となり郷土が明るく元気になるような行動を起こす必要があると考えます。それには、「笑顔」や「楽しみ」が必要であり、そして、「元気」の元を築いて行かなくてはなりません。

まずは社会の担い手である我々世代から若者が、皆で協力し合い行動し、確実に積み重ねられる事業を展開し、元気な姿勢を地域内外の人々に感じて頂くことが大事になります。その思いからは、「笑顔」が生まれ、若者の活力あるイベントを体感することによって「楽しみ」に変わり、そして、私達の元気な活動が地域の「元気」の原動力となり、地域の魅力として発信し、交流人口の増加に繋げることができると考えます。

4 事業目的

私達世代が協力しあい、行動を共にすることで、地域の元気や前向きな心を醸成すると共に地域の魅力を発信し、交流人口の増加に繋げる。

5 事業の検証方法とその手段

- ・事業にかかわる方の参加人数と来場者数をもって検証する。
- ・協力団体・協賛企業数などの目標数を設定し、目標達成率をもって検証する。
- ・来場者、協力団体にアンケートを書いて頂き検証とする。

6 事業概要

私達世代が日々活動していることを主張する場を設けることで、たくさんの方々にとって元気、そして笑顔を与える事ができると考えます。また、活動を主張したいと考えている、多くの若者に社会活動や地域の事業に参加する機会を与える事で、その後の活動の躍進を後押しするような事業を開催することで、これからの社会の担い手としていく若者に元気が生まれ、地域社会も豊かになっていくと考えます。

そこで、あやめ公園内に各地で活動している若者を中心としたまちづくり諸団体の活動をパネルで展示、それと同時にまちづくりに関連するブース出展をおこない、若者の主張を様々な形にして企画し、園内に演出する。

園内にある水上ステージでは、山形県内を中心に活動しているアーティストによる音楽やダンス等のライブイベントを行い、みんなが笑顔になり、元気になるような活力ある事業を展開する。また、事前準備や当日の作業をまちづくりに共に行っている方々や地域の方と連携、協働することでまちづくりに対する気概や郷土を思う気持ちを醸成するように事業を構築させる。このようなことから、若者の元気あふれる姿、活動を地域内外の来場者に堪能していただくことによって元気を分け与えることができ、また、企画の段階から若者団体と協働することにより、新たな絆の深まりができ、若者団体の参画意識の向上や交流人口の増加、地域の魅力がさらに増加するといった効果が生まれる。

7 実施日時：6月30日(日) 8:00~22:00

8 実施場所・会場：あやめ公園

9 事業対象者 地域内外の一般者

10 参加者募集方法

新聞折込、チラシ、ポスター、市報、フェイスブック等のツール、ホームページ記載など。

1.1 決算総額：¥892,139

1.2 特別の利害関係を有する理事

井上典嗣 (50,000円以上の利潤が発生)
小関幸一 (50,000円以上の利潤が発生) 以上2名

1.3 決議の条件

議決権のある理事=理事14名(総理事)-特別の利害関係を有する理事2名=12名

決議の成立する理事数=12名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

1.4 参加員数

◆内部

担当委員会	【計画】	8名	【実施】	8名
その他メンバー	【計画】	17名	【実施】	15名
仮会員	【計画】	8名	【実施】	6名

◆外部

関係諸団体	【計画】	50名	【実施】	58名
一般参加者	【計画】	3500名	【実施】	5000名
合計	【計画】	3583名	【実施】	5087名

1.5 外部協力団体及び協力種別

長井市 後援
長井市観光協会 後援
長井市商工振興課 協力
西置賜地域地場産業振興センター 協力

1.6 実施プログラム

6月30日(日曜日)※天候不良時は随時、理事長、副理事長、委員長で実施判断をする。・雨天時連絡経路

・代表連絡先

8:00 まちづくり委員会メンバー集合・メンバー役割担当・役割内容・当日スケジュール
9:00 音響設備セッティング、調整
9:30 La!ハラトミ太鼓さん到着
10:00 JCメンバー集合(休憩所内)La!ハラトミ太鼓さんリハーサル
例会セレモニー、打ち合わせ
10:30 協力スタッフ集合・協力スタッフ出席表・説明会資料、分担表
10:50 ブース出展準備
11:00 ブース出展開始
12:00 綺華さんリハーサル
12:30 南陽宣隊 アルカディオニリハーサル
13:00 Ai☆Girlsリハーサル
13:45 元気創造プロジェクトオープニングセレモニー・元気創造プロジェクト使用看板・オープニングセレモニー
13:50 南陽宣隊 アルカディオニショー(終了後、握手会10分)
14:10 バルーンアートたけさん、バルーンアート披露(終了後、風船が無くなるまで配る。終了17:00)
14:30 FMしらたか&坂野バレエ教室、ダンス、バレエ披露
14:50 片づけ、準備
15:00 ダンススタジオ イヴ、ダンス披露
15:30 Ai☆Girls、歌、ダンス披露
16:40 mojo、片づけ、準備、音合わせ
17:40 mojo演奏披露
18:30 片づけ、準備
18:40 綾香さん、歌披露
19:10 片づけ、準備
19:30 La!ハラトミ太鼓さん、和太鼓披露
20:10 水上ステージ撤収作業
21:30 水上ステージ撤収作業完了
22:00 全日程終了

1.7 人員配置・役割分担表

・当日スケジュール
・まとめ資料
・メンバー役割分担表

1.8 引用著作物の有無

ダンススタジオ イヴ楽曲使用料、Ai☆Girls楽曲使用料、mojo楽曲使用料、綺華さん楽曲使用料

1.9 事業目的達成の検証

・目標として、昨年度の来園者3500人同様としていたが、

14%増の5000人を超える来園者となり、上回る結果が出せたので目的を達成できた。

・事前準備(説明会除き)を含め、協力スタッフ58名からご協力を頂けた。
・当初見込みから比べると非常に少ないアンケート数であったが、チラシの宣伝効果、西置賜の魅力感じた多かった。また、来年も来たい、都合が合えば来たいなど、興味を持っていただいた方がおりました。協力スタッフにおいても、興味を持ち、参加する気持ちの向上が見受けられる。また、交流人口の増加や、長井市、観光協会、教育委員会、青团連等の協働作業により、まちづくりに対する気持ちを強めることが出来た。
・企業協賛数、目標250口(夢灯事業、元気創造プロジェクト合算口数)と設定していたが、結果285口と目標より上回る事が出来た。
企業協賛口数結果 アンケート集約表

2.0 実施上の問題点

【運営面】

・まちづくり基金募集が12月上旬からということで、準備するのが遅れた。
・事業計画書において、内容量が大きく、理事メンバーの方にうまく伝えることが出来なかった。
・講演等依頼承諾書の内容把握不足で、何回も出演者に書き直して頂き、迷惑を掛けてしまった。
・観光協会、あやめ祭り実行委員会との打ち合わせ不足で、ブース出展が思うようにできなかった。
・観光協会、あやめ祭り実行委員会との打ち合わせ不足で、予定したリハーサル通りに行かなかった。
・出演者を詰め込みすぎて、準備、片づけ等、余裕がなかった。
・ランタン点灯式前に、Ai☆Girlsの出演が会った為に、ランタン点灯式を見てくださる観客者がほとんどいなかった。
・まちづくり基金の振込(250000円)が8月5日に入金になっていたのだが、確認不足で気づくのが遅れた。
・まちづくり基金の事業完了報告書を出すのが非常に遅かった。

【予算面】

・録音曲、楽曲コピーでも、著作権が掛ることを知らず予算計上しなかった。
・夢灯予算計上なのか、元気創造プロジェクト予算計上なのか混乱してしまっただけ。

【その他】

・出演者にアンケート書いて頂ける時間がなかった。つくらなかった。

2.1 公益目的事業の種類(1)《公益事業の場合のみ記載》

1.9. 地域社会の健全な発展を目的とする事業

2.2 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由(1)《公益事業の場合のみ記載》

本事業は地域のまちづくりに対する意識の高揚を図る事を目的とした地域活性化事業であったり、地域の魅力を地域の方々と共に考え、発信することを主とする事業を含む事から、項目に該当すると考えます。

2.3 公益目的事業のチェックポイント(1)《公益事業の場合のみ記載》 9. 展示会、〇〇ショー

2.4 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明(1)《公益事業の場合のみ記載》

①当該展示会が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。参加対象を一般の方とし、ポスター・新聞折込チラシ・HPにより広く公開していることから、受益機会は均等である。
②公益目的として設定されたテーマを実現するプログラムになっているか。(例:テーマに沿ったシンポジウムやセミナーを開催/出展者にはテーマに沿った展示を厳守させている/テーマで謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか(注)/入場者を特定の利害関係者に限っていないか(注)公益目的と異なるプログラムになっていないかを確認する趣旨であり、公益目的と異ならない限り、製品等の紹介も認め得る。
まちづくりを共に行っている方々や地域住民と連携し協働することによって、郷土愛の醸成を目的としている為、公益性があると考えられる。
③(出展者を選定する場合、)出展者の資格要件を公表するなど、公正に選定しているか。(例:出展料に不当な差別がないか)各出演者との話し合いをし、ご了承頂いている為、公正に選定していると考えられる。

2.4 引継ぎ事項

- ・まちづくり基金を活用する際は、予定者の段階で準備した方がよい。
- ・まちづくり基金第一審査終了後、第2審査が来るのが早い（一週間後位）ので注意すること。
- ・講演等依頼承諾書について、復興支援特別所得税があるので、注意して確認してから出演者に手渡すこと。
- ・ブース出展、水上ステージの使用は、早めに観光協会、あやめ祭り実行委員会の方に相談すること。
- ・元気創造プロジェクトは、夢灯事業の企画演出の部分と割り切り、基金申請額は添付資料とした方が混乱し難いと思った。
- ・録音再生、楽曲コピーでも著作権が絡んでくるので、前もって登録申請が必要。
- ・まちづくり基金の報告書はきちんとチェックし、理事会に必ず上程した後、基金事務局に提出する事。
- ・連絡調整や準備期間に不安があるようであれば、イベントの内容、要する時間や費用などを念頭にして出演者の数、規模などの絞り込みも検討する事。
- ・当日の急なスケジュール変更や、イベント場所の移動などに対応する為、観光協会、観光振興課との連絡を密にする事。

2.5 各担当者所見

委員長：大竹 貴之

元気創造プロジェクト～みんなの心に太陽を！～は、予定者段階より、委員会メンバー一致団結して、生み出した事業です。最初は、まちづくり基金を頂くため、あくまでも夢灯事業のアトラクションとして上程した事業ですが、今では無くては語れない事業と進化したと考えております。出演、ブース出展を承諾頂いた方は、皆、地域の為、将来の子供たちの為、知ってもらいたい現状を表現して頂きました。私利私欲のために活動を表現した方たちは一人もいませんでした。

私は、身近にこんな活動力溢れている方たちが存在していることを認識し、感動したことはありません。人との出会いがこうも力強く、出会いを大切に考えなければならぬと思えました。一つ一つに事業が、自分の周りには、協力で成り立っているということを実感させられた事業でした。

青年会議所メンバー全員に感謝すると同時に、関わりを持って頂いた方に感謝申し上げ、私の所見とさせていただきます。皆様、予定者からのご支援、ご協力有難う御座いました。

担当副理事長：板垣 洋一

元気創造プロジェクト～みんなの心に太陽を！～に参加、協力していただいた皆様様に心より感謝申し上げます。基金の申請の為のやむを得ない手段としてこのような形であやめ公園を使った観光交流事業を行ったわけですが、準備に要した長い時間や計画書上の混乱などたくさんの難題をクリアしながらようやく迎えた当日のイベントは私達の期待以上の盛り上がりで、本当に救われたような気持ちになりました。5年目という節目の年にこのようなスタイルを取った形の事業ですが、引き継ぐか新しいスタイルを模索するかは今後の方々に任せますが、今回事業を二分化して進めるという試行は今後のJCが行う事業に於いても大きな成果を残したのではないのかなと個人的に思う次第です。たくさんの方々の支持と支援、そして思いを感じる事が出来たととてもすばらしい事業でした。皆様本当にありがとうございました。

地域防災セミナー

1 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業

2 定款上の根拠

第2章第5条（5） その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

東日本大震災から2年近くを過ぎ去ろうとしている今、私達の防災に対する意識が少しずつ薄れてきているように感じます。しかし、新潟、福島県の集中豪雨による土砂災害や浸水被害、栃木、茨木県の竜巻被害といった自然災害が相次ぎ発生しており、私達の住む地域においても大規模災害がいつ発生してもおかしくない、災害が他人事ではない時代になっています。

実際に今年（7月中旬～）に入って、置賜管内で集中豪雨に見舞われ、各地で被害が確認されました。いつ災害が起こるか解らない中、私達長井青年会議所に於いても、災害時に迅速に対応出来るような組織体制が必要であると考えます。

4 事業目的

災害時において混乱無く適切な行動を取れるよう、災害時の組織編成と連絡網を整備する。

5 事業の検証方法とその手段

参加者からアンケートに記入して頂き検証とします。

6 事業概要

はじめに、長井市社会福祉協議会から、担当者の方をお招きし、実際に起きた7月22日置きました大雨災害での対応について振り返り、実際の動きについて実践例としまして検証と改善点を説明して頂きました。

その例を踏まえまして、青年会議所内で協力できることをシミュレーションして頂き今後の災害に活用できるような災害対応に関する支援リストを作成しました。その後、長井JC内での支援組織図（案）と緊急連絡網（案）を担当委員会から説明しました。

最後にTADSネットに関する説明を行い、有事の際にスムーズな活用を図れるよう、メンバーの理解を深めていきました。

7 実施日時：11月21日（木） 19：00～21：00

8 実施場所・会場：交流センターふらり 1階視聴覚室

9 事業対象者 長井青年会議所メンバー。

10 参加者募集方法 メール、ライン、電話での周知。

11 決算総額：¥4,870

12 特別の利害関係を有する理事 無し 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事＝理事14名（総理事）－特別の利害関係を有する理事0名＝14名

議決の成立する理事数＝14名（議決権のある理事数）×2/3以上の員数

承認の成立する議決権＝出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】11名 【実施】8名

その他メンバー 【計画】25名 【実施】11名

◆外部

社協より荒井さん 【計画】1名 【実施】1名

合計 【計画】37名 【実施】20名

15 外部協力団体及び協力種別

長井市社会福祉協議会 協力

16 実施プログラム

19：00～ 開会（児玉 大輔）司会：平宗正

19：01～ 理事長挨拶（鈴木理事長）

19：05～ 趣旨説明（大竹委員長）

19：08～ 1. 社会福祉協議会、担当者（荒井さん）からの説明

(1) 7月の大雨災害についての総括の説明

(2) 有事の際にJCへお願いしたいことについての説明

19：50～ 2. LOM内での連絡網や、各会員企業の支援内容確認、各会員の役割について担当委員会より説明（村上 聡）

20：05～ 3. TADSネットに関して担当委員会より説明（影山副委員長）

20：15～ 質疑、応答

20：20～ 謝辞（板垣副理事長）

20：23～ 閉会（児玉 大輔）

20：50 撤収完了

終了後、荒井さんより災害時以外にも社協とJCで連携を図ることができると思うので、今後とも協力をお願いしたいとの要望あり。

17 対外配付資料 資料名内容

1 次第

2 マニュアル1234

3 メンバーご案内文

4 アンケート

5 荒井さんより準備頂いた当日用資料

18 人員配置・役割分担表

《当日役割分担》

開 会	(児玉大輔)	司 会	(平宗正)
理事長挨拶	(鈴木理事長)		
趣旨説明	(大竹委員長)		
事業内容説明1	(村上聡)		
事業内容説明2	(影山副委員長)		
PC操作	(樋口和哉)		
謝 辞	(板垣副理事長)		
閉 会	(児玉大輔)		

《事前準備》

- ・資料作成：大竹委員長、影山孝史
- ・打合せ：板垣副理事長、大竹委員長
- ・リハーサル：11月19日予定、委員会メンバー全員

19 引用著作物の有無 無し

20 事業目的達成の検証

アンケートの結果を見ますと、地域防災の必要性を殆どの方が実感できたという結果が出ましたので地域防災セミナーを行った意味があったと思います。また、参加者全員が、有事の際、何らかの協力が出来ることと考えて頂きました。

当日のセミナーでは、少し時間が余ってしまいましたが、丁度いいという方が多く地域防災セミナー事態は、有意義な時間だったと思いますので目的は達成されたかと思えます。

災害組織図及び連絡網も、事業時に作成できましたので、目的は達成されたと思えます。

災害時組織図及び連絡網 アンケート結果

21 実施上の問題点

【運営面】

- ・ターズネットについて、委員会内でも勉強不足な点があり、もう少し、詳しく説明できればよかった。
- ・ターズネットについてのマニュアルや、実際活用した時の説明を加えるとよかった。
- ・説明だけのセミナーでしたので、ワークショップ的な物も検討すべきだった。

【予算面】

- ・資料作成費が当初予算より若干オーバーしてしまった。
- ・会場設営費も事前に聞いておればよかったのだが、当初予算より大分下回った金額になってしまった。

【その他】

- ・パワーポイントに不備があった。

26 引継ぎ事項

- ・説明だけだと、いまいち実感が湧きづらいので、ワークショップを取り入れた方が良い。
- ・会場設営費は、前もって聞いておいた方が良い。
- ・ターズネットについて、もう少し踏み込んだ説明が必要と感じた。運用上の課題など実態に即した内容があったほうが良い。
- ・リハーサルは時間をつくって徹底的に行った方が良い。

27 各担当者所見

委員長：大 竹 貴 之

この度の地域防災セミナーは、夢灯事業、元気創造プロジェクトのような、長きに渡り、協議し合った事業ではなく、短期決戦のような事業だったと思います。事業について調べれば調べるほど奥が深く、ターズネットに関して等、まだまだ詳しく知っておくべきだと感じたところでした。

初めに、長井社会福祉協議会の荒井さんからの説明も有り、参加されたメンバーの皆様は、地域防災に関して、関心を抱いて頂けたことがこの事業の幸いだと思えます。

この事業を切っ掛けに、これから、有事の際に混乱なく行動できるように備えて行ってほしいと強く思うところでした。まだまだ、ターズネットもこれから進化していくと思いますので、年ごとに、有事の際についてのセミナーを続けて行く必要があると感じました。

簡単ではございますが所見とさせていただきます。この地域防災セミナーに参加いただきました皆様、大変ありがとうございました。

担当副理事長：板 垣 洋 一

当日参加していただいたメンバーの皆様、大変ありがとうございました。長井市社会福祉協議会より荒井様をお招きして有事の際にJCに対して行ってほしい要望について、担当者自ら仰っていただいたことで、参加したメンバーの皆様にはより一層の責任感を持っていただけたのではないかと思います。公益性の高い団

体として、有事の際、私達に期待されていることは多岐にわたります。現在検討中のボランティアセンター設置マニュアルが完成した時、それに沿って再度JCとしての動きについてセミナーなり勉強会なりが必要になってくると思います。都度そのような機会を作って、有事に備えてもらいたいと思います。

今回は緊急の際の連絡網の整備という初歩的な部分に留まりましたが、事業を進めていくうえで、有事の際の対応についてはある程度の知識をメンバー様に持っていないと理解度に差がでるという認識を得ました。私達が有事の際に先頭に立って行動していくために、常日頃からの防災知識の積み重ねが今後さらに必要になってくると思います。

クリスマスパーティー

1 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

私達が青年会議所活動継続して行う上で、家族の理解、協力が最も大事なことだと考えます。その家族に対して感謝の気持ちを示す場が必要と考えます。

4 事業目的

家族に感謝し有意義な時間を過ごし、1年間の活動を振り返りお互いの労をねぎらう。また、メンバー同士で絆を深め次年度JC活動の活力に変えていく。

5 事業の検証方法とその手段

参加メンバー、家族の雰囲気をもって検証とします。

6 事業概要

家族への感謝の気持ちを表し、参加メンバー、家族が有意義な時間とを感じるクリスマスパーティーを行った。また、今後のJC活動の励みとなった。

7 実施日時：12月14日(土)

18:30開場、19:00開会

8 実施場所・会場：グランパリスパーティーリゾート

9 事業対象者

長井青年会議所メンバー全員と家族。

10 参加者募集方法

メール、ライン、電話にて案内致します。

11 決算総額：¥0

12 特別の利害関係を有する理事 無し 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事14名(総理事) - 特別の利害関係を有する理事0名=14名

議決の成立する理事数=14名(議決権のある理事数) × 2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数 × 1/2を越える員数

14 参加員数

◆内部			
担当委員会	【計画】11名	【実施】	8名
その他メンバー	【計画】25名	【実施】	15名
◆外部			
お連れ様	【計画】10名	【実施】	8名
	【計画】20名	【実施】	19名
合 計	【計画】66名	【実施】	50名

15 外部協力団体及び協力種別

16 実施プログラム

19:02 クリスマスパーティー開会

司会：平宗正

19:02 理事長あいさつ（鈴木理事長）
19:04 乾杯（吉田直前理事長）
19:06 事業紹介 プロジェクター使用8分
19:14 LOM褒章（事務局担当）12分
19:26 歓談
19:40 アトラクション 15分（バルーンアート）芳賀竹男様協力
19:55 ビンゴゲーム 40分進行：平宗正 景品係：大人用、大竹、橋本 子供用：板垣、那須
20:35 ご家族へ花束贈呈、代表者2名メッセージ
20:50 参加者全員で記念撮影
20:55 中締めのおいさつ（斎藤次年度理事長候補者）
21:00 クリスマスパーティー終了・出欠表

17 対外配付資料

18 人員配置・役割分担表

- ・総括：大竹貴之
- ・司会：平宗正
- ・協賛品区別、準備係り：板垣洋一、佐藤真光、橋本一磨、
- ・事業紹介作成：影山孝史
- ・受付：那須丈雄、橋本一磨
- ・協賛品渡し係：板垣洋一、大竹貴之、那須丈雄、橋本一磨
- ・理事長挨拶：鈴木喜典
- ・乾杯のご発声：吉田重成
- ・LOM褒章：事務局
- ・花束贈呈、メッセージ代表：横山敬生、飯鉢文義
- ・中締めのご発声：斎藤繁喜

19 引用著作物の有無 無し

20 事業目的達成の検証

メンバー、ご家族の皆様には有意義な時間を過ごして頂けたようです。また、今年はアトラクションに外部から協力を得ることや食べ物をビュッフェ形式にしたり、色々な工夫を取り入れたことにより、次年度クリスマスパーティーの参考に役立たせることが出来たと思います。

事業紹介を長めに取り入れたことで、振り返り思う事もあったと同時に、次年度の事業に対する意気込みも強く思っただけだと感じますので、事業目的は達成されたと考えます。

21 実施上の問題点

【運営面】

- ・呼びかけ不足などにより、予定していた日時に協賛品が集まらず、当日持ち込みの方が過半数であった。

【予算面】

- ・協賛品数の把握が当日となってしまった関係で、大幅に予算を残す結果となった。

【その他】 特になし

26 引継ぎ事項

- ・外部からの協力得て行うアトラクションは、中々好評だったので次年度も取り入れてみてほしいと思う。
- ・ビュッフェ形式を取り入れたことで、余りものを少なくできた、種類を多く取り入れられた等、いい面もあったが、小さなお子様を持つ奥様からみますと、取りに行く暇がない等不自由されることがありましたので、配慮が必要。（アナウンス等で、お連れ様のサポートを呼び掛けるなど。）
- ・協賛品について、協賛品数、協賛品の内容を事前に把握して置かないと、準備する景品の質、数が悪くなるので、必ず把握するように

27 各担当者所見

委員長：大竹 貴 之

クリスマスパーティーを開催するにあたりまして、多くにメンバーの皆様から、沢山の協賛品をご用意して頂きましたこと、また、ご協力頂きましたこと大変心から感謝申し上げます。有難う御座いました。

皆様のご協力の御蔭を持ちまして、大変有意義な時間を過ごすことが出来まして大変うれしく思っております。

この度は、アトラクションに外部からの協力を得たり、ビュッフェ形式を取り入れたり、新しい事を少なからず取り入れてみました。

正直に、時間的に余裕がなく慌ただしくなるのでは、楽しんで頂けるのか。不安な気持ちも多少ありましたが、皆様楽しんでいただけてまして、ほっとしたところでございました。

次年度、クリスマスパーティーを担当する委員会メンバーの皆様には、委員会メンバー丸となって考える事業は、皆様の心に響く事業となりますので、楽しい楽しいクリスマスパーティーを期待しております。

最後となりますが、皆様、本当にご協力頂きまして有難う御座いました。

担当副理事長：板垣 洋 一

今年度最後のまちづくり委員会担当事業として、メンバー皆が気合を入れて準備を行った甲斐があり、非常に盛り上がり、また楽しい時間をメンバーとその家族の皆様と共有できた事業となりました。元気創造プロジェクトの際にお世話になったタケさんに再度協力を頂き当日のバルーンアトラクションをしていただいたことは今までなかなかなかった設えで非常に良かったと思います。次年度もまた行う事業だとは思いますが、やはり楽しく和気あいあいとした雰囲気で行えるようなクリスマスパーティーが一番なのではないかと思っております。たくさんのメンバーに参加協力していただきました。本当にありがとうございました。

委員会活動報告

期 日	場 所	時 間	出 席 者	内 容
2012/10/12 (金)	大竹電気会議室	19:00-21:00	板垣洋一、大竹貴之、影山孝史、那須丈雄、樋口和哉、佐藤真光、遅れて児玉大輔	1、基本計画書について 2、これからの事業について
2012/11/7 (水)	大竹電気会議室	19:00-21:00	板垣洋一、大竹貴之、影山孝史、吉田重成、樋口和哉、佐藤真光、オブザーブ鈴木喜典、井上典嗣	基本計画書について
2012/11/22 (木)	大竹電気会議室	19:00-21:00	板垣洋一、大竹貴之、影山孝史、吉田重成、樋口和哉、佐藤真光	夢灯（仮）事業について
2012/12/1 (土)	大竹電気会議室	19:00-22:30	板垣洋一、大竹貴之、那須丈雄、樋口和哉、佐藤真光、吉田重成、オブザーブ鈴木喜典	1. 地域観光交流事業（仮）について 2. 長井心のまちづくり基金助成交付申請書について
2012/12/27 (木)	大竹電気会議室	19:00-22:31	板垣洋一、大竹貴之、那須丈雄、樋口和哉、吉田重成、影山孝史	1. 元気創造プロジェクトについて
2013/1/23 (水)	大竹電気会議室	19:00-24:00	板垣洋一、大竹貴之、吉田重成、樋口和哉、佐藤真光	地域交流事業について 地域活性化事業みんなで灯そう夢灯及び元気創造プロジェクトについて
2013/2/5 (火)	大竹電気会議室	19:00-23:00	板垣洋一、大竹貴之、影山孝史、佐藤真光	1. 元気創造プロジェクトみんなの心に太陽を！について
2013/3/2 (土)	大竹電気会議室	19:00-21:00	板垣洋一、大竹貴之、吉田重成、樋口和哉、那須丈雄、村上聡、影山孝史	①経過報告 ②各メンバーへの依頼事項確認 ③ポスター（案）について
2013/3/13 (水)	大竹電気会議室	19:00-22:00	板垣洋一、大竹貴之、吉田重成、佐藤真光、那須丈雄、村上聡	1. 地域交流事業について 2. 夢灯、元気創造プロジェクトポスターについて
2013/3/18 (月)	ふらり (旧勤労センター)	18:00-21:00	板垣洋一、大竹貴之、佐藤真光、那須丈雄、平宗正、オブザーブ鈴木喜典、梅津壮一郎	ファミリーバドミントン事前体験
2013/3/22 (金)	大竹電気会議室	19:00-22:00	大竹貴之、平宗正	1. 地域交流事業 スポーツ保険申込書作成
2013/4/16 (火)	大竹電気会議室	19:00-20:30	板垣洋一、大竹貴之、影山孝史、吉田重成、佐藤真光、村上聡、平宗正、橋本一磨	1. 長井駅周辺整備事業について 2. フラワーボランティア教室について 3. 夢灯、元気創造プロジェクトについて
2013/4/30 (火)	大竹電気会議室	19:00-23:00	板垣洋一、大竹貴之、影山孝史、吉田重成、佐藤真光、児玉大輔、村上聡、平宗正	1. 長井駅周辺整備事業について 2. 夢灯、元気創造プロジェクトについて
2013/5/9 (木)	大竹電気会議室	19:00-22:00	板垣洋一、大竹貴之、吉田重成、樋口和哉、佐藤真光、那須丈雄、村上聡、平宗正	1. 夢灯、元気創造プロジェクトについて T V C M、企業協賛等
2013/5/27 (月)	大竹電気会議室	19:00-23:00	板垣洋一、大竹貴之、吉田重成、樋口和哉	1. フラワーボランティア教室について 2. 夢灯、元気創造プロジェクトについて
2013/6/3 (月)	大竹電気会議室	19:00-23:00	板垣洋一、大竹貴之	1. 夢灯、元気創造プロジェクトについて
2013/6/7 (金)	大竹電気会議室	19:00-24:00	板垣洋一、大竹貴之、影山孝史、吉田重成、佐藤真光、オブザーブ鈴木喜典	1. 夢灯、元気創造プロジェクトについて
2013/6/8 (土)	大竹電気会議室	19:00-24:00	板垣洋一、大竹貴之	1. 夢灯、元気創造プロジェクトについて
2013/6/10 (月)	大竹電気会議室	19:00-24:00	板垣洋一、大竹貴之	1. 夢灯、元気創造プロジェクトについて
2013/6/11 (火)	大竹電気会議室	19:00-24:00	板垣洋一、大竹貴之	1. 夢灯、元気創造プロジェクトについて
2013/6/14 (金)	大竹電気会議室	19:00-24:00	板垣洋一、大竹貴之	1. 夢灯、元気創造プロジェクトについて
2013/6/15 (土)	大竹電気会議室	19:00-24:00	板垣洋一、大竹貴之	1. 夢灯、元気創造プロジェクトについて
2013/6/16 (日)	吉田製作所	10:00-17:00	板垣洋一、大竹貴之、吉田重成、児玉大輔村上聡	1. 企業協賛看板製作
2013/6/17 (月)	大竹電気会議室	19:00-20:30		夢灯事前準備
2013/6/18 (火)	大竹電気会議室	19:00-20:30		夢灯事前準備
2013/6/16 (日)	吉田製作所	10:00-17:00	板垣洋一、大竹貴之、吉田重成、村上聡、平宗正	1. 企業協賛看板製作
2013/6/27 (木)	吉田製作所	19:00-21:00		夢灯事前準備
2013/6/28 (金)	末広倶楽部	19:00~		夢灯、元気創造プロジェクト説明会
2013/6/29 (土)	あやめ公園 他	9:00-4:00	板垣洋一、大竹貴之、影山孝史、吉田重成	夢灯事前準備
2013/7/10 (水)	大竹電気会議室	19:00-20:30	板垣洋一、大竹貴之、影山孝史、吉田重成、村上聡	夢灯、元気創造プロジェクトについて アワード申請、著作権等
2013/8/22 (木)	大竹電気会議室	19:00-20:00	大竹貴之、佐藤真光、竹田政貴	地域防災セミナーについて
2013/9/3 (火)	大竹電気会議室	19:00-23:30	板垣洋一、大竹貴之	地域交流事業、事業報告について
2013/9/4 (水)	長井駅、 大竹電気会議室	17:30-18:30 20:00-1:00	大竹貴之、樋口和哉、平宗正	1. 地域交流事業、事業報告について 2. 夢灯、元気創造プロジェクトアンケート集計
2013/9/25 (水)	長井駅、 大竹電気会議室	21:30-1:50	板垣洋一、大竹貴之	1. 地域防災に関する事業について

ひとつくり委員会 事業報告書

- | | | | |
|----------|-------|------|-------|
| ●担当副理事長 | 齋藤 繁喜 | ●委 員 | 横山 敬生 |
| ●委 員 長 | 椎名 恭一 | ●委 員 | 小関 幸一 |
| ●副 委 員 長 | 渡部 清隆 | ●委 員 | 小松 龍侍 |
| ●幹 事 | 小笠原 恒 | ●委 員 | 佐藤 和之 |
| ●委 員 | 菅原 純一 | ●委 員 | 遠藤 謙一 |
| ●委 員 | 井上 真 | ●委 員 | 鈴木亜由美 |
| ●委 員 | 小関 弾 | ●委 員 | 小笠原信吾 |

議長所感

2013年度、委員長職を全うできたのも、鈴木理事長、齋藤副理事長、理事役員、委員会メンバーに支えていただいたからこそと感謝申し上げます。また、フォロアメンバーの皆さまのご協力をいただき本当にありがとうございました。

青少年育成メイン事業の開発に向けて子ども達の育成に関わる地域諸団体の方々との交流をととして、現状をしっかりと認識することで基礎づくりができたのではないかと感じております。子ども達を取り巻く環境が大きく変化してきていますが、地域の未来を担う子ども達が豊かに成長する為に活動している団体は多くあります。今後も関係団体と連携を図り、我々はコーディネート機能を担いながら活動することが必要であると身を以て感じることができました。

今後においても、「地域社会の豊富な教育資源」を効果的に結びつけ、「挑戦する勇氣」と「諦めない強い心」、そして「人を思いやる優しさ」を兼ね備えたひとつくりができるよう行動していきたいと思っております。

1年間本当にありがとうございました。 合 掌

年間事業報告

青少年教育座談会

- 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業
- 定款上の根拠
第2章第5条（5） その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業
- 事業実施に至る背景
次代を担う青少年の健全な育成のためには、学校、家庭、地域が共にその教育力を生かしながら、相互に連携して取組みを進めることが必要である。しかし、実際には、青少年に対する教育は学校が中心となっており、地域の青少年教育においては、その期待される役割を十分に果せないでいる現状にある。そこで昨今の教育現場での動向等をしっかりと把握し、今後の青少年教育の諸問題を認識しておく必要がある。
- 事業目的
自身の子どもや地域の子どもを育成するため、子ども達を取り巻く環境や現状・諸問題等について理解し、今後の活動に役立てる。
- 事業の検証方法とその手段
メンバー全員が意見を伝えることで検証とする。
- 事業概要
教育委員会を主宰する教育行政のトップである教育委員長と学校現場でトップである校長先生を講師としてお招きし、現状・諸問題等について講話を頂戴いたします。また、講話をうけて意見を話し合う場といたします。そして、今後の青年会議所としての継続できる青少年育成メイン事業の開発・実施へと繋がられるような機会といたします。
- 実施日時：平成25年4月18日（木） 18：30～
- 実施場所・会場：TASパークホテル 3F アイリス

9 事業対象者 J Cメンバー

- 参加者募集方法 メンバーへメールでご案内いたします。
- 決算総額：¥1,000
- 特別の利害関係を有する理事 以上0名
- 決議の条件
議決権のある理事=理事14名（総理事）-特別の利害関係を有する理事0名=14名
決議の成立する理事数=14名（議決権のある理事数）×2/3以上の員数
承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数
- 参加員数
◆内部
担当委員会 【計画】12名 【実施】4名
その他メンバー 【計画】23名 【実施】24名
◆外部
長井市立平野小学校校長 【計画】1名 【実施】1名
白鷹町教育委員会 委員長 【計画】1名 【実施】1名
合 計 【計画】37名 【実施】30名

15 外部協力団体及び協力種別

- 実施プログラム
- 18：40 例会セレモニー
- 19：00 青少年教育座談会 開会 司会進行：渡部副委員長
- 19：01 趣旨説明 ひとつくり委員会 椎名委員長
- 19：02 講師入場
- 19：03 講師紹介 渡部副委員長より
- 19：05 長井市立平野小学校校長、白鷹町教育委員長による講話
テーマ「教育の現状・課題について」
① 白鷹町教育委員会委員長 丸川恵子様
(19：05～19：25 20分間の講話)
② 長井市立平野小学校校長 牛澤敏宏様
(19：25～19：45 20分間の講話)
- 19：50 グループディスカッション（丸川教育委員長+A班と牛澤平野小学校校長+B班の2つの班に分かれて座談会開始）
- 19：55 I. 学校教育と家庭教育の現状と課題について15分
- 20：10 II. 学校教育へ青年会議所が地域として関われること30分
- 20：40 発表（それぞれの班の発表者1名づつ意見をまとめて）
- 20：50 お礼の言葉並びに総評 飯鉢監事
- 20：55 講師退場
- 21：00 例会終了
例会終了後、21：00より白鷹町教育委員長、平野小学校校長を囲んでの懇親会を開催した。
- 17 対外配付資料
- 18 人員配置・役割分担表
◎講師への講話依頼（椎名）
◎講師との打ち合わせ（椎名、齋藤）
◎会場の確保・調整（齋藤）
◎会場内レイアウト作成 例会の部・懇親会の部（小関、齋藤）

- ◎ディスカッショングループ分け作業
- ◎司会（渡部）
- ◎講師の講話前アテンド（齋藤、横山）
- ◎懇親会の運営・進行（渡部、遠藤）

1.9 引用著作物の有無 無し

2.0 事業目的達成の検証

多くのメンバーに参加いただき、全員がディスカッションに積極的に参加いただいたことで、現在の教育現場の状況に関して興味をもっていただけた。また、講師に諸問題等をご教示いただいたことにより今後私たちが青少年教育において果たすべき役割の一端が見えたといえる。

2.1 実施上の問題点

【運営面】

- ・今回はJCメンバーの現状認識ということで内部例会として開催したが、定期的な開催にすることにより関係団体なども意見交換などすることもかかろうであると思える。
- ・ディスカッションの時間が短くもっと時間を取るようすきだった。

【予算面】 事業予算が少なく、厳しい状況であった。

【その他】

2.2 引継ぎ事項

- ・定期的な開催をすることでニーズに合った事業の展開ができると思われるので継続実施していく必要があると思われる。
- ・講師依頼について、先生やPTAなど多くの関係機関があるので連携して実施することでより大きな意義があると思われる。

2.3 各担当者所見

委員長：椎 名 恭 一

多くのメンバーに参加いただきありがとうございました。メンバーの教育に関しての関心の高さが現れた良い例えとなったと思います。しかし、今回の座談会で話し合うことができたのは、ほんの一端であり関係団体や関係者と継続して議論・情報交換していくことがより重要だと思えます。この教育座談会をきっかけにして今後の事業計画や自身の家庭教育等にも生かしていければと感じました。ありがとうございました。

担当副理事長：齋 藤 繁 喜

今年度、青少年育成の継続事業を開発するにあたり、教育に関わる現状認識と方向性について青年会議所として沢山の気付きがあった例会であったと思います。2名の講師の先生の講話を拝聴させていただき、そして様々な意見交換での情報を基に、青年会議所として求められる事業を展開していきたいと強く感じました。委員会として、これから開催を控えております事業に反映し青少年育成事業を大きく進化できるよう邁進して参りたいと思えます。沢山のメンバーの皆様のご出席ありがとうございました。

第22回 JC杯中学野球大会

1 事業の区分：公2. 青少年育成事業

2 定款上の根拠

第2章第5条（1） 講演会、体験活動又はスポーツ等を通じて児童又は青少年の健全な育成を目的とする青少年育成事業

3 事業実施に至る背景

歴史を振り返ると、平成3年に始まったJC杯中学野球大会は、先輩諸兄の熱意のもとに脈々と受け継がれてきた事業であり、今年で第22回目を迎えるこのJC杯は、青少年育成事業としてすっかり地域に根差した大会と言っても過言ではないくらいの実績と規模を拡大してまいりました。今年度も前年までの開催内容と検証結果を元に今以上に効果的な青少年育成事業を行う必要があると考えます。今年度もこの大会を通して、野球が出来ることに感謝しながら子どもたちのハツラツとしたプレーで地域に元気と勇気を発信していくことが必要です。

4 事業目的

野球というスポーツを通じ、仲間との信頼関係や目標、課題を自ら考える機会とし、この大会を通じて子どもたちの人として、一選手としての精神的成長を図る。また、青少年育成事業の場に携わる事で更なる青少年育成の認識向上を図る。

5 事業の検証方法とその手段

アンケートを各中学校へ配り、目標、課題作りに活かされたか、この事業で何を体感したかを確認することで検証とする。また、今後も継続事業として、今年度のアンケート結果を含め検証とする。

6 事業概要

08年度より西置賜以外のチームも参加するようになり、09年度はリーグ戦を用いたことで試合数も増えるといった充実した内容となってきております。今年度も基本的に昨年と同じ形式での大会を考えております。

各中学生チームでリーグ戦を行う事で試合経験を多く積み、トーナメント戦を行う事で緊張感のあふれる場面を体感し、公式戦への足がかりとしていただき、自分自身の課題、チーム全体の課題を認識させる機会としました。

7 実施日時：5月3日（金）と4日（土）の2日間

8 実施場所・会場：長井北中学校グラウンド、長井南中学校グラウンド、飯豊町営球場

9 事業対象者

西置賜地域及び近隣の地域の野球部に所属する中学生

1.0 参加者募集方法

長井・西置賜地域のすべての中学校6校に案内を送付。また中学校より推薦があった長井・西置賜以外の中学校へも案内を送付。

1.1 決算総額：¥96,869

1.2 特別の利害関係を有する理事 以上0名

1.3 決議の条件

議決権のある理事=理事13名（総理事）-特別の利害関係を有する理事0名=13名

決議の成立する理事数=13名（議決権のある理事数）×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

1.4 参加員数

◆内部

担当委員会	【計画】 9名	【実施】 4名
その他メンバー	【計画】 25名	【実施】 11名
合計	【計画】 34名	【実施】 15名

1.5 外部協力団体及び協力種別

- 長井青年会議所 主催
- 長井市野球連盟 共催
- 西置賜地区中体連 協力
- 東置賜地区中体連 共催
- 西置賜地区中学校体育連盟野球専門部 主催
- イタガキスポーツ 協賛

1.6 実施プログラム

【試合内容について】初日は雨で残念ながら中止と判断した。翌二日目に予選リーグ戦を行いました。

5月3日、初日朝6：00飯豊球場にて、学校担当・大会会長・担当副理事長・競技委員長で協議によりグラウンドコンディションが悪くやむを得ず中止と決定した。

審判については審判長を通じて各審判に連絡し、学校関係は、学校担当を通じて各学校の顧問の先生を通じて生徒へ連絡した。

JCメンバーには決定次第、連絡網により連絡をする。

【参加校について】長井南中学校・長井北中学校・白鷹東中学校・白鷹西中学校・飯豊中学校・小国中学校、川西中学校、宮内中学校、沖郷中学校の9チームによるリーグ戦。

【集合時間】

メンバー集合は7：50分まで集合。

監督会議は8：00から行なう予定でしたが、前日の雨の影響でグラウンド整備に時間を要したため各会場ごと時間を決めて実施した。

【開会式】

	飯豊球場	長井南中	川西中
1. 開会の言葉			長井北→川西中へ会場変更のため中止
2. 主催者代表挨拶	齋藤 副理事長	板垣 副理事長	
3. 審判上の注意			
4. 選手宣誓	飯豊中	長井南中	

【試合開始】プレーボールの合図の前に始球式（飯豊：齋藤副理事長、長井南：板垣副理事長）
長井北：グラウンドコンディション不良のため会場を川西中に変更。
移動時間・準備が必要なため、開会式及び閉会式は中止。

飯豊球場

第1試合 9:00～ 2時間11分

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
宮内中	0	0	0	2	1	0	0	0			3
飯豊中	2	0	0	0	0	1	0	1			4

第2試合 11:45～ 1時間41分

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
小国中	0	0	0	0	0	0	0				0
宮内中	0	0	1	0	1	0					2

第3試合 14:00～ 1時間45分

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
小国中	0	0	0	0	0	0	1				1
飯豊中	0	0	0	0	0	0	0				0

長井南中

第1試合 10:00～ 1時間20分

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
白鷹東	0	0	0	0	0	0	0				0
長井南	0	0	0	0	1	0					1

第2試合 11:40～ 1時間30分

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
沖郷	0	0	0	0	0	0	0				0
白鷹東	1	0	0	0	0	2					3

第3試合 13:45～ 1時間35分

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
沖郷	0	0	0	0	0	0	0				0
長井南	1	1	2	1	0	2					7

川西中

第1試合 9:45～ 1時間12分

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
長井北	0	0	0	0	0						0
白鷹西	0	1	7	4							12

第2試合 11:10～12:50

中断 13:16～13:45 1時間59分

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
白鷹西	0	0	0	0	0	0	1	0	4	1	6
川西	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0	5

第3試合 14:23～ 1時間35分

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	合計
川西	0	0	2	0	3	2	0				7
長井北	0	0	0	0	2	0	0				2

※予選リーグのみの開催となったため、表彰は中止した。
※川西会場、第2試合にて川西中選手1名怪我のため12:51救急通報しました。

- 17 対外配付資料 資料名内容
1 学校向け案内文
2 第22回長井J C杯中学野球大会実施要項
3 参加申込書
4 パンフレット
5 アンケート

18 人員配置・役割分担表

【大会中の委員会メンバー及び一般メンバーの主な役割】

- ・審判、塁審への飲み物配り
- ・シートノックのアナウンス（委員会メンバー）
- ・試合の途中経過等のSNSを活用した実況中継配信
- ・記録

19 引用著作物の有無 無し

20 事業目的達成の検証

J C杯は、必要とされている大会としての位置づけであることがアンケートの結果や実際に子供たちと会話した際にも感じました。

アンケートで「課題を見つけた」との中でも「声だし」や「精神面」などのメンタル面から「バッティング」や「走塁」などの技術面共に目標や課題作りが出来たとの回答が多く、J C杯は課題を見つける大会としての位置づけになっていることがアンケート結果からもお分かりになると思います。

Q1で「参加して良かった・楽しかった」との回答が60.7%、Q2で「課題を見つけられた」との回答が97.2%の結果であることから見ても目的は達成できたと思います。

試合を出来ることの喜びが感じられる声も多く、今後も継続事業としてJ C杯は開催すべき大会であることが感じられる大会でございました。

アンケート

21 実施上の問題点

- ・日程調整については、予定者の段階で打ち合わせしておく必要がある。学校側からの要望としては、5月3日、4日予備日を5日に設定してほしいとのこと。
- ・高校総体の関係もあり、審判の確保が厳しい状況であるが全試合公式審判にジャッチしていただくように、要員確保必要。
- ・緊急時の連絡先等を明確にしておく必要がある。怪我等が発生した場合の責任についても要綱等には明記されていないので明記しておく必要がある。

22 公益目的事業の種類（1）《公益事業の場合のみ記載》

9. 教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由（1）《公益事業の場合のみ記載》

本事業は青少年を参加対象にした競技会であり、チームワークや目標、課題などを考える機会となっており、項目に該当すると考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント（1）《公益事業の場合のみ記載》

15. 競技会

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明（1）《公益事業の場合のみ記載》

①当該競技会が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。

今大会は長井・西置賜のすべての中学校の野球部へ案内を送付しており、公益性が認められると考えられる。

②公益目的として設定した趣旨に沿った競技会となっているか。

（例：親睦会のような活動にとどまっていないか）

開会式、閉会式等のセレモニーも行い、表彰も行う。試合では主審に公式審判員を起用し、競技会として成立しており、公益性が認められると考えられる。

③出場者の選定や競技会の運営について公正なルールを定め、公表しているか。

出場者の選定については、対象地域の野球部のある中学校にはすべて案内を送付。対象地域外の中学校については地域内の学校と相談の上、別途選定し案内を送付する。また競技規則等の大会要綱を事前に送付するので、公益性が認められると考えられる。

④0

26 引継ぎ事項

- ・学校・審判との打ち合わせを年始早々にしておくほうがよい。
- ・他J Cの野球大会のパンフレット等を参考に魅力あるパンフレットづくりが必要と思われる。
- ・会場選定・予備日の設定などしっかり検討し2日間の開催に向け努力が必要と思われる。
- ・メンバーの参加率が低く、試合数が多くなればなるほど事業の運営が困難となるので工夫が必要。

27 各担当者所見

委員長：椎名 恭一

歴史のある J C 杯野球大会を何とか実施でき、ほっとしている。近年 J C 杯の運営する担当者が固定化してきており事業計画の段階からわからないことが多く非常に苦勞した。しかし、アンケートを見ると地区総体へ向けての課題問題点を確認できるよい公式戦であったのと回答が多く実施する意義は大いと感じることができた。最近では 2 日間開催ができていない残念な状況もあるので予備日の設定や会場選定をより検討するなどして J C 杯野球大会が地区総体へよりモチベーションが上がるような大会になればと実感した大会であった。

担当副理事長：齋藤 繁 喜

雨天により J C 杯の開催が一日のみとなり、当日の会場変更など運営面で今後検討していかなければならない点が多く目についた大会でした。参加されました中学生の皆さんにとって J C 杯は求められる大会の位置付けであることを再確認することもできました。5 月の連休は、雨天となる確率が多いため大会として、表彰式ができるよう運営面も検討していきたいと思ひます。J C メンバーの参加人数の少なさも例年通りの課題であると感じますので、秋の一年生大会への出席率増加について考えていきたいと思ひます。

ながい寺子屋

1 事業の区分：公 2. 青少年育成事業

2 定款上の根拠

第 2 章第 5 条 (1) 講演会、体験活動又はスポーツ等を通じて児童又は青少年の健全な育成を目的とする青少年育成事業

3 事業実施に至る背景

現在の子どもたちはテレビ、ゲーム、携帯電話、パソコンなどの電子映像メディアに接する機会が増え、IT の急速な進展により情報の入手や発信が容易になりました。しかし一方で、誤った接触や使い方、長時間の使用により子ども達に必要な心や体が成長するための環境を奪い取っている現状があります。

そのことにより、心や体に対するマイナスの影響、家庭や社会生活での人間関係の希薄化などが大きな問題となっています。

私たちは今一度、誰もが現在の生活を見つめ直し、便利さの中で失われつつあるものに気づくことが必要なのではないでしょうか。

そこで、アウトメディアによって電子メディアとの過度な接触時間を減らすことで、自分自身の時間や家庭での団らんの時間、そして地域での交流など、人と人とのつながりの時間を大切にしたいと考えています。アウトメディアによって子どもたちの豊かな心のつながりをめざし、健やかな成長を図ることが必要です。

4 事業目的

アウトメディアによって、この地域の将来を担う子ども達の豊かな心のつながりを育む。

5 事業の検証方法とその手段

参加者にアンケート形式の感想文を記入いただき、感想分から心の変化を読み取り、事業目的達成度合いを検証する。

6 事業概要

竹水鉄砲合戦やお寺修行体験・宿泊体験、そしてまなび館において置賜野川周辺の自然や歴史、長井市の水に関する伝説について学習した。様々な感動体験を通して、アウトメディアな 1 泊 2 日の活動をした。

7 実施日時：2013 年 7 月 27 日 (土) 12 時 30 分から
2013 年 7 月 28 日 (日) 14 時まで

8 実施場所・会場：ふれあいの水辺河川公園、野川まなび館、遍照寺 (長井市横町)、十日町公民館

9 事業対象者

参加者は小学生 (1 年生から 6 年生)、高校生・大学生によるボランティアスタッフ

10 参加者募集方法

【参加者募集】

・チラシのはがき部分を切り取ってポストへ投函いただくか・FAX で申込み。

小学校を通じて全児童にチラシを配布して案内する。長井市子ども会育成会連絡協議会を通じてチラシを配布して案内する。教育委員会を通じて公民館等にチラシを配布。

・ポスターと見た場合は、往復はがきで申込み。
長井・白鷹・飯豊の人の集まりそうな場所へポスターを掲示していただき周知。

・YBC ラジオで募集案内。

【ボランティア募集】

ポスター、チラシを学校等に配布。フェイスブック、ホームページを活用して周知。

現在活動している団体へ個別に依頼。

1 1 決算総額：¥190,204

1 2 特別の利害関係を有する理事
小関幸一 (5 万円以上の支払い) 以上 1 名

1 3 決議の条件

議決権のある理事 = 理事 14 名 (総理事) - 特別の利害関係を有する理事 1 名 = 13 名

決議の成立する理事数 = 13 名 (議決権のある理事数) × 2 / 3 以上の員数

承認の成立する議決権 = 出席理事数 × 1 / 2 を越える員数

1 4 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】 12 名 【実施】 7 名
その他メンバー 【計画】 22 名 【実施】 17 名

◆外部

小学生 1 年生 ~ 6 年生 【計画】 30 名 【実施】 15 名
ボランティアスタッフ 【計画】 10 名 【実施】 3 名
合 計 【計画】 74 名 【実施】 42 名

1 5 外部協力団体及び協力種別

長井市 後援
長井市教育委員会 後援
白鷹町教育委員会 後援
飯豊町教育委員会 後援
長井市観光協会 後援
出羽乃国漂流隊 協力
長井市子ども会育成会連絡協議会 協力

1 6 実施プログラム

1 2 : 3 0 集合・受付
1 2 : 3 5 開会開校宣言 (齋藤副理事長) あやめ公園駐車場
布団類はワゴン車へ積み遍照寺へ
1 2 : 3 7 理事長挨拶 (鈴木理事長) (徒歩で移動)
荷物は持って竹水鉄砲合戦会場のテント内へ
1 2 : 4 0 スケジュール等について (委員長)
ふれあいの水辺河川公園
班編成 水鉄砲合戦の班編成をもとに
1 2 : 4 5 ボランティア紹介
(雨天時はあやめ公園水上ステージ)
A - 1 ・ A - 2 … 1 班
A - 3 ・ A - 4 … 2 班
1 3 : 0 0 竹水鉄砲制作・説明
B - 1 ・ B - 2 … 3 班
B - 3 ・ B - 4 … 4 班
1 3 : 3 0 竹水鉄砲合戦
1 3 : 4 0 第一試合
1 4 : 0 0 第二試合
1 4 : 2 0 第三試合
第四試合 雨のため中止
第五試合 雨のため中止
移動 雷雨のため車で移動
十日町公民館で着替え
1 5 : 3 0 夕食準備 (班行動)
メニュー検討
・班ごとにボランティアを中心に相談して夕食のおかずを決める。
(お題：主菜と副菜の 2 品は作る)
・ 1 班所持 3,000 円で買出しをする。
買物 (徒歩で移動)
・ 主食としてごはんは委託し準備する。
うめや十日町店
・ 班ごとにガスコンロとテーブルを準備する。
調理 (徒歩で移動)

- ・ボランティアをリーダーに班ごと調理する。
- ・翌日朝食の準備（洗米）
- 18：30 夕食
 - ・後片付けをしてから移動
 - 車で移動
- 19：30 住職のお話金剛山遍照寺
 - 車で移動
- 20：00 入浴卯の花温泉 はぎの湯
 - （はぎ苑さんのマイクロバスで移動）
- 21：00 修行体験①
 - 座禅
- 22：00 就寝
- 5：30 起床 金剛山遍照寺
- 6：00 修行体験②
 - 朝のおつとめ
 - 奉仕活動（マイクロバスで移動）
 - 布団類はワゴン車へ
- 7：30 朝食十日町公民館おにぎり・漬物・味噌汁
- 8：30 出発
 - （マイクロバスで移動）参加者とボランティアはマイクロバスで荷物J Cメンバーの車にJ Cメンバーは4台の車に分かれて移動。
- 9：00 【野川まなび館での学習内容】
 - ボランティアスタッフによる、置賜野川周辺の自然や歴史、長井市の水に関する伝説について学習する。
- 10：00 木工制作
 - どんぐり・松ぼっくりで木工細工体験
- 11：00 感想文記入
- 11：30 ヤマメつかみ取り
- 12：00 昼食 雑煮もち
- 13：00 閉会
 - 感想発表
 - 理事長挨拶
 - 開校宣言（齋藤副理事長）
- 13：30 （マイクロバスで移動）
- 14：00 解散あやめ公園駐車場
- 17 対外配付資料
 - 資料名内容
 - 1 長井市心のまちづくり活動推進補助金交付申請書
 - 2 ポスター
 - 3 チラシ（表）
 - 4 チラシ（裏）
 - 5 ボランティアチラシ ボランティア研修資料1
 - ボランティア研修資料2

- 18 人員配置・役割分担表 説明会資料
- 19 引用著作物の有無 有：ポスター、チラシ画像

20 事業目的達成の検証 感想

参加者15名中15名より感想文を記入いただき、ご提出いただきました。また、ボランティアスタッフ3名中2名よりも感想文をご記入頂きました。竹水鉄砲合戦について感想を書かれている方は9名、お寺での宿泊体験について感想を書かれている方が7名、夕飯の買い物と夕食作りについて書かれている方が6名と主に3つの部分に関して印象的だったことが感想文の中から読み取れました。アウトメディアをテーマにした体験活動をおして感じることができたとと思われる今回の感動体験は、家庭の中でも遊びやお手伝いとして取り入れられることで豊かな心を育むことにつながる事業であったと感じ取ることができた事から事業目的は達成できたと思います。

21 実施上の問題点

【運営面】

- ・持病やアレルギー等の参加者の情報が行き届いていない部分があった。
- ・全体の流れが子ども達でも一目でわかるような工夫が必要だった。
- ・調理時間が予定していた時間より多くかかった。
- ・委員会内（シュミレーション）の打合せが少なかった。
- ・ボランティアをより巻き込んだ事業計画をすべきだった。

【予算面】

- ・食材費が予算より大分少なくなったので、もう少ししっかりした予算組が必要だった。

- ・会計処理において、業者の選定なども委員会ですっきり議論が必要だった。

【その他】

- ・当日の天候だけでなく、災害なども想定したプログラムを立案があるといいと感じた。

22 公益目的事業の種類（1）《公益事業の場合のみ記載》

7. 児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由（1）《公益事業の場合のみ記載》

本事業は青少年および保護者を主な対象とした事業であり、青少年自らが気付きを得る機会となっており、項目に該当すると考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント（1）《公益事業の場合のみ記載》

4. 体験活動等

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明（1）《公益事業の場合のみ記載》

①当該体験活動等が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。広く事業周知しており不特定多数の適切に募集できたと考えられる。

②公益目的として設定されたテーマを実現するためのプログラムになっているか。（例：テーマで謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか）昔あそび、調理体験など日常生活で今後実践可能なプログラム立案となっている。

③体験活動に専門家が適切に関与しているか。

学習体験において、施設の職員に説明をいただいたことにより専門家が関与しているといえる。

④0

26 引継ぎ事項

- ・宿泊・食事をともなう場合は、内容をしっかり確認のうえ、メンバーに周知する。（センシティブ情報となるので、取り扱いには十分に注意する）
- ・事前リハーサル的なものをしっかりしておくことがより重要である。
- ・メンバーの出入りが多いので、役割を持たせるようにする。

27 各担当者所見

委員長：椎名 恭一

1泊2日という宿泊体験は、なかなか厳しい課題ではあったが、メンバーの支えが大きく何とか無事に事業を実施できたこと感謝申し上げます。カヌー体験をメインに計画していたこともあり大雨の影響で中止になったことにより、便利さの中で失われつつあるものをいかに気づかせることができるか不安であったが、竹水鉄砲や調理などの体験活動を通して、夢中になることで楽しみや感動が味わうことができたようである。今後も多くの感動体験を通して豊かな心を育む事業を継続し実施できたらと思います。

担当副理事長：齋藤 繁喜

今年度は、継続的青少年育成事業の開発・実施を重点事業としてひとつり委員会に担当させていただき、「ながい寺子屋」を体験事業として開催することができました。アウトメディアをキーワードに、竹水鉄砲合戦や食事作り、そして1泊2日の宿泊体験は子供たちにとってとても貴重な経験であったと思います。7月の豪雨の影響によりカヌー体験をすることが出来なかったのは非常に残念でしたが、今後も子供たちが様々な経験のできる継続事業として、ながい寺子屋を進化させた内容で開催したいと考えます。

納涼パーティー

- 1 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業

2 定款上の根拠

第2章第5条（5） その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

- 3 事業実施に至る背景

J C活動の多くの素晴らしさを知る数多くの先輩方と懇親を深める1年に2度の貴重な親睦の場であります。J Cの皆様との対話の中から、先輩方の経験や知識をお聞きし、J Cの魅力や楽しさを改めて認識することが今後のまちづくりに大いに活かすことができると考えます。また先輩方の人脈による会員拡大にもつながるよう取り組みます。

4 事業目的

メンバー・先輩方の交流、親睦を深め、一体感を育むことを目的とします。

5 事業の検証方法とその手段

メンバーに対して、アンケートを実施し検証とします。

6 事業概要

J C活動の多くの素晴らしさを知る先輩方と懇親を深めることで、J Cの魅力や楽しさを改めて認識し、今後のまちづくりの活力となるふれあいの機会としました。また、参加者全員が楽しめるようなアトラクションを実施しました。

7 実施日時：平成25年8月22日（木） 午後7時～9時

8 実施場所・会場：グランパリスパーティリゾート

9 事業対象者

メンバー及び長井J C O B会員

10 参加者募集方法

現役メンバーが長井J C O B会員へ手渡しまたは郵送

11 決算総額：¥0

12 特別の利害関係を有する理事 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事13名（総理事）-特別の利害関係を有する理事0名=13名

議決の成立する理事数=13名（議決権のある理事数）×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】 12名 【実施】 8名

その他メンバー 【計画】 22名 【実施】 18名

◆外部

J C O B 【計画】 【実施】 13名

合計 【計画】 34名 【実施】 39名

15 外部協力団体及び協力種別

16 実施プログラム

P V準備：小関幸一君

司会：井上真君

19時00分：開会のあいさつ（板垣洋一 副理事長）

19時02分：理事長挨拶（鈴木喜典 理事長）

19時07分：長井J C O B会長挨拶（大竹薫 先輩）

19時12分：2014年度、山形ブロック協議会ブロック大会のP V上映

19時15分：次年度役員紹介 次年度専務理事候補者（佐藤真光君）

次年度役員が登場し、2014年度山形ブロック大会 長井大会P V上映をした後に次年度理事長挨拶をする。

P V操作者（小松 龍侍君）

19時20分：乾杯 吉田直前 理事長

19時25分：新入会員紹介 井上専務理事

19時45分：2013年度事業紹介（大竹委員長、椎名委員長、井上専務理事、樋口室長）

各委員長より一言づつ紹介

19時50分：アトラクション ひとつくり委員会

ゲーム説明・椎名恭一委員長

20時45分：若い我ら 樋口和哉ブロック大会支援室室長

20時55分：中締め（佐藤 一成 先輩）

21時00分：閉会のあいさつ（齋藤副理事長）

17 対外配付資料

資料名内容

1 案内文

2 次第

3 席次

4 長井青年会議所O B案内状リスト

5 納涼パーティーアンケート集計

18 人員配置・役割分担表

総括 椎名恭一

受付 鈴木 亜由美・遠藤譲一

総合司会 井上真

P V関係 小関幸一・小松龍侍

次年度役員候補者紹介 佐藤真光次年度専務

新入会員紹介 井上典嗣専務

アトラクション司会 椎名恭一・齋藤繁喜

アトラクション担当 ひとつくり委員会メンバー全員

19 引用著作物の有無 無し

20 事業目的達成の検証

参加された現役メンバーの90%の方がO Bの方々と懇親を深める事ができ、今後のJ C活動へのアドバイスも頂けた機会であった事から目的は達成できたと思います。

納涼パーティーについて、会場の設営・雰囲気についても90%の方より楽しかった・良かったとご回答頂きました。

納涼パーティーアンケート集計表

Q1、O Bの方との懇親は深めることができましたか？

懇親を深めることができた 90%

どちらともいえない 10%

Q2、「納涼パーティー」は楽しかったですか？

楽しかった 90%

どちらともいえない 10%

Q3、会場の設営・雰囲気はいかがでしたか？

よかった 90%

どちらともいえない 10%

Q4、料理はいかがでしたか？

よかった 80%

どちらともいえない 20%

（理由：回っていて食べる時間がなかった。料理が余っていたような気がする。）

Q5、アトラクションはいかがでしたか？

よかった 70%

どちらともいえない 30%

（少々ドタバタしていて結果がわかりにくかった。観戦しにくい作りだったかも。）

Q6、O Bの先輩方から頂戴したアドバイスやご意見をお書きください。

・メンバー数のわりに事業が多くて大変でしょうががんばってください。

・乾杯まで長かった

・ブロック大会楽しみにしています。

・事業数が増えて大変だと思うので、今後検討してみても良いでしょう。

・J C活動に参加してたくさんの方と話すことが自分の仕事にも生きてくる

Q7、来年の納涼パーティーにご意見・ご要望等お寄せください。

・ゴルフコンペ復活希望

・納涼パーティーなのでスーツじゃなくてもいいと思う。O Bの方もおっしゃってました。

・来年も楽しい納涼パーティーを企画してほしいです。

・罰ゲームはやしそぼよりも、飲む物とかすぐりアクションが出来るものがよいと思う。

21 実施上の問題点

【運営面】

・O Bへの案内が遅くO Bの方の参加が少なかった。（例年のゴルフコンペの開催がなかった為、出席へも影響があると感じます。）

・乾杯までの時間がながく、懇親の時間が少なかった。

・2014年度山形ブロック大会長井大会を開催するにあたり、P V上映時間のため乾杯が遅くなった。

【予算面】

【その他】

・ドレスコードに関して、納涼パーティーらしくなるようドレスコードについても検討をしてみてもいいのではないか。

22 引継ぎ事項

・O Bへの案内を遅くとも1ヶ月前には発送すること。（8月実

- 施であれば、遅くとも7月理事会で承認をとる)
- ・乾杯までの時間を配慮した計画を作成すること。
 - ・ゴルフコンペの開催がなかったため、例年お越し頂いているOBの方々の出席がなかった。
 - ・次年度は、ゴルフコンペを納涼パーティーの当日に合わせての開催を再考する必要があると考えられる。
 - ・ブロック大会や式典などOB会員の皆さまへのPR等の時間は余裕をもってスケジュールを計画する。

2.3 各担当者所見

委員長：椎名 恭一

多くのメンバーの皆様に参加いただきありがとうございました。OB会ゴルフコンペが同日開催ではなくなったことにより、OBの皆様の参加人数が少なかったことが残念ではありますが、次年度の新体制報告や、ブロック大会長井大会のPR、アトラクションを通じて2014年度へ向け現役メンバーと参加頂いたOBの皆様と一体感を育むことができたと感じることができました。

最後に、楽しく交流できる納涼パーティとなるよう今後も内容を更に工夫しながら継続実施して頂ければと感じました。

担当副理事長：齋藤 繁喜

恒例のOB会ゴルフコンペの開催がなかった事から、OBの皆様へご案内をほぼ手渡しにて実施いたしましたが多くのお出席へと繋げる事ができず残念でした。参加者が少ない中での納涼パーティー開催ではありませんでしたが、現役メンバーにとってはOBの先輩方より多くのアドバイスを頂戴できる機会となり、今年度と次年度の活動への数々の気付きを得られたのではと感じております。ご参加いただきました皆様、誠にありがとうございました。

親力（おやりよく）を高める講演会

1 事業の区分：公2、青少年育成事業

2 定款上の根拠

第2章第5条（1）講演会、体験活動又はスポーツ等を通じて児童又は青少年の健全な育成を目的とする青少年育成事業

3 事業実施に至る背景

社会環境の多様化に伴い、家庭での教育力の低下が指摘されている今、大人が自身の子供や地域の子供を育成するための「親力」を高める必要があると思われます。なぜなら、全くと言っていいほど教育力がない親や、教育的な配慮が全然なくただ自分たちの都合や楽しみしか頭にない親たちもいる現状があるからです。ですが、大部分の親たちはかわいい我が子のためにがんばっているのですが、その思いが空回りしている場合が多いのではないのでしょうか。

そこで、子どもの能力を伸ばすには具体的にどうすればいいのか、家庭教育とは、何をどうすればいいのかなどの悩める親たちのための学べる機会を設けることが必要だと考えます。

4 事業目的

悩める親たちの家庭の教育力向上を目指し、次代を担う子どもたちの育成に繋げていくことを目的とする。

5 事業の検証方法とその手段

講演を聞いてのアンケート調査を実施し、親としての責任を再確認してもらう。

6 事業概要

講師をお招きして地域の大人を対象とした講演会を開催しました。「生き抜く力」を子どもに与えるために大人がどのように心掛け、行動すればいいのか、その真髄を経験豊富な講師よりお話いただき、発想の転換や、心がけのできる「親力」を学び、気づきを感じていただく機会としました。

7 実施日時：9月19日（木） 開場：18：00
18：30開始～20：30終了

8 実施場所・会場：長井市置賜生涯学習プラザ（舞と音楽のホール） 最大収容人数400名

9 事業対象者

長井市・西置賜地域の大人（20歳以上）を対象とする。

1.0 参加者募集方法

学校を通して子どもたちにチラシを配布して保護者へ渡してもらう。その他、ポスターの掲示や広報あゆみ掲載、長井JCホームページやフェイスブックも活用し、地域の大人に周知して参ります。

1.1 決算総額：¥389,813

1.2 特別の利害関係を有する理事 以上0名

1.3 決議の条件

議決権のある理事 = 理事13名（総理事） - 特別の利害関係を有する理事0名 = 13名
決議の成立する理事数 = 13名（議決権のある理事数） × 2 / 3以上の員数
承認の成立する議決権 = 出席理事数 × 1 / 2を越える員数

1.4 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】 12名 【実施】 9名
その他メンバー 【計画】 22名 【実施】 20名

◆外部

長井市PTA連合会 【計画】 200名 【実施】 178名
長井市まちづくり青少年育成市民会議

【計画】 50名 【実施】 44名
一般 【計画】 150名 【実施】 31名

託児所利用者名 【計画】 【実施】 12名
合計（託児所利用者含まず）

【計画】 434名 【実施】 282名

1.5 外部協力団体及び協力種別

長井市PTA連合会 共催
長井市まちづくり青少年育成市民会議 共催
長井市教育委員会 後援
白鷹町教育委員会 後援
飯豊町教育委員会 後援

1.6 実施プログラム

18：00 開場 次第
18：30 開会 司会：井上 真君
18：30 主催者代表挨拶（鈴木理事長）
18：35 PTA連合会会長挨拶（会長 菅野昭浩様）
18：40 講師プロフィール紹介（司会より）
18：45 講師入場 講師：親野 智可等（おやのちから）氏
18：45 講演開始（講演時間90分）親野智可等氏の考え方
20：15～講演終了演題：子供たちの未来を支える親力
20：15 質疑応答
20：25 謝辞・記念品贈呈（長井市まちづくり青少年育成市民会議 会長 鈴木庄四郎様）
20：30 講演会終了

1.7 対外配付資料

資料名内容

1 親野 智可等 講演会ポスター（案）
2 長井市PTA連合会 保護者向け案内文
3 入場チケット
4 看板デザイン（案）
5 アンケート

1.8 人員配置・役割分担表

◎講師関係（講演会社ベルソンとのやり取り全般） 齋藤
◎PTA連合会との連絡・調整 椎名、齋藤
◎長井市まちづくり青少年育成市民会議との連絡・調整 椎名、齋藤

◎補助金申請 椎名、齋藤
◎ポスター・チラシ関係 齋藤、小関
◎入場整理券作成 小関
◎ホームページ・SNSでの告知 小関、井上
◎会場レイアウトの作成 齋藤、小関
◎アンケート作成
◎看板・垂れ幕準備 佐藤
◎演台脇の装花準備 横山

【講演会当日の役割分担】メンバー行動表

◎司会
◎駐車場整理班
◎場内誘導班

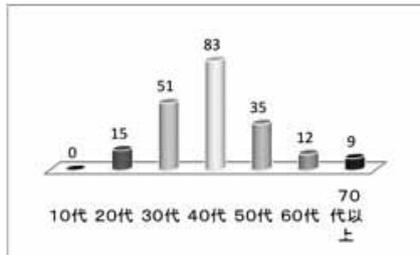
- ◎受付
- ◎アンケート配布・回収
- ◎記念品贈呈サポート
- ◎質疑応答でのマイクまわし
- ◎楽屋ケータリング・舞台上の水とおしぼり準備 井上、遠藤

19 引用著作物の有無 有

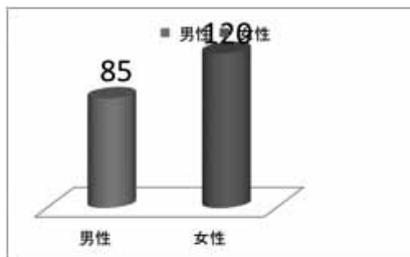
20 事業目的達成の検証

参加者 253名 (PTA連合会178名、長井市まちづくり
 青少年育成市民会議44名、一般31名)
 アンケート回答数 205名
 アンケート回収率 81.03%
 アンケート結果

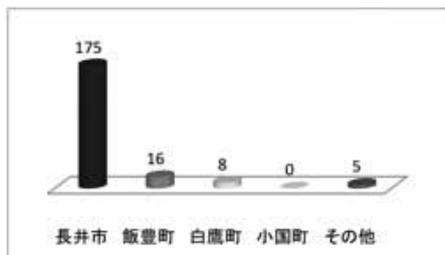
○講演会参加者の年代 (単位:名)



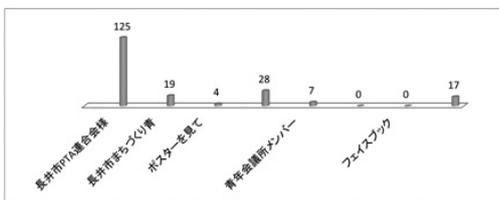
○講演会参加者の性別 (単位:名)



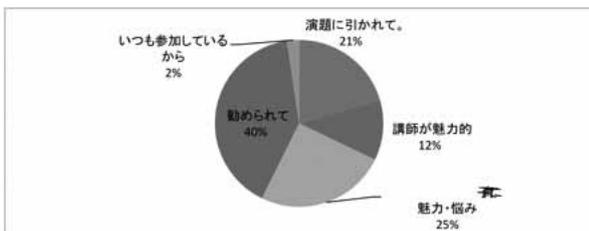
○講演会参加者の地域別 (単位:名)



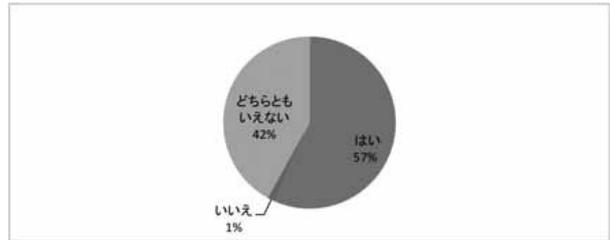
Q1, 講演会を何で知りましたか?



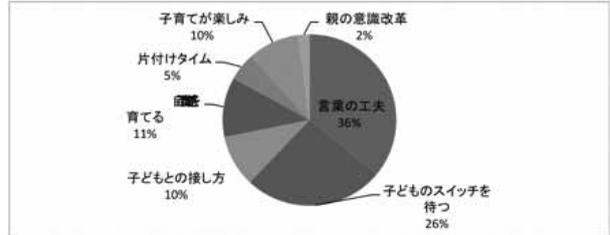
Q2, 講演会に参加するきっかけは何ですか?



Q. 3 講演に参加して、子供への教育の悩みが解決しましたか?



Q. 4 講演に参加して、子育てに実践しようと思ったことは?



81.03%のアンケートの回答結果より、演題や講師、子育ての魅力や悩みに興味を持ち、参加頂いた方が全体の58%の方がいらっしゃいましたが、57%の方が子供の教育の悩みが解決したと回答を頂きました。また、講演会に参加した事で、言葉の工夫や子供のスイッチを持つ事、子供との接し方など全体で83%の方が実践しようと思った事が多くあり、講演会に参加して様々な気づきがあった事から次代を担う子ども達の育成に繋がる講演会であった事から事業目的を達成できたと思います。

2.1 実施上の問題点

【運営面】

- ・駐車場工事のため、駐車場から会場までの移動時間がかかり、来場された方にご不便をおかけした。
- ・市外への講演会の告知が不十分だった。
- ・会場案内係りとして、実際の来場者数が把握できないため途中から入場された方にご迷惑をかけてしまった。
- ・司会のスキルをあげる。(質疑応答時の対応)

【予算面】

- ・有料チケットの販売が非常に厳しい状況にあった。有料チケット取扱いは、白鷹町・飯豊町などの窓口を多くすべきだった。
- ・誘導棒の乾電池費用を予算として計上すべきであった。
- ・託児費用をしっかり予算として計上すべきだった。
- ・PTA連絡協議会の無料チケット分の管理が困難な状況であったため増刷し予算を超えてしまった。

【その他】

- ・託児所の利用者が予想以上に多くスタッフが足りなかった。
- ・託児所のおもちゃ等がなく、急速子育て支援センターよりお借り(無料)したので準備しておくべきだった。

2.2 公益目的事業の種類(1)《公益事業の場合のみ記載》

7. 児童又は青少年の健全な育成を目的とする事業

2.3 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由(1)

《公益事業の場合のみ記載》

本事業は青少年および保護者を主な対象とした事業であり、青少年自らが気づきを得る機会となっており、項目に該当すると考えます。

2.4 公益目的事業のチェックポイント(1)《公益事業の場合のみ記載》

3. 講座、セミナー、育成

2.5 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明(1)《公益事業の場合のみ記載》

①当該講座、セミナー、育成(以下「講座等」)が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。

地域の大人を対象として広く募集するため公益に寄与すると思われる。

②当該講座等を受講する機会が、一般に開かれているか。(注)ただし、高度な専門的知識・技能等を育成するような講座等の場合、質を確保するため、レベル・性格等に応じた合理的な参加の要件を定めることは可。

ポスターやSNS、小中学校を通じて保護者へチラシを配布、新聞折込のチラシ等で広く周知しており一般に開かれていると言える。

③当該講座等及び専門的知識・技能等の確認行為（受講者が一定のレベルに達したかについて必要に応じて行う行為）に当たって、専門家が適切に関与しているか。（注）専門的知識の普及を行うためのセミナー、シンポジウムの場合には、確認行為については問わない。

教育評論家で5年連続で教育・研究部門のメルマガ大賞第一位の実績ある講師が講演するため、専門家が適切に関与していると考えます。

④講師等に対して過大な報酬が支払われることになっていないか。3度に渡り、講演依頼会社と講演料金の交渉を行い、当初315,000円のところ、219,000円まで安くなったことから過大な報酬の支払いはないと言える。

2.6 引継ぎ事項

- ・PTA連合会様との共催を考える場合、長井市内での有料チケットの販売は難しい。
- ・託児所利用を希望される方が多かったため、事前申し込みで利用者数を確認できるようにする必要がある。
- ・駐車場誘導の際に使用する誘導棒の乾電池を準備する必要がある。

2.7 各担当者所見

委員長：椎名 恭一

多くのメンバーの皆様に参加協力いただきありがとうございました。

同世代の聴講者が多く集まっていたいただき、子育てについての悩みなどを少しは解決できたと思われる。子育てについて悩みは尽きないが、大人が変われば子どもも変わると言われるように今後も親向けの講演会を継続していく意義は大きいのではないかと感じることができた。委員会メンバーの支えもあり、メンバーの協力もあり講演会を開催できたことに感謝しています。

担当副理事長：齋藤 繁喜

地域の大人を対象とした青少年育成講演会でありましたが、教育評論家の親野智可等先生のご講演に参加の方々より非常にいい講演会だったとお話を頂戴いたしました。PTA連合会様、長井市まちづくり育成市民会議様との共催の事業でありましたが、有料チケットと無料チケットの管理が非常に難しく混乱した部分もありました。「親力を高める」という目的から地域の大人の意識が変わり、次代を担う子ども達の健全な育成に繋がるきっかけとなる講演会であったと感じます。

第22回 J C 杯中学野球大会 1 年生の部

1 事業の区分：公2、青少年育成事業

2 定款上の根拠

第2章第5条（1）講演会、体験活動又はスポーツ等を通じて児童又は青少年の健全な育成を目的とする青少年育成事業

3 事業実施に至る背景

私たち長井青年会議所では地域の青少年が野球というスポーツを通して礼節を学び、豊かな人間性を養うことによる青少年の健全な育成を目的として事業を行ってきました。

長井 J C 杯中学野球大会は 20 年間長期継続している事業であり、多くの青少年に学びの機会を与えてきました。今後も引き続き青少年の健全育成のために、この事業を継続していく事が重要と考えます。秋に行われます 1 年生大会。新人戦では主に 2 年生が主体となって活躍をしております。1 年生にも実践の経験を積んで欲しいと思います。

4 事業目的

野球というスポーツを通じ、仲間との信頼関係や目標、課題を自ら考える機会を提供することを目的とする。

5 事業の検証方法とその手段

アンケートを各中学校へ配り、目標、課題作りに活かされたか、この事業で何を体感したかを確認することで検証とする。また、今後も継続事業として、今年度のアンケート結果を含め検証した。

6 事業概要

実践経験の少ない 1 年生が主体となる公式戦を行い、緊張感を感じてもらい、目標、課題を見つめると共にチームワークの必要性を考えてもらう機会とした。

7 実施日時：平成 25 年 10 月 5 日（土）

8 実施場所・会場：長井南中学校、長井北中学校、飯豊球場

9 事業対象者

西置賜地域内の野球部に所属する中学生

10 参加者募集方法

長井・西置賜地域のすべての中学校 6 校に案内を送付した。

1.1 決算総額：¥32,558

1.2 特別の利害関係を有する理事 以上 0 名

1.3 決議の条件

議決権のある理事 = 理事 13 名（総理事） - 特別の利害関係を有する理事 0 名 = 13 名

決議の成立する理事数 = 13 名（議決権のある理事数） × 2 / 3 以上の員数

承認の成立する議決権 = 出席理事数 × 1 / 2 を越える員数

1.4 参加員数

◆内部

担当委員会	【計画】	12名	【実施】	1名
その他メンバー	【計画】	22名	【実施】	3名

◆外部

中学生	【計画】	120名	【実施】	120名
監督及び関係者	【計画】	6名	【実施】	6名
審判員	【計画】	4名	【実施】	4名
合計	【計画】	164名	【実施】	134名

1.5 外部協力団体及び協力種別

長井青年会議所 主催
 長井市野球連盟 共催
 西置賜地区中学校体育連盟野球専門部 主管
 西置賜地区中体連 協力
 (有)すぼ一つ品ミヤカワ 協賛

1.6 実施プログラム

タイムスケジュール

7:00 天候判断（長井北中会場の状況をみて判断する。J C 担当（樋口）と運営責任者（青木先生）で協議する。

8:00 メンバー集合

9:00 第1試合開始

11:00 第2試合開始

12:00 親善第1試合開始

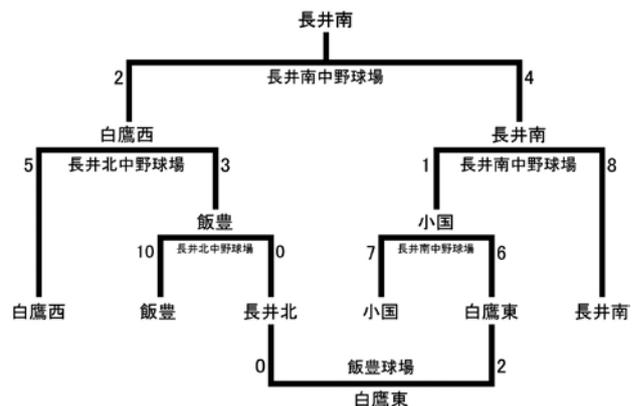
※開始時間については両校協議の上、開始時間を変更決定しても良い。

14:00 決勝・親善第2試合

※決勝戦の開始時間については両校協議の上、開始時間を決定する。

決勝戦終了後 結果発表

トーナメント



長井北中野球場

第1試合(A-1) 9:04~9:58

試合校	1	2	3	4	5	合計
長井北	0	0	0			0
飯豊	1	0	9×			10

第2試合(A-2) 10:28~11:53

試合校	1	2	3	4	5	合計
白鷹西	3	0	1	1	0	5
飯豊	1	0	2	0	0	3

長井南中野球場

第1試合(B-1) 9:00~10:05

試合校	1	2	3	4	5	合計
白鷹東	3	0	1	1	1	6
小国	1	1	3	0	2×	7

第2試合(B-2) 10:30~11:50

試合校	1	2	3	4	5	合計
長井南	0	7	1	0	0	8
小国	0	0	1	0	0	1

決勝(B-3) 12:50~14:10

試合校	1	2	3	4	5	合計
白鷹西	0	0	0	0	2	2
長井南	0	1	0	3	×	4

飯豊球場(親善試合) 11:00~12:24

試合校	1	2	3	4	5	合計
長井北	0	0	0	0	0	0
白鷹東	2	0	0	0	×	2

17 対外配付資料

資料名内容

- 1 学校向けご案内
- 2 実施要項
- 3 参加申込書
- 4 パンフレット
- 5 アンケート(生徒用・学校用)

18 人員配置・役割分担表

・人員配置

長井北中野球場 担当: 樋口和哉

長井南中野球場 担当: 板垣洋一

飯豊球場 担当: 小関 弾

・メンバーの役割

会場設営のお手伝い。

本部待機でメンバー変更の受付・対戦相手への周知。

試合の途中経過の実況中継。

審判、塁審、会場責任者への対応。謝礼配布、弁当・スポーツドリンクの手渡し

19 引用著作物の有無 無し

20 事業目的達成の検証

試合経験の少ない選手のための公式戦が1年生大会として、選手たちの励みにつながっている。

1年生だけでチームを組める学校は年々少なくなってきているが、継続を希望する学校ばかりである。年々実施要項など検討を重ねているが、参加費用なども含め継続実施する方向で検討して頂きたいという学校側の要望がある。

Q1 今大会で思った事、感じた事を自由に書いてください。

楽しかった、良かった、課題や問題が見つかったという内容の結果でした。

Q2 今大会を通じて次の課題目標を見つける事ができましたか?

声掛け、バッティング、守備面の順に多い結果でした。

多くの生徒が自分に足りない部分やこれからの課題、チームとしての課題に気づけたと言えます。

チームワークを課題としてあげる生徒も多く。野球というス

ポーツでは仲間との信頼が重要だと感じているであり目的は達成できていると判断します。

21 実施上の問題点

【運営面】

・近年は、一年生の人数が少なく一年生だけでチーム編成が困難になっている状況であるが、

今回は、南中だけが一年生だけのチーム編成であり、各学校のチーム編成の仕方について監督会議で公平ではないと話し合いになった。公式試合に出場している経験豊富な選手などが出場していたことから不公平だという意見が出ていた。

【予算面】

・備品の事前確認不足により、ボールを急遽1ダース購入する事になってしまった。

【その他】

・一年生大会の意義を考え、監督会議での話し合いで、あえてルールを主催者で決める必要はないと思われる。

・主催者だから当日会場に必ずいなくてはならないという運営の部分での本来あるべき姿と現実を考えていくべき。

22 公益目的事業の種類(1)《公益事業の場合のみ記載》

9. 教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由(1)

《公益事業の場合のみ記載》

本事業は青少年を参加対象にした競技会であり、チームワークや目標、課題などを考える機会となっており、項目に該当すると考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント(1)《公益事業の場合のみ記載》

15. 競技会

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明(1)《公益事業の場合のみ記載》

①当該競技会が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。西置賜管内の中学校へ広く周知させることで、多くの中学生たちが参加できる環境にあり公益性があると考えられる。

②公益目的として設定した趣旨に沿った競技会となっているか。

(例: 親睦会のような活動にとどまっていないか)

試合では主審に公式審判員を起用し、競技会として成立しており、公益性が認められると考えられる。

③出場者の選定や競技会の運営について公正なルールを定め、公表しているか。

出場者の選定については、対象地域の野球部のある中学校にはすべて案内を送付。

また競技規則等の大会要綱を事前に送付するので、公益性が認められると考えられる。

④0

26 引継ぎ事項

・アンケート用紙を送ってもらえない学校には、催促を何度もする必要がありますので注意しておくこと。

27 各担当者所見

委員長: 権名 恭一

中学1年生にとっては、中学校に入ってから公式な試合ということで開催されている本大会は、1年生のみならず2年、3年生もサポート役となり、声の張った大きな応援や、設営に関してもテキパキした行動をしていたようです。たった一日の経験ですが、野球というスポーツを通じ、仲間との信頼関係や目標、課題を考える良い機会になったと思います。この大会が参加した生徒達の大きな励みにながると感じました。試合は、天候にも恵まれ、生徒たちはハツラツとしたプレーをしていました。全国大会と重なったことにより、メンバーの参加が少ないこと、メンバーの関わりなど今一度再考する必要があると感じました。最後に、J C杯1年生の部の設営・運営に携わって頂いた全ての方々へ感謝申し上げます。

担当副理事長: 齋藤 繁喜

当日は、全国大会奈良大会と日程が重なり参加することが出来なかったのですが、メンバーの出席が4名と少ない人数で3会場の運営を頂き、本当にお疲れ様でございました。心より感謝申し上げます。一年生大会についても開催日時が決まっている中での開催となりますので、委員会メンバーを中心にしっかりと運営が

出来るよう事前準備から開催まで人員配置を決定した上で実施できるよう再度検討が必要であると感じます。中学一年生にとって、公式試合ができる貴重な大会でありますので求められる大会として我々メンバーも再認識し、事業に取り組んで参りましょう。ご参加頂きました皆様、誠にありがとうございました。

委員会活動報告

期 日	場 所	時 間	出 席 者	内 容
2012年 10月11日	JCルーム	20:00~ 21:00	齋藤・椎名・渡部 小笠原・井上	1、基本計画書について 2、これからの事業について、
2012年 11月14日	オレオレ	19:30~	齋藤・椎名・小笠原 横山・吉田・鈴木	青少年教育の現状と問題点等についての意見交換会
2012年 11月27日	JCルーム	20:00~ 21:30	齋藤・椎名	事業計画書について
2013年 4月3日	JCルーム	20:00~ 24:00	齋藤・椎名・遠藤(譲)	教育座談会、J C杯、寺子屋打合せ
2013年 5月1日	豊田郵便局	21:00~ 23:00	齋藤・椎名・遠藤(譲) 佐藤・小関(弾)	J C杯野球大会打合せ
2013年 5月28日	長井ダム 管理事務所	10:30~ 12:00	椎名・佐藤	寺子屋について
2013年 6月19日	JCルーム	20:00~ 24:00	齋藤・椎名・小笠原 井上・小関(弾) 鈴木、	寺子屋打合せ
2013年 6月24日	JCルーム	20:00~ 24:00	齋藤・椎名・小関(弾)	寺子屋打合せ
2013年 7月12日	野川河川緑 地公園、十 日町公民館	18:00~ 22:00	齋藤・椎名 小関(弾)、佐藤、横山	寺子屋打合せ、現地調査
2013年 7月19日	JCルーム	21:00~ 24:00	齋藤・椎名・小笠原・ 井上小関(弾)、佐藤、	寺子屋打合せ
2013年 7月27日	JCルーム	08:00~ 12:00	齋藤・椎名・ 小関(弾)、鈴木、佐藤	寺子屋事前準備作業
2013年 8月2日	JCルーム	20:00~ 22:00	齋藤・椎名・小笠原・ 小関(弾)・横山	納涼パーティーの打合せ、案内状発送作業
2013年 8月20日	JCルーム	16:00~ 17:00	齋藤・椎名・井上・ 小関(弾)、鈴木、横 山、小関(幸)	納涼パーティーの打合せ
2013年 8月21日	JCルーム	21:00~ 23:00	齋藤・椎名、小関(弾)	親力を高める講演会打合せ (ポスター配布先について)
2013年 9月16日	JCルーム	20:00~ 22:30	齋藤・椎名・小笠原、 井上・小関(弾)、 佐藤、横山、 遠藤(譲)、玉橋	親力を高める講演会打合せ
2013年 10月4日	JCルーム	19:00~ 20:00	小関(弾)、板垣、樋口	J C杯野球大会1年生大会・当日役割確認・ 準備作業

事務局 事業報告書

- 専務理事 井上 典嗣
- 事務局長 風間 正志
- 事務局補佐 梅津 敦
- 事務局補佐 齋藤 憲幸
- 事務局補佐 遠藤 浩樹
- 委員 玉橋 恵子

議長所感

今年度、事務局長として一年間務めさせて頂きました。長井青年会議所の縁の下での力持ちとなるべく邁進してまいりましたが、力不足の私が2013年度の職務をまっとう出来たのも井上専務理事をはじめ梅津補佐、齋藤補佐、遠藤補佐、玉橋委員、事務局メンバー一人ひとりのお力添えを頂いた結果であります。

毎月の理事会設営、例会セレモニー、長井JIC以外の各種大会・事業参加への段取り等、表にでる役割ではありませんでしたが、どの様なささいな仕事もおろそかに出来ない重責を担う立場だと痛感致しました。不得手な業務もあり全てが円滑に運営出来た訳ではありませんでしたが、それも含め日頃の仕事では得られない様々な経験をさせて頂きました。この一年間で学び感じた事はきっと今後の人生において大きな糧となる事でしょう。

年間事業報告

新春賀詞交歓会

- 1 事業の区分：他2. 広報事業
- 2 定款上の根拠
第2章第5条（5） その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業
- 3 事業実施に至る背景
長井JICとして、活動エリア内の行政関係者や各種団体の代表者、諸先輩といった各方面の方々をお招きし、2013年度の長井青年会議所の活動を発信していくことが引き続き必要であり、全メンバーが新春の時期に当年度の事業をしっかりと理解し、それぞれの意識を高めることが望ましい。また、多くの方々と触れ合うことで、互いに理解し尊重する関係性を保ち、今後のより良い事業展開に結び付けられるような機会が必要である。
- 4 事業目的
長井JICメンバー一人ひとりがJIC活動に対する意識向上と地域の発展を追求する。
- 5 事業の検証方法とその手段
交歓会終了後、アンケートを実施した。交歓会そのものに対するお意見や外部から長井JICに望むこと、会の中で話合った些細なことなど、アンケートに記入してもらい、事務局内で集計し検証した。
- 6 事業概要
これまで長井JICと関わりがあった各種方面の方々をお招きし、2013年度の長井青年会議所の基本方針から事業計画までを発表し、どういった事業展開をしていくのかを周知しました。同時に、全てのJICメンバーも今年度の事業をしっかりと理解し、JIC活動への参画意欲向上を行いました。
また、それぞれの団体の方々やOBの方々とのお話を通して情報交換と懇親を深めていただき、今後のまちづくりの更なる協力体制を構築する機会としてもらいました。
- 7 実施日時：2013年1月17日（木）
- 8 実施場所・会場：(株)長井観光はぎ苑
- 9 事業対象者
長井青年会議所メンバー・行政関係者・まちづくりに寄与して

いる関係諸団体・長井青年会議所OB

10 参加者募集方法
招待者リストを作成し、招待状を発送した。また、直接会う機会があれば手渡しにて案内した。

11 決算総額：¥15,000

12 特別の利害関係を有する理事 以上0名

13 決議の条件
議決権のある理事＝理事14名（総理事）－特別の利害関係を有する理事0名＝14名
議決の成立する理事数＝14名（議決権のある理事数）×2/3以上の員数
承認の成立する議決権＝出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

◆内部			
担当委員会	【計画】	5名	【実施】 4名
その他メンバー	【計画】	20名	【実施】 11名
◆外部			
関係団体来賓	【計画】	19名	【実施】 13名
JCOB会	【計画】	13名	【実施】 13名
合計	【計画】	57名	【実施】 41名

15 外部協力団体及び協力種別
(公社)長井青年会議所 主催
長井JCOB会 協力

- 16 実施プログラム
- 17:20 総宮神社に集合
- 17:30 神事開始
はぎ苑へ移動
- 18:00 受け付け開始
◇2013年度の基本方針並びに事業計画発表する
※新館のステージ側の前方のスペースで実施
司会 風間事務局長
18:30 開会の挨拶齋藤副理事長
18:31 国歌斉唱
18:33 JICソング斉唱
18:35 JCIクリード唱和 大竹委員長
18:36 JIC宣言文朗読並びに綱領唱和 小関副議長
18:37 理事長挨拶 鈴木理事長
18:45 来賓紹介 井上専務理事
18:48 来賓祝辞
(長井市長 内谷重治様・JCOB会
会長 ご名代 飯田武志様)
- 19:00 2013年度理事役員の紹介
- 19:10 2013年度基本方針、事業計画発表
各委員会の担当副理事長と専務理事により発表
会場移動 ※司会が案内
◇宴席を新館の後方のスペースで実施
- 19:30 鏡開き
乾杯 吉田直前理事長
- 19:40 2012年度事業のスライド上映
- 20:55 中締め(社)長井教育会 渡部秀一様
- 21:00 閉会の挨拶板垣副理事長
2013年度招待者リスト出席状況
2013年度新春賀詞交歓会レイアウト
アンケート結果
メンバー出席表

- 17 対外配付資料
資料名内容
- 2013年度次第
 - 2013年度基本資料
 - 2013年度招待者リスト
 - 2013年度新春賀詞交歓会招待状
 - 2013年度新春賀詞交歓会席次
 - 2013年度新春賀詞交歓会礼状
 - 2013年度新春賀詞交歓会案内ハガキ

18 人員配置・役割分担表

事務局内役割		当日役割
招待者リスト作成	全員	司会風間
招待状作成・発送	風間	J C I クリード 大竹委員長
メンバー出欠確認	梅津	J C 宣言・綱領 小関副議長
上映スライド制作	全員	来賓紹介 井上専務理事
当日配布資料作成	風間	スライド上映操作 影山孝史
席次構成	風間	受付 板垣洋一・梅津壮一郎・影山孝史

鏡開き人員配置

19 引用著作物の有無

20 事業目的達成の検証

Q1 あなたはこの度の新春賀詞交歓会でご来賓の方々、JCOBの方々と交流を持つことができましたか？

また、何名の外部の方々とお話することができましたか？

◇はい 4名

全員・10名・5名・3名

Q2 来賓の方々、JCOBの方々とお話ししたことについて覚えていらっしゃいますか？

◇はい 4名

Q3 来賓の方々、JCOBの方々に、これからの公益社団法人長井青年会議所に臨む事、必要な事を聞きましたか？また、どんな意見、感想を述べていらっしゃいましたか？

◇はい 3名

◆いいえ 1名

Q4 あなた自身この度の新春賀詞交歓会についてどのように思い、感じましたか？

・よりよいまちづくりをしていくためには、もっと他のまちづくり団体を御呼びしてみれば

・来賓・OBとお話し出来る貴重な機会ですので、今後も継続して欲しい

Q5 最後に、今年の新春賀詞交歓会は、有意義な時間となりましたか？

◇はい 4名

アンケートや聞き取り調査の結果、出席された大体の方から新春賀詞交歓会が有意義な時間であったとの回答を頂いた。また、交歓会中に様々な話をした中でも、対機能的なご指導やまちづくりに対する話、今年の事業に関する話が出来たとお聞きした点もあり、新春賀詞交歓会自体の意義は十分果たされたものと考えております。

21 実施上の問題点

【運営面】 神事のさい総宮神社からの移動では余裕がなかった。

【予算面】 無し

【その他】 フォロワーメンバーの参加が少なかった。

22 引継ぎ事項

今年度は神事ははぎ苑ではなく総宮神社で行ったが、受付時間に間に合うように若干移動が慌ただしかった感がある。受付担当の人員を配置していたので全く対応出来ないという事はなかったが、集合時間の変更もしくは、はぎ苑に戻す等、再考の余地はある。ただ神社での神事は荘厳な雰囲気での身の引きしめる良い新春初祈願となった。

当年度の基本方針、事業内容を外部に発信する場である事を考慮すると、J C メンバーだけではなく参加された各諸団体の方々からも十分に発表内容が伝わったかをアンケートなり聞き取りする等して、確かめる事も重要と感じた。来年度も継続して行う場合は事業目的、検証方法の精査が必要だと考える。

23 各担当者所見

事務局長：風間 正 志

2013年最初の事業でありましたが、特に大きな問題もなく長井青年会議所として良いスタートを切れたと思います。昨年よ

り事業発表と懇親の部と2部に分けましたが円滑に進行し良い設えになったと感じます。会の規模としましては、近年來賓の招待者数を絞る傾向にありましたが、アンケートでまちづくりの意見交換の場としては人数が少ないのでは。との回答もありました。2014年度はブロック大会が長井での開催でもありますので、より広範囲への発信という意味では来賓者数の増大という選択も考慮にいれても良いのではと感じました。今年度は懇親会後もOB会とは同会場で行った事もあり、先輩諸兄との懇親、情報交換という意味では例年にもまして良い会になったと思います。当日は勿論前日リハーサルに参加頂いた皆様のご協力により、滞りなく新春賀詞交歓会が開催された事を改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

専務理事：井上 典 嗣

年初のお忙しいなか新春賀詞交歓会に出席いただきましたメンバーの皆様には改めて感謝申し上げます。2013年度の最初の事業でありましたので緊張した雰囲気ではありましたが、メンバーの皆様のお支えをいただきまして無事実施することができました。昨年同様に2部構成にすることにより、外部の方々に長井青年会議所2013年度の活動内容をしっかりとお伝えできたのではないかと考えております。また、懇親会では和やかな雰囲気での交流を図ることができました。今年度は神事の場所を例年より変更したわけですが、時間の余裕がありませんでしたので来年度は再考すべきと感じました。まずは年度初めの事業を大きな問題もなく実施できましたことをメンバーの皆様へ感謝いたします。まことにありがとうございました。

L O M協働運動推進事業への参加協力

1 事業の区分：公1. 地域開発事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(2) セミナー、催事の開催又は体験活動を通じて地域社会の健全な発展を目的とするまちづくり事業

3 事業実施に至る背景

私たちの住む郷土は多くの自然に囲まれ四季の移ろいを感じとれる素晴らしいところで自然と共存してまいりましたが、この豊かな自然は私たち自身の手によって様々な「環境問題」へと変化し、地球規模で解決していかなければならない問題のひとつになっております。その為、ひとりひとりが環境に対する意識を向上させ、身近なところからOMO I Y A R Iの心を持って緑豊かできれいな環境を自分たちの手で作り出す事が重要だと考えられます。

山形ブロック協議会の協働運動推進事業である「ふるさとOMO I Y A R Iプロジェクト」は2008年に始まり、今年で6年目を迎える事となりました。県内17LOMで一斉に実施されるクリーン作戦に参加する事によって、「OMO I Y A R Iの心」の広がり自分たちの地域が誇りに思えるような環境作りに積極的に関わることが必要です。

4 事業目的

県内一斉の協働運動を展開する事で17会員会議所の志を統一するとともに、参加した県民一人ひとりが地域に対する郷土愛と人との繋がりを大切にしたいOMO I Y A R Iの心を醸成する。

5 事業の検証方法とその手段

参加人数・収集状況・参加者の意見を聞き取り、どの程度意識付けられたかを検証しました。

6 事業概要

「OMO I Y A R Iプロジェクト2013」は県内17カ所で行って同日一斉に清掃活動を行っており、長井青年会議所としては長井市の最上川河川緑地公園内に於いて清掃活動を実施した。メンバーはもちろん、家族、一般の参加者を交えながらゴミ拾いや除草作業を行った。

7 実施日時：6月9日(日) 8:30~10:00

8 実施場所・会場：最上川河川緑地公園(長井橋付近)

9 事業対象者

メンバー及びそのご家族、広く一般の方

10 参加者募集方法

チラシ・ポスターによる周知作業と知り合いへの声かけにて参加者を募る。また、JCメンバーはじめ、そのご家族にも参加頂く。

11 決算総額：¥0

12 特別の利害関係を有する理事 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事14名(総理事)-特別の利害関係を有する理事0名=14名

決議の成立する理事数=14名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】 5名 【実施】 4名
その他メンバー 【計画】 30名 【実施】 12名

◆外部

一般参加者 【計画】 35名 【実施】 35名
合計 【計画】 70名 【実施】 51名

15 外部協力団体及び協力種別

16 実施プログラム

7:30 事務局集合
8:00 メンバー集合
8:30 参加者集合
8:35 事業開始・理事長挨拶
8:40 作業手順の説明
8:45 作業開始(河川周辺清掃)
※清掃活動(ごみ拾い)は1時間程度
草刈り機での周辺雑草の草刈
ゴミの分別

9:45 後片付け
9:55 御礼と閉会の挨拶

10:00 終了

山形ブロック協議会 LOM協働運動推進委員会 議案書
ポスター掲示場所
各LOM実施報告書__長井JC

17 対外配付資料

18 人員配置・役割分担表

外部参加者

・山形銀行
・米澤信用金庫
・あいおい損保

一般参加者

指定ゴミ袋準備:事務局
軍手・ビニール袋:事務局
※当日持参されなかった方のため
以上いずれもJC備品より用意

19引用著作物の有無 なし

20 事業目的達成の検証

当日はご家族など約50名と多くの参加者で清掃活動、除草作業をおこなった。また、前年度には不法投棄のような大きなゴミもあったため市から担当職員にも参加要請を行い対応して頂いた。小さなゴミでも見逃さず積極的に清掃する参加者からは、自分たちのまちを他でも無い自分たちできれいにしていこうという高い志が感じられました。地域とJCが一体となって事業に取り組んだことで、OMO I Y A R Iの心の醸成を図るという目的は達成できたと考えます。

21 実施上の問題点

【運営面】

山形ブロックの担当委員会との情報交換があまりなかった。
収集したゴミの処分方法、現状はメンバーが個人で持ち帰っている

【予算面】 特に無し

【その他】 特に無し

22 公益目的事業の種類(1)《公益事業の場合のみ記載》

19. 地域社会の健全な発展を目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由(1)《公益事業の場合のみ記載》

本事業は地域のまちづくりに対する意識の高揚を図る事を目的とした地域活性化事業であったり、地域の魅力を地域の方々と共に考え、発信することを主とする事業を含む事から、項目に該当すると考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント(1)《公益事業の場合のみ記載》

4. 体験活動等

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明(1)《公益事業の場合のみ記載》

①当該体験活動等が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。参加対象をメンバーの方とし、ポスター・チラシ・HPにより広く公開していることから、受益機会は均等である。

②公益目的として設定されたテーマを実現するためのプログラムになっているか。(例:テーマで謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか)

山形県内の17会場での同日一斉清掃活動であり、多くの方が参加される当事業は、自分たちが住む地域の環境認識に対するプログラムであることから公益性のある事業と考えられる。

③体験活動に専門家が適切に関与しているか。

特に関与なし

26 引継ぎ事項

山形ブロック協議会との早くからの連携強化が重要であり、事業内容をメンバーにしっかり理解して頂き、そこから地域の方々に告知出来るよう段取りをする。

LOMとして独自色をだした事業内容を検討しては。

野川の河川敷でも行っただけではどうか、との意見もあったので開催場所・実施内容の再考も。

事前に市に話をし、市で回収をお願いする。

27 各担当所見

事務局長:風間正志

日曜日の早朝という時間でしたが、山形ブロックからの呼びかけがあった金融関係の方々や一般の数多くの方に参加頂き、OMO I Y A R Iプロジェクトも年を重ねる事で地域に浸透してきていると感じました。ブロック協議会の担当委員会と連携を密にし、もっと早い段階でポスター等で広く告知していれば、より多くの方に頂けたのではないのでしょうか。参加下さいましたメンバーの皆様、一般の皆様誠にありがとうございました。

専務理事:井上典嗣

県内17青年会議所の協働運動ということで、長井青年会議所としても6回目の開催となるOMO I Y A R Iプロジェクトを最上川河川緑地公園で実施いたしました。まずは参加いただきましたメンバーの皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございました。メンバーには浸透した事業になりましたが、地域の方々への周知はブロック協議会からのポスター・チラシでは十分とは言えないのが現状です。今後も継続する事業であると思いますので、来年度以降は長井青年会議所で独自の広告媒体を作成し広く参加の推進を行っていくことで、郷土愛とOMO I Y A R Iの心を広く伝播していくことができるのではないかと思います。

置賜4JC合同例会

1 事業の区分:他1. 内部例会及び会員交流事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(3) 指導力啓発の知識及び教養の習得と向上、並びに能力の開発を促進する事業

3 事業実施に至る背景

年1回、持ち回りでの開催ですが置賜という同じ地域で「明るい豊かな社会の実現。」にむけて志を同じくする仲間が集い、交流を深めることは大変意義深いものであります。我々、青年会議所メンバーが連携、協力し活気溢れるまちづくり・地域を目指しより良い形で価値を地域に提供することを共に考えていきます。

4 事業目的

置賜4 L O Mメンバーの資質の向上とメンバー同士の交流と親睦を目的とする。

5 事業の検証方法とその手段

参加メンバーに例会の感想をお聞きし検証としました。

6 事業概要

矢部亨氏をお招きし、ご講演を頂きました。東日本大震災において、自らが被災されながらも復興のために活動を続けていらっしゃいます。地域の復興に直接携わりその中で経験された事や J Cで経験したことがどのように役に立ったのか、J Cの復興支援にどのような問題があったのか等を今後のビジョンを含めてお話しいただきました。使命感を持って精力的に活動されている方の講演を聞くことにより、様々な気づきを得られる機会といたしました。

7 実施日時：10月17日（木） 18：30～20：00

8 実施場所・会場：熊野大社證誠殿

9 事業対象者 置賜4 L O M青年会議所メンバー

10 参加者募集方法 電子メール

11 決算総額：¥25,000

12 特別の利害関係を有する理事 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事14名（総理事）-特別の利害関係を有する理事0名=14名

決議の成立する理事数=14名（議決権のある理事数）×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】 6名 【実施】 4名

その他メンバー 【計画】 30名 【実施】 16名

◆外部

置賜3 J Cメンバー 【計画】 152名 【実施】 75名

合計 【計画】 188名 【実施】 95名

15 外部協力団体及び協力種別

（一社）南陽青年会議所 主催
（公社）米沢青年会秘書 共催
（一社）高畠青年会議所 共催
（公社）長井青年会議所 共催

16 実施プログラム

18：00 登録受付開始 長井 J C 例会セレモニー（20分）

18：30 開会

18：32 開催地理事長挨拶

18：37 講師入場

18：39 例会内容趣旨説明、講師プロフィール紹介

18：45 講演開始

19：45 講演終了、質疑応答

19：50 謝辞

19：58 講師退場

20：00 閉会

長井 J C 閉会セレモニー、監事講評（10分）

例会終了後、懇親会の部へ（20：15～）

懇親会にて、各 L O M の次年度役員を紹介

※各 L O M の事業紹介があるため映像資料を作成

南陽 J C 置賜 4 J C 合同例会事業報告書

※置賜 4 J C 合同例会看板について

各 L O M が法人格移行を本年度中に完了するため（高畠青年会議所は間もなく移行する予定です）、新しい看板が必要となります。他 L O M と打合わせの上持ち運びが容易な素材での看板を作成することとなりました。

看板デザイン

17 対外配付資料

18 人員配置・役割分担表 特になし

19 引用著作物の有無 特になし

20 事業目的達成の検証

参加されたメンバーに感想をお聞きし、多くの方から良い講演、例会事業だったとの意見を頂きました。また、例会終了後の懇親会では、次年度の理事役員紹介と 2014 年度ブロック大会長井大会の P R を行い他 L O M への発信と、他 J C メンバーとの交流も積極的になされた事で、親睦をふかめることに成功したものと考えます。

21 実施上の問題点

【運営面】 特になし

【予算面】 特になし

【その他】

参加メンバーがほぼ理事役員で、一般メンバーの出席が少なかった。長井での開催ではなく、また今年度多くの新入会員が入会したこともあるだろうが、例会事業には出席しなければならない事を各委員会でもあらためて周知徹底させる必要がある。

22 引継ぎ事項

次年度は高畠青年会議所が主催となります。山形ブロック協議会会長輩出 L O M であり長井 J C からブロック協議会へ多数の出向者が予定されております。同じ第 4 エリアの仲間として今まで以上に互いの信頼関係を強固なものとする為にも、一人でも多くのメンバーに参加頂き置賜 4 J C の発展に繋いでいただきたい。

23 各担当者所見

事務局長：風間 正志

震災から月日もたち自分の中でもだんだん薄れていっていましたが、この例会で矢部先輩の講演を拝聴し、あの時の事を風化させてはいけないとの思いを呼び起された事業でした。また、J A Y C E E 同士のつながりのすばらしさに感銘を受けました。参加された皆様誠にありがとうございました。

専務理事：井上 典嗣

置賜 4 J C 合同例会に参加ご協力いただきまして誠にありがとうございました。矢部先輩の講演を拝聴いたしまして、改めて青年会議所の絆の強さや可能性を再認識できる良い機会であったと感じておりますし、置賜 4 J C のメンバーとも交流し親睦を深めることができた有意義な時間であったと感じております。また、南陽青年会議所さんの素晴らしい設営に感謝申し上げます。

卒業式

1 事業の区分：他 1. 内部例会及び会員交流事業

2 定款上の根拠

第 2 章第 5 条（5） その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業業

3 事業実施に至る背景

卒業者の皆様は、これまで、よりよいまちづくりの実現や地域発展の為に J C 活動を通して、御尽力されてきました。その活動で得た経験や知識は素晴らしいものがございます。現役メンバーにとっては、その経験や知識をきちんと今後の J C 活動に継承し、活かしていかなければなりません。卒業者の皆様の、J C 活動への功績を讃え、労をねぎらうとともに、その経験・知識を共有する場が必要であると考えます。

4 事業目的

卒業者より J C 活動を通して経験してきた事を拝聴し、現役メンバーの今後の糧とし、「明るい豊かな社会の実現」に向け、更なる意識向上を図る。

5 事業の検証方法とその手段

メールにて参加メンバーから感想、ご意見を頂戴し内容を精査し検証としました。

6 事業概要

卒業者のこれまでの J C 活動の功績を讃え、感謝し、労をねぎ

らい卒業者の今後の更なる飛躍を祈念しました。また、今まで経験してきたJC活動を現役メンバーに伝えて頂く機会にしました。

7 実施日時：2013年 11月29日(金) 19:00～22:00

8 実施場所・会場：グランパリスパーティーリゾート

9 事業対象者 長井青年会議所メンバー

10 参加者募集方法 電子メール

11 決算総額：¥78,550

12 特別の利害関係を有する理事 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事14名(総理事) - 特別の利害関係を有する理事0名=14名

議決の成立する理事数=14名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】 5名 【実施】 5名

その他メンバー 【計画】 31名 【実施】 19名

◆外部

合計 【計画】 36名 【実施】 24名

15 外部協力団体及び協力種別

16 実施プログラム

19:00 例会セレモニー

19:20 卒業例会開始

1) 卒業生入場

2) 卒業生の紹介PV(卒業生の経歴)

・村上 聡君

・梅津 敦君

・吉田重成君

・飯鉢文義君

・横山敬生君

3) 理事長より卒業生へ記念品の贈呈

4) 卒業生全員より贈る言葉(5人)

20:15 監事講評

20:20 例会終了

会場レイアウト

20:30 卒業生を祝う会 開始

22:00 卒業生を祝う会 終了

17 対外配付資料

18 人員配置・役割分担表

・受付 梅津壮一郎・齋藤憲幸

・写真撮影 梅津壮一郎

・司会 玉橋恵子

・PV担当 風間正志

19 引用著作物の有無 無し

20 事業目的達成の検証

特段ご意見や問題点のご指摘などはいただきませんでした。卒業生から頂戴した贈る言葉とそれを真剣にお聞きするメンバーの皆様のお姿を拝見すると、事業の意義は十分伝わったと理解します。

21 実施上の問題点

【運営面】 特に無し

【予算面】

当初予算より大きく差異が発生した。事前の見積もり等を徹底すべきだった。

【その他】

記念卒業冊に記載の卒業式の日付が、発注後に日時変更があったため当日の日付ではなかった。

22 引継ぎ事項

卒業生全員の参加にはいたりませんでした。事前から十分な説明と早めの参加案内が必要。

23 各担当者所見

事務局長：風間正志

11月例会卒業式に参加頂いた皆様にはまずは御礼申し上げます。不慣れな点もあり皆様が十分満足出来た卒業式になったかはわかりませんが式典の部もその後の卒業生を祝う会も大きな問題もなく終了し安堵しております。JCで大きな支柱であった6名の皆様が卒業してしまうのは本当に残念ではございますが、卒業生からの贈る言葉はメンバー一人ひとりに染み渡り今後のJC活動の活力の糧になりました。あらためて御卒業される皆様、本当におめでとうございます。

専務理事：井上典嗣

卒業式にご参加いただきましたメンバーの皆様には感謝申し上げます。経験に基づいた卒業生の皆様のお話しには重みがあり、とても心に響くものでした。卒業生の想いをしっかりと継承し今後の活動に活かしていかなければならないと感じました。

卒業生全員に出席いただくことができなかったのが心残りではありますが、とても良い機会であったと思います。ご卒業までにおめでとうございます。

記録の管理

1 事業の区分：他3. その他組織運営に関する事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

例会や事業に関する記録作成は担当する委員会ごとに実施するが、本年度の記録は勿論、過去の活動の様子が記された写真やデータを整理し、JCルームにあるアルバムだけではなく、いつでも閲覧できるような記録のデータ管理を行うこともこれから必要となってくると考えられる。

4 事業目的

これまでの記録データを整理し、メンバーがいつでも見れるような状態に管理する。そしてJC活動の変化と会員の活動を後世に残す。

5 事業概要

JCルームに保管されてあるアルバムの管理は引き続き行う。2013年度の例会・各事業の写真はDVD-ROMに記録し保存した。

6 決算総額：¥0

7 特別の利害関係を有する理事

以上0名

8 決議の条件

議決権のある理事=理事14名(総理事) - 特別の利害関係を有する理事0名=14名

議決の成立する理事数=14名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

9 実施上の問題点

【運営面】 記録のweb管理は実質的に実施できなかった。

【予算面】 特に無し

【その他】 特に無し

10 引継ぎ事項

写真データが必要な時にそのつど各委員会からの提出要請をするのは手間と時間がかかる事を考えると、以前意見のあったweb上でのクラウド管理と会員限定での閲覧・取得が出来る体系があれば効率的な資料作成が行えるのではないかと。

11 各担当者所見

事務局：風間正志

記録の管理に関しては各委員会にお任せし、事務局としては具体的に運営していなかった事は反省点であります。広報誌「あゆみ」や事業でPV作成等で写真データが必要な場合があったとき、すぐに入手できるシステムがあれば便利だとあらためて感じました。次年度以降の記録の管理運営方法での効率化を期待いたします。

専務理事：井上典嗣

数年前より考えておりましたWEB上での管理が今年も実施できず大変申し訳なく感じております。

また、記録の管理は事業として上程せずに事務局の庶務として実施しても良いのではないかと感じます。

皆様には写真の撮影等ご協力いただきまして誠にありがとうございました。

山形ブロック大会やまがたからいちへの参加協力

1 事業の区分：公1. 地域開発事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(2) セミナー、催事の開催又は体験活動を通じて地域社会の健全な発展を目的とするまちづくり事業

3 事業実施に至る背景

本年山形ブロック協議会では、『公益社団法人日本青年会議所東北地区山形ブロック協議会 第46回山形ブロック大会 寒河江大会』と題し、県内の青年会議所会員を一堂に集めた大会を寒河江市で開催致します。その中で、各地域のたからを一同に集め、県民に発信する『やまがた たからいち～輝宝祭 in 寒河江』が行われます。県民に開かれたこの大会の中で、県内に潜在する「地域のたから」を一同に集めて感じていただくことで、「やまがた」の魅力を再確認し、故郷への誇りの醸成に繋がります。そこで長井には歴史と伝統があり地域の誇りである『ながい黒獅子まつり』を長井の“たから”として県民に発信したいと考えております。

4 事業目的 長井・西置賜の魅力を地域外の県民に発信する。

5 事業の検証方法とその手段

山形ブロック協議会において行うアンケート結果をもって検証をします。

6 事業概要

『やまがた たからいち～輝宝祭 in 寒河江』は、やまがた祭りの祭典と、地域のたからブースの大きく二つの内容となります。やまがた祭りの祭典は、17回青年会議所より推薦された、主に各地のお祭り(神輿・山車・踊り)が一堂に集い、各地域の魅力を県民へ発信します。メイン会場である最上川ふるさと総合公園内イベント広場にて行い、長井からは総宮神社に参加協力をお願いし、黒獅子舞を披露しました。また、地域のたからブースには萬寿屋様と遠藤肉店様のご協力をいただき、長井の名産品を出展いたしました。

7 実施日時：2013年7月7日(日) 10:00～17:00

8 実施場所・会場：最上川ふるさと総合公園

9 事業対象者 当日来場される一般市民

10 参加者募集方法

ポスターチラシを配布する。山形ブロックとしてチラシ1000枚、ポスター100枚を準備する。(その内、長井ではチラシ20枚、ポスター10枚を割り当てられる予定)

11 決算総額：¥70,000

12 特別の利害関係を有する理事 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事=理事14名(総理事) - 特別の利害関係を有する理事0名=14名

決議の成立する理事数=14名(議決権のある理事数)×2/3以上の員数

承認の成立する議決権=出席理事数×1/2を越える員数

14 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】 6名 【実施】 5名
その他メンバー 【計画】 26名 【実施】 16名

◆外部

総宮神社獅子舞保存会 【計画】 【実施】 17名
合計 【計画】 32名 【実施】 38名

15 外部協力団体及び協力種別

総宮神社 協力
総宮神社獅子舞保存会 協力

16 実施プログラム

11:00 長井出発(総宮神社獅子連)
※JCメンバーは事前に寒河江入りする
12:30 寒河江到着
12:30～13:00 やまがた祭りの祭典 集合・受付
14:30～14:45 全体ミーティング
15:00 運行開始
17:00 終了
17:15 搬出開始
18:00 終了

17 対外配付資料 資料名内容

1 ポスター チラシ ガイドブック うちわ表 うちわ裏
2 依頼文章

18 人員配置・役割分担表 特になし

19 引用著作物の有無 なし

20 事業目的達成の検証

山形ブロック協議会のアンケート結果を見ますと、地域のたからを理解できた36% 青年会議所の運動が理解できた40% (一般来場者アンケート)とあります。このことから、県内各地域の食べ物やお祭り、無形文化財に触れ、山形の素晴らしさを感じ各地域の魅力を発信できたと考えます。また、自分達のまちの誇りと愛着を持った地域のたからをブロック大会で県内の方々へ披露することで、獅子舞保存会の方々、私達メンバーも郷土愛を深めることができたと考えます。長井青年会議所としても、一般来場者アンケートの“本日は見て頂きましたたからいちブースの中で一番印象に残ったブースは何ですか?”の問いには、長井黒獅子舞が一番多くの回答をいただいておりますので、長井西置賜の魅力を発信するという目的を達成できたと考えます。

山形ブロック協議会アンケート結果一般来場者メンバー

21 実施上の問題点

【運営面】

・ブース出展に関して、ブロック協議会では出品する業者さんに来てもらって販売してもらおう意図であったと思われるが、LOMメンバーでの運営になってしまった。

【予算面】

・特になし

【その他】

・出展ブース依頼に関して、依頼承諾書ではなく契約書が必要になったり、準備金の支払いはLOMではなく業者に直接振り込みになったりと、後からの変更が多く振り回された感じがあったが、ブロックからの依頼には柔軟に対応するしかない。

22 公益目的事業の種類(1)《公益事業の場合のみ記載》

19. 地域社会の健全な発展を目的とする事業

23 上欄に記載した事業の種類に該当すると考える理由(1)

《公益事業の場合のみ記載》

本事業は地域のまちづくりに対する意識の高揚を図る事を目的とした地域活性化事業であったり、地域の魅力を地域の方々と共に考え、発信することを主とする事業を含む事から、項目に該当すると考えます。

24 公益目的事業のチェックポイント(1)《公益事業の場合のみ記載》 9. 展示会、〇〇ショー

25 区分毎のチェックポイントに該当する旨の説明(1)《公益事業の場合のみ記載》

①当該展示会が不特定多数の者の利益の増進に寄与することを主

たる目的として位置付け、適当な方法で明らかにしているか。

県内に潜在する「地域のたから」を一同に集め体感していただくことで、「やまがた」の魅力を再確認し、故郷への誇の醸成に繋げる事を目的とした大会であり、会場が寒河江市最上川ふるさと総合公園、自由かつ、無料で見学することができ、県民に開かれた事業と言える。またチラシポスター等で広く告知を行っている。

②公益目的として設定されたテーマを実現するプログラムになっているか。(例：テーマに沿ったシンポジウムやセミナーを開催／出展者にはテーマに沿った展示を厳守させている／テーマで謳っている公益目的と異なり、業界団体の販売促進や共同宣伝になっていないか(注)／入場者を特定の利害関係者に限っていないか(注)公益目的と異なるプログラムになっていないかを確認する趣旨であり、公益目的と異なっていない限り、製品等の紹介も認め得る。

参加するお祭りの条件として『各地域で伝承される地域のお祭りであり地域の顔となっているもの』または『その地域住民が愛し、地域性が感じられるもの』としており、長井市において歴史のある「ながい黒獅子まつり」はテーマから逸脱する事はないと考えられる。

③(出展者を選定する場合、)出展者の資格要件を公表するなど、公正に選定しているか。(例：出展料に不当な差別がないか)歴史と伝統があり長井市外への派遣の実績がある總宮神社に依頼させていただいた。

2.6 引継ぎ事項

協力団体と早い段階からしっかりと連絡調整を行う。
ブロック協議会と連絡を密にする。

2.7 各担当者所見

事務局長：風間正志

大会当日参加頂きましたメンバーの皆様、そして總宮神社獅子舞保存会の皆様本当にありがとうございました。アンケート結果で長井の黒獅子が1番印象に残ったという回答が多くよせられた事は、十二分に地域の魅力を発信できたあかしであります。2014年度の長井大会では西置賜の魅力を更に広めて行ける様頑張っております。

ご協力頂いた皆様大変ありがとうございました。

専務理事：井上典嗣

まずは、たからいちに参加いただきましたメンバーの皆様、總宮神社獅子舞保存会の皆様には感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今年は樋口和哉君が山形ブロック協議会ブロック大会運営委員会の委員長ということもあり、多くのメンバーの皆様から参加していただき、大変嬉しく思っております。總宮神社獅子舞保存会様とは早い段階から打ち合わせをさせていただいておりましたこともあり、当日もスムーズに舞を披露していただけた。寒河江の地で黒獅子の風格ある舞を披露し、長井西置賜の魅力を発信できたことはアンケートから読み取ることが出来ます。

2014年度は長井の地で開催されますので、更に長井西置賜の魅力を発信するため尽力して参ります。

委員会活動報告

期 日	場 所	時 間	出 席 者	内 容
2012/9/11 (火)	JCルーム	20:00~ 21:15	鈴木喜典 井上典嗣 梅津壮一郎 梅津 敦 風間正志 遠藤浩樹 齋藤憲幸	組織図、予定者会議、今年度内の活動について
2012/11/8 (木)	JCルーム	20:30~ 22:50	井上典嗣 風間正志 梅津壮一郎	基本計画書、年間事業計画書について
2012/11/22 (木)	JCルーム	19:00~	鈴木喜典 井上典嗣 風間正志 梅津壮一郎	年間事業計画、新春賀詞交歓会、スローガンについて
2013/3/29 (金)	オレオレ	19:00~	鈴木喜典 井上典嗣 風間正志 梅津壮一郎 齋藤憲幸 玉橋恵子	今後の活動内容確認、各大会への担当割
2013/5/9 (木)	JCルーム	19:00~	井上典嗣 風間正志 梅津 敦 齋藤憲幸 玉橋恵子	ながい黒獅子まつりについて
2013/7/5 (金)	JCルーム	19:00~ 22:00	井上典嗣 風間正志 齋藤憲幸	ブロック大会事前準備
2013/7/22 (月)	JCルーム	19:00~ 20:00	風間正志 梅津 敦 齋藤憲幸 玉橋恵子	水まつりについて
2013年 11月12日	JCルーム	19:00~ 20:00	風間正志 井上典嗣 齋藤憲幸 遠藤浩樹	卒業式について
2013年 11月14日	グランパリス パーティー リゾート	19:00~ 20:00	風間正志 井上典嗣 玉橋恵子 井上 真	卒業式について
2013年 11月27日	グランパリス パーティー リゾート	15:00~ 16:00	風間正志 井上典嗣 玉橋恵子 井上 真	卒業式リハーサル

総務局 事業報告書

- 専務理事 井上 典嗣
- 総務局長 梅津壮一郎

議長所感

今年度、総務局長というLOMでの重要な役職を経験させて頂きありがとうございました。事務局のメンバーの皆様には担当例会・総会の運営や、議事録作成など色々ご協力頂き、何とか1年間を無事に終えることが出来ました。

総務局は広報担当という事で、広報誌の作成・ホームページ運営など、今までにない貴重な経験をさせて頂きました。これは今後のJC活動のみならず、様々なところで活用できるスキルで、大変勉強にもなりました。ホームページに関しては、なかなかタイムリーな情報発信が出来ませんでした。来年度総務局との引き継ぎをしっかりと、魅力的なホームページにしていければと思います。

1年間本当にありがとうございました。

年間事業報告

次年度理事長候補者所信発表例会

- 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業
- 定款上の根拠
第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業
- 事業実施に至る背景
2014年度の活動をスムーズにスタートするためには、次年度の方向性をメンバー一人ひとりが深く理解することが重要であり、柱となる理事長所信にある内容を全メンバーで共有する機会が必要である。
- 事業目的
次年度の方向性を理解し、地域に有益な活動の実現を図る
- 事業の検証方法とその手段
アンケートを実施して検証とする。
- 事業概要
次年度理事長候補者に所信を発表してもらおう。2014年度の長井青年会議所の方向性をLOMメンバーが深く理解し、地域の発展のために自分たちに何ができるのかを一人ひとり考えるきっかけとしてもらう。そして、次年度の活動につなげていく。
また、後半部分はブロック大会創造会議を行う。今年度入会の新入会員にも分かり易いように、ブロック大会の趣旨・目的の説明を行う。最後にブロック大会長井大会へ向けて、今後の方針を実行委員長予定者が説明する。
- 実施日時：9月25日(水)
- 実施場所・会場：交流センターふらり 視聴覚室
- 事業対象者 長井青年会議所メンバー
- 参加者募集方法 電子メール、電話
- 決算総額：¥4,650
- 2 特別の利害関係を有する理事 なし 以上0名
- 13 決議の条件
議決権のある理事 = 理事14名(総理事) - 特別の利害関係を有する理事0名 = 14名
議決の成立する理事数 = 14名(議決権のある理事数) × 2/3以上の員数
承認の成立する議決権 = 出席理事数 × 1/2を越える員数

14参加員数

◆内部

担当委員会	【計画】 6名	【実施】 5名
その他メンバー	【計画】 28名	【実施】 16名
仮会員	【計画】	【実施】 1名
合計	【計画】 34名	【実施】 22名

15 外部協力団体及び協力種別

16 実施プログラム

- 19:00 例会セレモニー
- 19:15 開会、趣旨説明出欠表
- 19:20 次年度理事長候補者所信発表(45分)
- 20:05 ブロック大会長井大会
第1回創造会議(50分) 司会：梅津
・ブロック大会とは 趣旨・目的
(鈴木実行委員長予定者) 10分
(休憩 5分)
・寒河江大会の報告
(佐藤副室長) 15分 プロジェクター使用
・ブロック大会までのスケジュール
(樋口出向理事) 5分 ブロック大会スケジュール
・LOM内の職務についての説明
(樋口出向理事) 5分
・長井大会に向けての方針
(鈴木実行委員長予定者) 5分
・協議(進行：鈴木実行委員長予定者) 5分
- 20:55 監事講評
- 21:00 例会終了アンケートアンケート集計結果

17 対外配付資料

18 人員配置・役割分担表

司会：梅津総務局長
受付：風間事務局長・遠藤事務局補佐
プロジェクター：梅津総務局長
資料印刷：井上専務理事

19 引用著作物の有無 なし

20 事業目的達成の検証

<Q1> 次年度理事長候補者の所信をしっかりと理解し、次年度においてやるべき事を明確に想像できましたか？

・理解の度合いは人それぞれ違うかもしれませんが、出席者全員より理解、想像できたとの回答いただきました。

<Q2> 次年度理事長候補者の所信を拝聴し、あなたが想いを共感した部分や、疑問点・もっと詳しく聞いてみたいと思った事をお書き下さい。

・メンバーそれぞれが、所信に共感する部分があったようである。

<Q3> あなた自身のJC活動・運動における2014年度の抱負を記入して下さい。また、希望すること或いは疑問に思っている事などございましたらお書き下さい。

・メンバーそれぞれが次年度の立場や役職から、自分が何をすべきか記載頂きました。

<Q4> ブロック大会長井大会を開催する趣旨・目的、方針を理解できましたか？

・理解の度合いは人それぞれ違うかもしれませんが、出席者全員より理解、想像できたとの回答いただきました。

<Q5> 後半のブロック大会創造会議に参加してみて、感じた事や疑問に思った事をお書き下さい。

・多くのメンバーからとても楽しみにしている、頑張りたい等、前向きな回答を頂きました。

・説明資料等が準備不足とのご指摘を数名より頂きました。

理事長候補者所信の発表時は、メンバーがメモを取ったり聞きながら真剣に拝聴してる様子が窺われ、事業目的としていた次年度の方向性を理解するという事は達成出来たと感じております。所信を拝聴してそれぞれが感じた想いを忘れること無く、次年度

の事業・運動に活かしていければと思います。後半のブロック大会創造会議に関しては、特に新入会員にはまだまだ伝わっていない部分が多いと感じました。ブロック大会実行委員会が中心となり、メンバーに目的や方針をしっかりと伝え、長井青年会議所全メンバーが一丸となって開催に向け進んでいけるようにしなければならぬと感じました。

アンケート結果

2.1 実施上の問題点

- 【運営面】 ブロック大会総合会議
・資料が少なく、メンバーに伝わりにくかった
- 【予算面】 特になし
- 【その他】 ・参加者数が少なかった（出席率：59%）

2.2 引継ぎ事項

参加率が60%と低かった。例会の重要性をメンバーにしっかりと伝える必要がある。

開催月前に理事会審議を頂き、早めにメンバーに案内をすべきだと思う。

2.3 各担当者所見

委員長：梅津 壮一郎

次年度理事長候補者所信発表例会に出席頂きましたメンバーの皆様、ありがとうございます。メンバーの真剣に所信を拝聴する姿を見て、私も次年度に向けて身が引き締まる想いを致しました。また、後半のブロック大会創造会議は打ち合わせ不足などもあり、メンバーに伝わりにくかった部分もありますが、新入会員を中心に積極的な質疑もあり、実施して良かったと感じております。今回の例会でそれぞれが抱いた想いを忘れることなく、2014年度の事業・運動に活かして頂ければと思います。

専務理事：井上 典嗣

次年度理事長候補者所信発表につきまして、齋藤次年度理事長候補者の気持ちのこもった発表に参加したメンバーも真剣に耳を傾け、緊張感のある有意義な時間になりました。アンケートを見ましても、2014年度の方向性を理解し、それぞれの立場で何をすべきか認識することができたと思います。

その後開催したブロック大会創造会議では、ブロック大会とは何か、長井青年会議所はどのような立場で来年ブロック大会に臨むのかを再確認することができ、本格的にブロック大会に向けて動き出す良いきっかけになったと感じております。

当日参加いただいたメンバーの皆様へ感謝申し上げます。ありがとうございます。

次年度事業発表例会

1 事業の区分：他1. 内部例会及び会員交流事業

2 定款上の根拠

第2章第5条（5） その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

2014年度の活動をスムーズにスタートするためには、次年度の事業・運動の方向性をメンバー一人ひとりが深く理解することが重要です。また、メンバーが確固たる自信と責任を持って活動していく為、次年度の各種事業の内容を全メンバーで知る機会が必要です。

4 事業目的

次年度のJ.C運動に対する活動意欲を向上させる。

5 事業の検証方法とその手段

メンバーの理解度をアンケートにて調査し、検討する。

6 事業概要

2014年度の各委員会・会議体・局の事業計画を発表する。参加者に次年度の方向性を理解して頂き、今後の活動の意欲を向上させる機会とする。発表資料は事前に各委員会・会議体・局で作成する。

発表後にはメンバーそれぞれが理解できたかどうかをアンケートに書きこんでもらい、意見等もあればその場で書いてもらう。家族の参加も自由とし、メンバーが日頃どのような活動をしているのかを知ってもらえる様な機会とする。"

7 実施日時：12月14日（土）

8 実施場所・会場：グランパリス パーティーリゾート

9 事業対象者 長井青年会議所メンバー

10 参加者募集方法 電子メール

11 決算総額：¥0

12 特別の利害関係を有する理事 なし 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事 = 理事14名（総理事） - 特別の利害関係を有する理事0名 = 14名

決議の成立する理事数 = 14名（議決権のある理事数） × 2/3以上の員数

承認の成立する議決権 = 出席理事数 × 1/2を越える員数

14 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】 6名 【実施】 4名

その他メンバー 【計画】 29名 【実施】 22名

◆外部

メンバー家族 【計画】 10名 【実施】 1名

合計 【計画】 45名 【実施】 27名

15 外部協力団体及び協力種別

16 実施プログラム

【計画】	【実施】	
17:30	17:30	臨時総会
18:00	17:52	例会セレモニー
18:10	18:05	次年度事業計画発表例会開始（20分）
		進行：佐藤専務候補者【時間配分予定】
	18:08	理事長 齋藤理事長候補者 5分
	18:14	ブロック大会実行委員会 樋口副実行委員長候補者 3分
	18:19	まちづくり委員会 影山委員長候補者 3分
	18:21	ひとつくり委員会 小関委員長候補者 3分
	18:24	未来創造会議 遠藤議長候補者 3分
	18:26	事務局・総務局・財政局 佐藤専務候補者 3分
18:30	18:30	監事講評
18:35	18:35	例会終了
		アンケート アンケート結果 出欠表

17 対外配付資料

18 人員配置・役割分担表

司会：梅津壮一郎

進行：佐藤専務候補者

受付：齋藤憲幸

カメラ：遠藤浩樹

19 引用著作物の有無 なし

20 事業目的達成の検証

【アンケート結果】

Q1 各委員会がどんな事業をするか理解できたか。

参加者すべてが「理解できた」と回答した。

Q2 2014年度の様々な事業・運動に対して、活動意欲は向上しましたか。

参加者のすべてが「向上した」と回答した。

Q3 各委員会に激励や、こんな事業にして欲しいなどの意見・要望をお書き下さい

各委員会に対して激励の言葉や、前向きは意見が多く見うけられた。

以上のアンケート結果より、「次年度のJ.C運動に対する活動意欲を向上させる」という事業目的は達成できたと考えます。

アンケート アンケート結果

2.1 実施上の問題点

【運営面】

各委員会の持ち時間が3分間では短かった。

【予算面】

予算が付かない事業だった為、紙資料等が用意出来なかった。

【その他】

家族も参加可能としていたが、1名のみ参加だった。

2.2 引継ぎ事項

昨年引継ぎ事項にも記載があったが、クリスマスパーティー前の開催となると、時間が限られた中での実施となる為に各委員会の持ち時間が少なくなってしまう。時間配分や当日使用する資料、映像など工夫が必要だと感じた。

2.3 各担当者所見

委員長：梅津 壮一郎

次年度事業を発表された皆様、ありがとうございます。アンケートを見てみると、各委員会に対して激励・期待のメッセージが多く見受けられました。特に、来年開催されます山形ブロック大会長井大会に関しては、メンバーの皆様の期待と共に頑張ろうという熱い想いが多く寄せられました。来年は非常に大変な年になると思いますが、メッセージにもあるように皆で協力し楽しみながら各事業、ブロック大会に臨みたいと思いました。

専務理事：井上 典嗣

クリスマスパーティー前の時間ということで短時間ではありましたが、とても集中して各委員会の事業計画を聞くことができたと感じております。アンケートを見ましても2014年度に向けて前向きなメッセージがほとんどでありますので、JC運動の活動意欲向上に繋がったと感じます。多くのメンバーに参加いただきましてありがとうございます。

広報誌「あゆみ」

1 事業の区分：他2. 広報事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するために必要な事業

3 事業実施に至る背景

インターネットの普及により情報収集・発信が容易になりましたが、まだまだ子どもやお年寄りの方への情報伝達のツールとしては情報が届かない部分があり、紙媒体での新聞折り込みの広報紙とすることで、より多くの皆様へ情報を発信することができます。

4 事業目的

長井青年会議所はどのような活動をしているのかを地域の皆さんに理解して頂くことで、よりよい「まちづくり」の実現を目指します。また、JC運動の魅力を幅広く発信し、地域との連携を深めます。

5 事業の検証方法とその手段

ご意見・ご感想等をもって検証とする

6 事業概要

広報誌「あゆみ」を西置賜管内に発行する。長井青年会議所の活動への地域の皆さんの理解を深め、共感を得ることができるような内容を目指した。また、JC運動の目的や事業内容を分かりやすく、見やすく紙面を作成し、情報発信を行いました。

7 実施日時：8月25日(日)

8 実施場所・会場：西置賜管内(山形新聞・朝日新聞・読売新聞)

9 事業対象者

西置賜管内にお住まいの方
新聞折込明細

10 参加者募集方法 メール配信

11 決算総額：¥200,000

12 特別の利害関係を有する理事 小関幸一 以上1名

1.3 決議の条件

議決権のある理事 = 理事14名(総理事) - 特別の利害関係を有する理事1名 = 13名

決議の成立する理事数 = 13名(議決権のある理事数) ×

2/3以上の員数

承認の成立する議決権 = 出席理事数 × 1/2 を越える員数

1.4 参加員数

◆内部

担当委員会 【計画】 6名 【実施】 6名

その他メンバー 【計画】 28名 【実施】 28名

仮会員

合計 【計画】 34名 【実施】 34名

1.5 外部協力団体及び協力種別

1.6 実施プログラム

8月25日(日)発行 18700部

広報誌「あゆみ」新聞折込明細見積書

1.7 対外配付資料

1.8 人員配置・役割分担表

【原稿入稿依頼】

事業紹介

地域活性化事業みんなで灯そう夢灯

まちづくり委員会

元気創造プロジェクト

まちづくり委員会

長井駅周辺整備事業

まちづくり委員会

地域交流事業

まちづくり委員会

フラワーボランティア教室

まちづくり委員会

親力を高める講演会

ひとづくり委員会

ながい寺子屋

ひとづくり委員会

JC杯中学野球大会

ひとづくり委員会

芸工大に学ぶ超企画力

未来創造会議

個別依頼

理事長挨拶

鈴木理事長

新入会員の声(2名)

井上真君・小関弾君

1.9 引用著作物の有無 なし

2.0 事業目的達成の検証

広報誌「あゆみ」発行後、地域の方々や他団体の方などに直接感想をお伺いしたところ「夢灯は毎年、楽しみにしている」「JCには期待している。頑張してほしい」などの激励や「JCでこんな活動をしているのは知らなかった」「あの人もJCに入っていたんだ」などの感想を頂いた。

一方、ホームページやメール・facebookでの意見や、感想は全くなく、検証の材料には至らなかった。

以上の理由から、「JC運動の魅力を発信する」という事業目的は達成できたと考えます。

ただ、判断材料となる感想・意見を頂いた方が、夢灯で協力頂いている他団体の方や知人、メンバーの家族など、長井JCにある程度関心を持っている方々からしか頂けず、JC運動の魅力を地域住民に幅広く発信できたかどうかは疑問が残る。

検証方法については、来年度以降検討する必要がある。

2.1 実施上の問題点

【運営面】

今年度は「親力を高める講演会」の事業告知も同時に行いたいという理由から、通年の年末発行から8月中旬に発行部数を変更したが、講演会チケットの販売数は発行後あまりがなかったように感じる

【予算面】 特になし

【その他】

9月以降の例会・事業は広報誌に掲載できなかった。

2.2 引継ぎ事項

ホームページやメールから感想を頂くのは非常に難しい。今後検討すべき。

2.3 各担当者所見

委員長：梅津 壮一郎

今回、広報誌「あゆみ」を発行するにあたり、多くのメンバーより原稿寄稿や写真選定などのご協力を賜り、ありがとうございました。長井青年会議所で行っている様々な活動・JC運動を紙面を通して、地域の方々に十分に発信できたと思います。まだまだ

だ、私達が行っている活動・運動を知らない方々もいらっしゃる
ので、2014年度以降もホームページやfacebook等も
用いながら、今まで以上に分かりやすく鮮度の高い情報を発信で
きればと思います。

専務理事：井上典嗣

広報誌あゆみを発行するにあたり各委員会様よりご協力をいた
だきましてありがとうございました。なかなか地域の皆様からご
意見ご感想をいただくのは難しいところではありますが、新聞折
り込みをしたことによって多くの皆様に青年会議所の運動を知っ
ていただいたのは間違いないと思います。

ホームページ運営

- 1 事業の区分：他2. 広報事業
- 2 定款上の根拠
第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するた
めに必要な事業
- 3 事業実施に至る背景
情報の迅速な提供方法としてホームページはとても有効で欠か
せないものだと考えます。今年度も、長井青年会議所の活動をよ
り多くの方々に知って頂くため、ホームページを活用していきま
す。
- 4 事業目的
長井JCの活動を幅広く発信し、事業への協力と連携を深める。
- 5 事業の検証方法とその手段
アクセス数、パブリックコメントをもって検証とする。
- 6 事業概要
ホームページ閲覧者に正確で迅速な情報を提供できるよう、各
委員会と連携しホームページ運営を行った
今年度は、2012年度のHPを改良し、以下の点を修正する
①トップページの静止画像を写真のスライドにする(夢灯・葉山
登山・フラワーボランティア)
②facebookのパナーをつける
③各事業のパナーをつける
- 7 実施日時：通年
- 8 実施場所・会場：ホームページ
- 9 事業対象者
- 10 参加者募集方法 メール配信
- 11 決算総額：¥0
- 12 特別の利害関係を有する理事 以上0名
- 13 決議の条件
議決権のある理事 = 理事14名(総理事) - 特別の利
害関係を有する理事0名 = 14名
議決の成立する理事数 = 14名(議決権のある理事数) ×
2/3以上の員数
承認の成立する議決権 = 出席理事数 × 1/2を越える員数
- 14 参加員数
◆内部
担当委員会 【計画】 6名 【実施】 6名
その他メンバー 【計画】 28名 【実施】 28名
仮会員
合計 【計画】 34名 【実施】 34名
- 15 外部協力団体及び協力種別
- 16 実施プログラム
事業開催の1か月前までに事業案内を行う
事業終了後の1週間以内に事業報告を行う ※原則

17 対外配付資料

18 人員配置・役割分担表

19 引用著作物の有無 なし

20 事業目的達成の検証

年間アクセス状況(1/1~12/31)

・年間訪問者数 2012年：3,994

2011年：3,000

・ページビュー数 2012年：17,194

2011年：8,700

2013年アクセス状況(1/1~12/31)

・年間訪問者数 3,726

・ページビュー数 12,841

一昨年に比べると、訪問者数・ページビュー数ともに多かった
が昨年に比べると若干、訪問者数が少なかった。また、ページ
ビュー数は昨年対比75%と大きく減る結果となった。

以上の結果より、「長井JCの活動を幅広く発信し、事業への
協力と連携を深める」という事業目的はある程度達成できたと思
えます。しかし、昨年に比べホームページでの発信力は弱かった。
来年度はfacebookページからの誘導と、定期的な情報更
新を心掛ける必要があると感じた。

2012年訪問数 2012年滞在時間

2013年訪問数 2013年滞在時間

21 実施上の問題点

【運営面】

1月1日リニューアル時に不備があった。

各委員会で記事更新方法が分からず、殆どが総務局で更新する事
になった

【予算面】 特になし

【その他】 特になし

22 引継ぎ事項

・各委員会と連携して、事業のPR、報告は速やかにアップする

・各委員会でホームページの更新担当者を配置して欲しい

・システムの不具合や修正等があれば柔軟に対応する事

・理事長ブログは、1月総会終了後に変更する事。

23 各担当所見

委員長：梅津壮一郎

今年度1年間を通して、改めてホームページの重要性、運営の
難しさ感じました。現在はfacebookでも長井JCの情報
発信が行われており、地域内外の多くの方に、当会の事業に関し
て関心を持って頂いております。しかし、今年度は各事業のアッ
プなどが更新されずにいた事が多々ありました。来年度以降は、
HP担当者委員会と他の委員会も協力しながら、長井JCの魅力
的な活動情報をいち早く発信していければと思います。1年間ご
協力頂いた皆様ありがとうございました。

専務理事：井上典嗣

年間を通してホームページの運営にご協力いただきまして皆様
ありがとうございました。昨年より訪問者数、ページビュー数共
に減ってしまいましたが、長井青年会議所に興味をもった方はま
ずホームページを見ますので、常に更新し魅力的なホーム
ページにしておく必要があります。今年は更新回数が少なかつ
たと感じておりますので、来年度は委員会毎にホームページ担
当を決めて各委員会に更新していただくようですので、今年の反省
を活かし次年度に繋げて参りたいと思います。

会員褒賞

1 事業の区分：他3. その他組織運営に関する事業

2 定款上の根拠

第2章第5条(5) その他、本会議所の目的を達成するた
めに必要な事業

3 事業実施に至る背景

地域発展のための事業を展開する青年会議所活動は、会員の積
極的な参画と責任によって支えられています。1年を振り返り、
その能動的な活動をたたえ、更なる意欲向上につなげられるよう

な設えがあつてこそ、今後も充実したJC活動をしていけると考えます。

4 事業目的

活躍されたメンバーの榮譽をたたえ、更なる積極的な活動を促し、全メンバーの参画意欲を向上させる。

5 事業の検証方法とその手段

メンバーそれぞれの今後の活躍をもって検証とする。

6 事業概要

会員の例会や各種事業への出席率をもとに、褒賞対象を選出し、これを表彰する。選考に関しては、理事長を含めた事務局内で行う。

7 実施日時：12月14日（土）

8 実施場所・会場：グランパリスパーティリゾート

9 事業対象者 長井青年会議所メンバー

10 参加者募集方法 メール配信

11 決算総額：¥0

12 特別の利害関係を有する理事 なし 以上0名

13 決議の条件

議決権のある理事 = 理事14名（総理事） - 特別の利害関係を有する理事0名 = 14名

決議の成立する理事数 = 14名（議決権のある理事数） × 2/3以上の員数

承認の成立する議決権 = 出席理事数 × 1/2を越える員数

14 参加員数

◆内部

担当委員会	【計画】 6名	【実施】 4名
その他メンバー	【計画】 29名	【実施】 21名
仮会員		
合計	【計画】 35名	【実施】 25名

15 外部協力団体及び協力種別

16 実施プログラム

クリスマスパーティーの中で実施する

19：30～19：50（予定では10分）

【例会出席率100%達成者】対象者：16名

- ・11年連続 横山敬生君
- ・9年連続 鈴木喜典君
- ・7年連続 樋口和哉君
- ・6年連続 吉田重成君、井上典嗣君
- ・3年連続 風間正志君、梅津壮一郎君、佐藤真光君
- ・2年連続 大竹貴之君
- ・1年達成 飯鉢文義君、村上聡君、齋藤繁喜君、齋藤憲幸君、平宗正君、玉橋恵子君、小関弾君

<選定方法>

例会出席率 = $\frac{\text{例会} + \text{各種大会アテンダンス}}{12}$

参考資料：2013出席状況

【会員拡大褒賞】

- ・会員拡大褒賞（日本JC・ブロック協議会）
LOMで頂いた拡大褒賞の報告
- ・会員拡大褒賞（日本JC） 梅津壮一郎君
- ・会員拡大褒賞（ブロック協議会） 小関幸一君
- 【特別賞】
- ・新人賞 齋藤憲幸君

17 対外配付資料

18 人員配置・役割分担表

進行：井上専務
表彰：鈴木理事長
補佐：梅津総務局長

19 引用著作物の有無 なし

20 事業目的達成の検証

メンバーの今後の活躍をもって検証としていることから、受賞者の益々のご活躍を期待します。

受賞者からは、「受賞して嬉しい」、「来年も頑張りたい」「例会100%出席は、会員として当たり前」などの感想を戴きました。

メンバー一人ひとりの更なる積極的な活動を促すという点では、事業の目的を十分達成できたと考えます。

21 実施上の問題点

【運営面】

開始時間は予定通りだったが、終了時間が10分オーバーした

【予算面】 特になし

【その他】 特になし

22 引継ぎ事項

例会・各種大会の出欠表は、委員会で漏れがある場合があるので、必ず確認すること。特に、遅れて参加した方など。

23 各担当者所見

委員長：梅津 壮一郎

受賞された皆様、おめでとうございます。今年は例会100%出席達成者が16名という事で、近年の中では褒賞対象者が多かったように感じます。一方、例会の出欠表を見ると、年に数回しか参加出来ないメンバーがいる事も事実です。毎月の例会に参加する事は、会に所属している会員として当然の責務ではありますが、各例会を担当する委員会でも、例会に参加しやすい日時・時間の設定や早めの案内、参加したくなるような事業計画なども考えていかなければならないと感じました。

専務理事：井上 典嗣

今年は多くのメンバーが褒賞対象となり非常に良かったと思いますし、対象にならなかったメンバーへの参画意欲の向上にも繋がったのではないかと思います。今年は拡大の褒賞も沢山いただき、とても充実した一年であったことも感じました。時間をオーバーしてしまいご迷惑をおかけしましたので、来年度は褒賞人数に応じて時間を決めるべきだと思いました。

【出 向 報 告】

山形ブロック協議会

監査担当役員 横 山 敬 生

所 感

昨年度山形ブロック協議会に於いて副会長の任を預かりました私が、引き続き山形ブロック協議会に於いて第4エリアより選出される監査担当役員としての担いをいただいた本年は、望外の驚きとともに新たな覚悟をもって挑んだ一年でありました。

監査とはあらためて申し上げるまでもなく、その組織の運営が適正に行われていることを見とどける立場にあり、会計監査のみならず事業監査においても重要な役割を持っています。とりわけブロック協議会に於いては会議の最後に講評を述べさせていただく機会が多く、私自身もあらためて学びのチャンスを数多く頂戴しました。

今年度のブロック役員はいずれも個性豊かな方々ばかりで、会を重ねるごとに交流も深まり、各委員会活動の様子を間近で感じることができました。とりわけ当LOMより委員長として出向された樋口和哉君の奮闘ぶりは見事なもので、樋口君を取り巻く多くの方に支えられ励まされながら実現したブロック大会寒河江大会の成功は、傍らで見ても羨ましく感じられたほどでした。

13年に渡る青年会議所活動の最終年度に於いて、何ものにも変え難い経験を共有した同期理事長から、近年の山形ブロック協議会を牽引するブロック会長が選出されるなか、監査担当役員としての担いを全うし同じときを歩むことが出来たことは、`誉れ、の一言に尽きます。

青年会議所を縁として巡り会えた多くの仲間と、支えてくださった多くの方々に深く感謝申し上げ、鈴木理事長はじめLOMメンバー皆様のお力添えに心から御礼申し上げ所感と致します。

出向先活動開催日	内 容	場 所
9月21日	第1回役員候補者会議	南陽市 南陽J C 会館
10月 5日	第2回役員候補者会議	南陽市 南陽J C 会館
11月 4日	第1回会員会議所候補者会議南陽市	熊野神社證誠殿
11月16日	第3回役員候補者会議	南陽市 南陽J C 会館
11月25日	第2回会員会議所候補者会議天童市	ほほえみの宿滝の湯
1月16日	第1回役員会議	南陽市 南陽J C 会館
1月24日	山形J C 新春祝賀会	山形市 ホテルメトロポリタン山形
1月26日	第1回会員会議所会議	南陽市 えくぼプラザ・熊野神社證誠殿
2月19日	第4エリア会長公式訪問	南陽市 熊野大社證誠殿
2月21日	第1エリア会長公式訪問	酒田市 総合文化センターホール
2月26日	第2エリア会長公式訪問	東根市 花の湯ホテル
3月12日	第3エリア会長公式訪問	天童市 ほほえみの宿滝の湯
3月13日	第2回役員会議	大江町 交流ステーション
3月23日	第2回会員会議所会議	山形市 中央公民館
4月15日	会頭公式訪問	南陽市 赤湯温泉瀧波
4月17日	第3回役員会議	米沢市 地域支援産業センター
4月27日	第3回会員会議所会議	鶴岡市 総合保健福祉センターにこふる
5月15日	第4回役員会議	新庄市 わくわく新庄
5月21日	臨時役員会議	河北町 河北J C ルーム
5月25日	第4回会員会議所会議	米沢市 アクティー米沢
6月19日	第5回役員会議	山形市 総合スポーツセンター
6月29日	第5回会員会議所会議	酒田市 出羽遊心館
7月 5日	第6回役員会議	寒河江市 ハートフルセンター
7月 6日	第6回会員会議所会議	寒河江市 市民文化会館
9月18日	第7回役員会議	長井市 長井観光はぎ苑
9月28日	第7回会員会議所会議	村山市 甌葉プラザ
10月16日	第8回役員会議	河北町 河北J C ルーム
10月26日	第8回会員会議所会議	天童市 ほほえみの宿滝の湯
11月13日	第9回役員会議	山辺町 中央公民館
11月23日	第9回会員会議所会議	南陽市 交流プラザ蔵楽・熊野神社證誠殿

山形ブロック協議会

ブロック大会運営委員会 委員長 樋 口 和 哉

所 感

今年度、山形ブロック協議会ブロック大会運営委員会の委員長として出向させていただきました。振り返りますとこんな私なんぞがブロック協議会の委員長という身の丈以上の役職を担わせていただき、青年会議所に入会以来経験したことのない重圧や緊張感を身を以って体感し、まさにJ Cの三信条のひとつである「修練」の場を存分に味わうことが出来た出向であったと感じます。

さて、今大会は寒河江青年会議所が開催地主管となり、「つながり」～やまがたの中心から未来へ翔く～のスローガンの下、開催させていただきました。二日間という開催内容で会員の研修や交流、多くの県民市民に対して主管地域や県内各地の魅力の発信をさせていただき、何とか大会を成功裏に終えることが出来ましたのも、共に出向し、共に苦しみ汗水ながしていただいた佐藤真光幹事、遠藤浩樹部長、小笠原 恒委員、児玉大輔委員、各地より出向頂いた多くの仲間にご支えいただいたからこそであります。本当にありがとうございました。

最後に出向という機会を与えて下さった鈴木理事長をはじめ、長井J Cメンバーに感謝申し上げ私の出向報告としたところですが、私の本当の意味での出向はまだ成し終えていません。次年度の長井大会が終わるまで私の抱いは続きますので、今年度得た経験と多くの学びを大いに活かして大会に臨んでまいります。ひとまずひとつの節目として皆様にご報告申し上げます。一年間お世話になりました。ありがとうございました。

出向先活動開催日	内 容	場 所
2012年		
9月21日	第1回役員候補者会議	南陽市
10月 5日	第2回役員候補者会議	南陽市
10月10日	担当副会長・委員長引継ぎ	村山市
10月23日	スタッフ会議	寒河江市
11月 4日	第1回会員会議所候補者会議	南陽市
11月16日	第3回役員候補者会議	南陽市
11月25日	第2回会員会議所候補者会議	南陽市
12月 4日	スタッフ会議	寒河江市
2013年		
1月16日	第1回役員会議	南陽市
1月24日	山形J C新春祝賀会	山形市
1月26日	第1回会員会議所会議	南陽市
1月26日	第1回委員会（顔合わせ・スケジュール確認他）	南陽市
2月 1日	スタッフ会議	村山市
2月12日	第2回委員会（各部会職務割振り・シンボルマークスローガン・大会名称・主催、主管文について）	寒河江市
2月19日	第4エリア会長公式訪問	南陽市
2月21日	第1エリア会長公式訪問	酒田市
2月26日	第2エリア会長公式訪問	東根市
2月27日	スタッフ会議	寒河江市
3月 4日	寒河江市文化会館訪問（企画書、スケジュール（案）提出）	寒河江市
3月 5日	第3回委員会（シンボルマーク、スローガン主催、主管文について各部会進捗状況確認等）	長井市
3月12日	第3エリア会長公式訪問	天童市
3月13日	第2回役員会議	大江町
3月15日	スタッフ会議	村山市
3月20日	スタッフ会議	河北町
3月22日	朝日町役場、大江町役場訪問	朝日町・大江町
3月23日	第2回会員会議所会議	山形市
3月26日	寒河江市役所、西川町役場訪問	寒河江市・西川町
4月 1日	スタッフ会議	寒河江市
4月 8日	第4回委員会（全体事業について）	新庄市
4月15日	会頭公式訪問	南陽市
4月17日	第3回役員会議	米沢市
4月19日	スタッフ会議	村山市
4月27日	第3回会員会議所会議	鶴岡市

5月 1日	スタッフ会議	寒河江市
5月 8日	第5回委員会（広報関係資料の精査）	南陽市
5月15日	第4回役員会議	新庄市
5月21日	臨時役員会議	河北町
5月25日	第4回会員会議所会議	米沢市
5月29日	第6回委員会（出席案内はがき作成）	寒河江市
6月 1日	寒河江J C事業にてブロック大会P R	寒河江市
6月 3日	南陽J C・村山J C理事会、天童J C例会にてブロック大会P R	南陽市、村山市、天童市
6月 4日	東根J C理事会にてブロック大会P R	東根市
6月 4日	合同委員会	寒河江市
6月 5日	山形J C理事会、酒田J C例会にてブロック大会P R	山形市、酒田市
6月 6日	米沢J C理事会にてブロック大会P R	米沢市
6月 8日	東北地区協議会役員会議オブザーブ	南陽市
6月 9日	各部会会議	寒河江市
6月10日	河北J C例会にてブロック大会P R	河北町
6月10日	スタッフ会議	寒河江市
6月14～16日	A S P A C光州大会	韓国
6月17日	第7回委員会（各部会進捗状況、今後の役割について）	寒河江市
6月17日	合同部会会議	寒河江市
6月19日	第5回役員会議	山形市
6月23日	地域連携復興委員会映画上映会にてブロック大会P R	寒河江市
6月23日	最上川ふるさと総合公園にてブロック大会P R	寒河江市
6月24日	式典リハーサル	寒河江市
6月25日	各部会会議	寒河江市
6月26日	山形ブロック大会寒河江大会決起集会	寒河江市
6月27日	T U Y、Y T Sにてブロック大会P R収録	山形市
6月27日	米沢J C例会にてブロック大会P R	米沢市
6月28日	式典リハーサル	寒河江市
6月29日	第5回会員会議所会議	酒田市
7月 1日	式典リハーサル、各部会会議、スタッフ会議	寒河江市
7月 2日	各部会会議、スタッフ会議	寒河江市
7月 3日	Y B Cにてブロック大会P R収録	山形市
7月 3日	各部会会議、スタッフ会議	寒河江市
7月 4日	各部会会議、スタッフ会議	寒河江市
7月 5日	第6回役員会議	寒河江市
7月 5日	各部会会議、スタッフ会議	寒河江市
7月 6日	第6回会員会議所会議	寒河江市
7月 6日	第46回山形ブロック大会寒河江大会 開催	寒河江市
7月 7日	ブロック大会2日目	寒河江市
7月10日	スタッフ会議	長井市
7月26日	第8回委員会（各部会実施報告、まとめ）	寒河江市
9月18日	第7回役員会議	長井市
9月28日	第7回会員会議所会議	村山市
10月16日	第8回役員会議	河北町
10月19日	第9回委員会（事業報告議案精査）	寒河江市
10月26日	第8回会員会議所会議	天童市
11月 8日	次年度ブロック大会引継会	村山市
11月13日	第9回役員会議	山辺町
11月15日	スタッフ会議	寒河江市
11月23日	第9回会員会議所会議・ブロック卒業式	南陽市
12月 4日	ブロック大会合同報告会	寒河江市
12月17日	山形ブロック協議会離散会	天童市
12月21日	第10回委員会（離散会）	山形市

所 感

2013年度はブロック大会運営委員会へ出向させていただき、大変貴重な経験させていただきまいした。そして、ブロック大会運営委員会委員長の樋口和哉君の下で紆余曲折、常に上り坂のような険しい場面も多々ありましたが、何とか踏みとどまって何とか大会を成功裏に終えたことは、2014年度の長井大会へつなぐ好い契機となったことは間違いないと思っております。一番難儀だった樋口委員長も次年度も長井大会に中心的存在で関わるという事ですので、微力ながら引き続き支えて参ります。まずは、一区切りお疲れさまでした。

さて、私個人の役割りとしては、会計幹事及び「たからいち」担当幹事として運営側に携わっておりました。会計に関しては決算の際の支払いや各種提出書類の作成など事務的なところを担当し、2年目となる「たからいち」の企画運営に担当幹事として携わることが一番苦労したところでした。当初「地域のたから」と「たから原石」の2分化で段階的な地域のたからを演出しようと考えておりましたが、結果的に各LOMに浸透せず、広報面でも集客に結び付く効果的な手段を多く模索しましたが、上手く結果がついてこず、反省しなければならぬ点が多々ありました。正直悔しい思いがあります。この思いは2014年度の主管側として出来るところで活かしていきたいと思っております。

まずはともあれ、苦しさも楽しさも両方あり、また多くのメンバーとの交流もあり、分をわきまえず突っ走ってしまったことに対する反省もあり、ブロック大会をやり遂げた事からの自信もあり、多くの学びと気づきを与えてくれたブロック大会運営委員会への出向という機会を与えて下さった事に感謝申し上げます。ありがとうございました。

出向先活動開催日	内 容	場 所
2012年		
12月 4日	スタッフ会議	寒河江市
2013年		
1月26日	委員会	南陽市 えくぼプラザ
2月 1日	スタッフ会議	村山市 村山J Cルーム
2月27日	部会会議	寒河江 ハートフル寒河江
3月 4日	スタッフ会議	村山市 J Cルーム
3月 5日	委員会	長井市 中央会館
3月15日	スタッフ会議	村山市 村山J Cルーム
3月20日	部会会議	河北町 河北J Cルーム
4月 3日	スタッフ会議	村山市 はぎ建設
4月 8日	委員会	新庄市 新庄J Cルーム
4月19日	スタッフ会議	村山市 はぎ建設
5月 1日	スタッフ会議	寒河江市 寒河江J Cルーム
5月 8日	委員会	南陽市 南陽J Cルーム
5月25日	会員会議所（審議上程）	米沢市 アクティ米沢
6月 4日	スタッフ会議	寒河江市 寒河江J Cルーム
6月 5日	スタッフ部会長会議	寒河江市 寒河江J Cルーム
6月17日	委員会	寒河江市 寒河江J Cルーム
6月24日	式典リハーサル	寒河江市 ハートフル寒河江
	たからいち部会	寒河江市 寒河江J Cルーム
7月 1日	たからいち部会	寒河江市 寒河江J Cルーム
7月 5日	ブロック大会準備	寒河江市
7月 6日	ブロック大会当日	寒河江市
7月 7日	ブロック大会当日	寒河江市
7月10日	スタッフ会議	長井市 遠藤電工
7月26日	スタッフ会議	寒河江市 寒河江J Cルーム
11月15日	スタッフ会議	寒河江市 寒河江J Cルーム

所 感

ブロック大会運営委員会に出向させて頂きました。昨年より継続事業として行った「やまがた たからいち」を含め、2日間の開催で行いました。樋口委員長をはじめ、幹事、部会長とL O Mから重要な役職を頂きましたが、寒河江J Cとブロック委員会との連携の大切さ、難しさを痛感した運営となりました。また県内全域を巻き込んだ事業ということもあり、ボリュームの多さから何をどこから手をつけていいのか、委員長も悩み苦しみましたが、最後まで強い意志を持ってやり遂げたことで、意義深いブロック大会になったと思います。私は今年で卒業ですが、頼もしい姿に成長した委員長を見て来年の長井大会も今年以上にすばらしい事業になることを確信しました。ブロック委員会との意志の疎通、集客のP Rなど課題が残った部分が多々ありますが、ひとつひとつ克服し是非来年の長井大会の成功に繋げていきたいと思っています。微力ながら出向し、大変多くの経験をさせて頂き感謝申し上げます。

出向先活動開催日	内 容	場 所
1月26日	第1回委員会	南陽市 ○
2月12日	第2回委員会	寒河江市 ×
3月 5日	第3回委員会	長井市 ○
4月 8日	第4回委員会	新庄市 ×
5月 8日	第5回委員会	南陽市 ×
5月29日	第6回委員会	寒河江市 ○
6月17日	第7回委員会	寒河江市 ○
7月 6日	ブロック大会	寒河江市 ○
7月 7日	ブロック大会	寒河江市 ○

山形ブロック協議会 ブロック大会運営委員会
委員 児玉大輔

所 感

今年度、山形ブロック協議会 ブロック大会運営委員会に出向させて頂きました。ブロック協議会への出向は7年振り、とても懐かしく、新鮮な気持ちになりました。実はこの委員会には9年前にも出向の経験がありますが、その当時の大会名は『ブロック会員大会』という名称でありました。その後、公益法人移行の関係で一般の方々に重きを置くような内容となり、会員の為だけの大会ではなくなった訳ですが、私個人的な感想といたしましては、以前の大会の方が楽しかったように思いました。会員が年々減少しているのに対し、大会のボリュームは逆に大きくなり、スタッフにかかる負担が以前よりは大きくなったと感じました。なかなか委員会に参加出来なかった身で大変恐縮ではありますが、身の丈に合った内容に変えた方がいいのではないかと私は思います。

とは言っても、来年は当L O Mがブロック大会を主管致します。今回の反省点をしっかりと引き継ぎ、「さすが長井だ!!」と言われるような大会になるよう臨んで行きたいと思っています。

最後になりましたが、樋口和哉委員長を始めとするスタッフの方々、委員会メンバーの皆様、寒河江J Cの皆様方に感謝申し上げ、私の出向者所感といたします。

出向先活動開催日	内 容	場 所
3月 5日 (火)	第2回委員会	長井市：中央会館
6月26日 (木)	寒河江J Cとの合同決起集会	寒河江市：ホテルシンフォニー
7月 3日 (水)	式典リハーサル	寒河江市：ハートフルセンター
7月 6日 (土)	ブロック大会当日 (1日目)	寒河江市：各会場
7月 7日 (日)	ブロック大会当日 (2日目)	寒河江市：各会場

所 感

今年度、ブロック大会運営委員会総務部会長として出向させていただきました。11年南陽大会、9年鶴岡大会に続き3回目の出向となりました。今年度の担いは、総務部会長ということで、樋口委員長の元で主に総務全般を行いました。地味ではありますが、たからいち部会、式典部会と力を合わせないとできません。さらに設楽副委員長を通じて、寒河江JCさんとも連絡を密にしていけないといけません。この部会は、一番初めに動く部会です。まずは、後援依頼文から始まり、ポスター、チラシ、式典の案内、メンバーの登録の案内、LOM、メディアのPRなどそのほかにも多岐に渡ります。決して一人ではできるものではありませんので、総務部会のメンバーと共に作業を行いました。返事の来ない方、住所が違ったり、会長名が変更であったり、調べるのが大変でした。そんなとき、出向されたメンバーと協力してなんとか行うことができました。本当にありがとうございます。

当日は、私が怪我をしたこともありあまり動けませんでしたが。そんな中、寒河江JCの田代副部会長、そのほかのメンバーに代行していただき、当日も式典、たからいちがスムーズに進行できたと思います。

最後に、委員長として引張っていただいた樋口和哉君本当にお疲れ様でした。来年が本番なので、今年、経験したことを生かせれば成功できると思います。私もLOMの総務、式典部会長を仰せつかりました。今年の経験を活かし、素晴らしい長井大会にしていきます。出向させていただく機会を作っていただいた鈴木理事長に感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

出向先活動開催日	内 容	場 所
1月26日16:15～	第1回委員会	南陽市 中央公民館えくほプラザ
2月12日19:00～	第2回委員会	寒河江市 ハートフルセンター
3月 5日19:00～	第3回委員会	長井市 中央公民館
3月20日19:00～	スタッフ会議	河北町 JCルーム
4月18日19:00～	第4回委員会	新庄市 JCルーム
5月 8日19:00～	第5回委員会	南陽市 JCルーム
6月 1日19:00～	ブロック大会準備	寒河江市 JCルーム
6月 5日19:00～	内部例会でのPR	酒田市 玉姫殿
6月 1日19:00～	ブロック大会準備	寒河江市 JCルーム
6月10日19:00～	ブロック大会準備	寒河江市 JCルーム
6月15日13:00～	キャンドルナイトでのPR	新庄市 ふれあい広場
6月17日19:00～	スタッフ会議	寒河江市 JCルーム
6月20日19:00～	第6回合同委員会（地域連携復興委員会）	長井市 中央会館
6月26日19:00～	合同委員会、決起集会寒河江青年会議所、	寒河江市 アネックス
6月27日13:30～	メディア・米沢JC内部例会でのPR	TUY YTS
7月 1日19:00～	式典リハーサル、ブロック大会準備	寒河江市 JCルーム
7月 3日15:30～	メディアPR	YBC
7月 5日19:00～	ブロック大会準備	寒河江市 JCルーム
7月 6、7日	ブロック大会寒河江大会	
7月10日19:00～	スタッフ会議	長井市 JCルーム
9月21日19:00～	スタッフ会議	寒河江市 JCルーム
11月21日18:30～	エピソード2013内ブロック大会成功の鍵伝達式	南陽市 熊野大社證城殿
12月21日	委員会打ち上げ	山形市 味の店 すずらん

山形ブロック協議会

やまがた未来選択創造委員会 吉田 重成

所 感

今年度、やまがた未来選択創造委員会に出向させて頂きました。委員会にとって憲法アクションDays2013、そして参議院議員選挙公開討論会の二つが大きな事業であった訳ですが、やもすれば関心が薄くなりがちな内容を、どうやったら一般の方に興味を持ってもらえるか、そこがキーポイントとなる委員会となりました。庄司委員長は昨年の副委員長、そして昨年の委員長も委員ということで、昨年からの引き継ぎもしっかりできており、副委員長、幹事もしっかりと委員長を支え、充実した委員会活動だったと思います。

個人的に一番印象に残っているのは、10月に行われた公開委員会でした。講師として、国会から自主憲法制定委員会の杉田委員長をお招きし、様々な角度から憲法を考え、解釈のあり方や、日本青年会議所としての憲法草案の考え、また安全保障の問題や課題など様々なお話をお聞きしました。私たちは普段、地域のために活動をしている訳ですが、その根幹となる日本という国について関心を持ち、自分の考えを持つことが必要であると感じました。

今回の出向では委員会開催がL O Mの事業・理事会等と重なることが多く、なかなか出席できない時期もありましたが、活動の中で様々なことを経験させて頂きました。私は今年度をもって卒業となりますが、残されたメンバーの皆さんには積極的に出向し、L O Mだけでは経験できない多くの学びを得てほしいと思います。

最後になりますが、出向という貴重な機会を与えてくださいました鈴木理事長はじめ、L O Mのメンバーに感謝申し上げます。出向報告とさせていただきます。ありがとうございました。

出向先活動開催日	内 容	場 所
1月26日	第1回委員会	南陽市 出席
2月 8日	第2回委員会	山形J Cルーム 出席
3月16日	第3回委員会	米沢市 欠席
3月28日	第4回委員会	村山J Cルーム 欠席
4月 4日	第5回委員会	上山J Cルーム 欠席
5月 3日	憲法アクションD a y s 2 0 1 3	山形南イオン 出席
6月 1日	第6回委員会	酒田市 だるま寿司 出席
6月18日	みらせん収録	山形市 共産党事務所 出席
6月20日	みらせん収録	米沢市 みどりの風 選挙事務所 出席
6月25日	参院選公開討論会 (村山エリア)	山形市 山形ビックウイング 出席
6月30日	参院選公開討論会 (庄内エリア)	酒田市 東北公益文化大学 欠席
7月 3日	第7回委員会	山辺J Cルーム 欠席
7月 6日	山形ブロック大会 分科会	寒河江市 出席
8月20日	第8回委員会	寒河江J Cルーム 欠席
10月29日	第9回委員会 (公開委員会)	山形市 霞城セントラル23階 出席

地域連携復興委員会 梅津 壮一郎

所 感

今年度、山形ブロック協議会地域連携復興委員会に出向させて頂きました。当委員会はブロック大会でのメインフォーラム担当、分科会、ブース出店など、山形ブロック協議会の中でも、J C運動を広く発信する重要な委員会のひとつでした。メインフォーラムのテーマ「領土領海問題」に関しては、私自身が非常に勉強になり、色々な事を考えるきっかけとなりました。近年、尖閣問題や竹島問題などがメディアによって取り上げられる機会が多くなり、領土問題に対して国民の関心は高まっています。しかし、正しい知識を持っている人は少ないのが現状です。領土問題は、国外問題であると同時に、国民の関心や知識が低いという国内問題でもあります。我々J Cはこのような啓蒙活動は今後も継続していかなければならないと強く感じた1年間でした。

今回の出向では様々な活動を通して県内各地の仲間との友情を育む事ができました。このような出向という機会を与えてくださいました鈴木理事長をはじめとする長井J Cメンバーの皆様に感謝申し上げます。

誠にありがとうございました。

出向先活動開催日	内 容	場 所
2013年		
1月26日	第1回委員会	南陽市 えくぼプラザ
2月22日	第2回委員会	新庄市 新庄市民プラザ (欠席)
3月15日	第3回委員会	天童市 天童J Cルーム
4月12日	第4回委員会	酒田市 酒田J Cルーム (欠席)
5月 9日	第5回委員会	寒河江市 J Cルーム
6月11日	第6回委員会	寒河江市 寒河江J Cルーム
6月20日	第7回委員会	長井市 中央会館
7月 4日	第8回委員会	寒河江市 寒河江J Cルーム
7月 6日	ブロック大会	寒河江市
7月 7日	ブロック大会	寒河江市
7月23日	第9回委員会	新庄市 新庄J Cルーム (欠席)
9月 2日	第10回委員会	米沢市 米沢J Cルーム
11月11日	第11回委員会	上山市 上山J Cルーム (欠席)

所 感

今年度山形ブロック協議会L O M協働運動推進委員会に出向させていただきまして、大変感謝致しております。難解な名前の委員会ではありますが、主務といたしましては、ブロック内全L O Mを通じての会員拡大運動の推進、おもいやりの心を全県民に伝播するO M O I Y A R I運動事業、法人制度改革に伴う県内全L O Mの移行作業の支援と移行後のL O Mへの法人維持に関する助言など、ブロック協議会内部でも大きな責任を伴う委員会でありました。

L O Mでの経験を踏まえ、数年ぶりのブロック協議会内委員会への出向ではありましたが、事業の組み立て・展開から委員会での会議の進め方まで、今後のJ C運動を継続していく際の大きな糧となる有用な気付きを得ることができて、非常に充実した一年を過ごすことができました。ありがたい事でございます。

この出向経験の中で得た様々な気付きと、かけがえの無い仲間達と共に、この山形県の未来を明るく照らす燈火を燃やし続けたいと思います。

委員長、副会長をはじめといたします委員会の皆様、さまざまに助言・協力を下さったL O Mの皆様心から感謝いたします。ありがとうございました。

出向先活動開催日	内 容	場 所	
2012年			
12月 4日	第1回委員会	寒河江市	寒河江J Cルーム
2013年			
1月 9日	第2回委員会	寒河江市	寒河江J Cルーム
1月27日	第3回委員会	南陽市	えくぼプラザ
2月 6日	第4回委員会	東根市	東根J Cルーム
2月18日	第5回委員会	酒田市	だるま寿司
2月27日	第6回委員会	天童市	天童J Cルーム
3月18日	第7回委員会	鶴岡市	鶴岡J Cルーム
4月 9日	第8回委員会	上山市	上山J Cルーム
5月10日	第9回委員会	新庄市	新庄J Cルーム
6月23日	第10回委員会	河北町	鈴木建築
7月 6日	ブロック大会	寒河江市	
7月 7日	ブロック大会	寒河江市	
7月10日	第11回委員会	寒河江市	滝の湯ホテル
7月17日	第12回委員会	寒河江市	滝の湯ホテル
7月24日	第13回委員会	寒河江市	寒河江J Cルーム
8月26日	第14回委員会	寒河江市	寒河江J Cルーム
11月 6日	第15回委員会	寒河江市	寒河江技術交流プラザ

アカデミー委員会 悠絆塾
影 山 孝 史

所 感

開校式での大阪J C O B佐々木先輩の講話に感銘を受け、「ポジティブ～前向き～」ということ意識できた1年でした。そして、振り返ると当L O M の今年度スローガン「自己の信念を持って決断！行動！！」の素晴らしさを体感できたと思います。

第三回アカデミープログラムで各メンバーの住むまちの魅力を発表し、プレゼン力を身につけるプログラムからアカデミー委員会置賜チームが起ちあがり、相田塾長、平田幹事の真っ直ぐな心を感じながら皆で寒河江ブロック大会、秘密のケンナイショーBYアカデミーへ向け取り組み、成功させるまでのプロセスは私にとって一生の宝です。私はショーの中で上杉鷹山役をさせて頂きましたが、仲間の力がなければ自信を持って演じることは出来ませんでした。アカデミーメンバー、置賜チームのみんなには感謝の気持ちでいっぱいです。私が感じた大切な事は、地域や会社のリーダーとしての言葉や行動は、周りの人に気持ちのよさや、幸せを感じさせることが出来るということです。そんな真っ直ぐな信念、心を持ちたいと思いました。

第五回アカデミープログラムは登山と宿泊と芋煮対決と盛り沢山の内容でした。私の感覚では、第3回、第4回アカデミープログラムで刺激を与えてもらった皆様に会いに行ったようなものです。自由奔放にも思えるプログラム内容、その中でキャンプファイヤーをする場面は印象的でした。ヤハヒロ以外で火柱の前に立ったのは生まれて初めてかと思えます。火の神に感謝し歌を謡うことは、そこにいるメンバーの住んでいるまちが違うことなど忘れて一つになる時間でした。

最後になりますが、地域を愛する仲間と一緒に成し遂げた一元三流の各アカデミープログラムに出向できたことを心から感謝しています。一年間ありがとうございました。

出向先活動開催日	内 容	場 所
1月26日	アカデミー 開校式	南陽市 えくぼプラザ
5月18日	第三回アカデミープログラム	上山市体育文化センター
6月	第一回エリア会議	米沢市 第一ホテル米沢
6月	第二回エリア会議	高畠町 えびすや旅館
6月	第三回エリア会議	南陽市 えくぼプラザ
6月	第四回エリア会議	長井市 はぎ苑
7月6、7日	第四回アカデミープログラム	寒河江市
9月14、15日	第五回アカデミープログラム	米沢市 天元台スキー場

アカデミー委員会 委員 齋 藤 憲 幸

所 感

まずは、アカデミー委員会に出向という機会をいただきありがとうございました。とても充実した1年を過ごさせていただき、おかげさまで最優秀賞と皆勤賞をいただくことが出来ました。私も、もちろん全力で取り組ませていただきましたが、LOMの皆様からの応援があったからこそその結果だと思っております。本当にありがとうございました。

この1年を振り返ってみると第1回では、開講式とJCについての講演を聞き勉強し、第2回にマナー講習・座禅をすることで自分と向き合い、第3回では自分の地域の魅力を調査し発表することで住んでいる地域と向き合いました。第4回では、自分が調べた地域の魅力をもとに第4エリアとして、置賜の魅力をブロック大会の分科会で発表、次の日はたからいちへのブース出展をしました。ここでは、塾を離れ置賜エリアのメンバーと一丸となって一つの目標に向かいました。メンバー皆がどれだけ置賜のことが好きなのかを知り、強い絆が生まれたと感じました。第5回は吾妻山登山を行いアカデミー塾生全員が力を合せ一つの目標に向かうことで更に絆を深めることが出来ました。第6回ではJCゲームを行い閉講式が行われました。

最後に一言、本当に本当に楽しい一年でした、非常に多くの楽しい思い出をいただき、頼もしい仲間との出会うことが出来ました。これは一生の宝になると思います。

この一年で学んだたくさんの事をJC活動に活かして行きたいと思います。万感の思いを込めて、本当にありがとうございました。

出向先活動開催日	内 容	場 所
1月26日	開講式	南陽市 えくぼプラザ
3月24日	第二回アカデミープログラム	鶴岡市
4月17日	第一回塾会議	天童市 天童東公民館
5月 9日	第二回塾会議	天童市 天童東公民館
5月18日	第三回アカデミープログラム	上山市
6月	第一回エリア会議	米沢市 第一ホテル米沢
6月	第二回エリア会議	高畠町 えびすや旅館
6月	第三回エリア会議	南陽市 えくぼプラザ
7月	第四回エリア会議	長井市 はぎ苑
7月6、7日	第四回アカデミープログラム	寒河江市
9月14、15日	第五回アカデミープログラム	米沢市 天元台スキー場
10月26日	閉講式	天童市 滝の湯

2013年度 貸借対照表 (案)

2013年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	差 異
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	218,259	383,788	-165,529
未収助成金	0	0	0
未収会費	336,000	225,000	111,000
流動資産合計	554,259	608,788	-54,529
2. 固定資産			
(1)特定資産			
事業実施積立金	1,814,617	1,574,224	240,393
特別積立金	87,393	87,372	21
地域振興積立金	500,000	500,000	0
災害支援寄付金	3	3	0
特定資産合計	2,402,013	2,161,599	240,414
固定資産合計	2,402,013	2,161,599	240,414
資産合計	2,956,272	2,770,387	185,885
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	2,956,272	2,770,387	185,885
(うち特定資産への充当額)	(2,402,013)	(2,161,599)	(240,414)
正味財産合計	2,956,272	2,770,387	185,885
負債及び正味財産合計	2,956,272	2,770,387	185,885

2013年度 貸借対照表内訳表 (案)

2013年12月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業 会計	収益事業等 会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	109,000	0	109,259		218,259
未収助成金	0	0	0		0
未収会費	225,000	0	111,000		336,000
流動資産合計	334,000	0	220,259		554,259
2. 固定資産					
(1)特定資産					
事業実施積立金	1,814,617	0	0		1,814,617
特別積立金	87,393	0	0		87,393
地域振興積立金	500,000	0	0		500,000
災害支援寄付金	3	0	0		3
特定資産合計	2,402,013	0	0		2,402,013
固定資産合計	2,402,013	0	0		2,402,013
資産合計	2,736,013	0	220,259		2,956,272
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	0	0	0		0
流動負債合計	0	0	0		0
2. 固定負債					
固定負債合計	0	0	0		0
負債合計	0	0	0		0
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
寄付金	0	0	0		0
指定正味財産合計	0	0	0		0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
2. 一般正味財産	2,736,013	0	220,259		2,956,272
(うち特定資産への充当額)	(2,402,013)	(0)	(0)		(2,402,013)
正味財産合計	2,736,013	0	220,259		2,956,272
負債及び正味財産合計	2,736,013	0	220,259		2,956,272

2013年度 正味財産増減計算書 決算(案)

2013年1月4日から2013年12月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1)経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
特定資産運用益	0	0	0	
特定資産受取利息	0	0	0	
受取入会金	240,000	40,000	200,000	
受取入会金	240,000	40,000	200,000	12名 = ¥240,000
受取会費	3,383,000	3,261,000	122,000	
正会員会費	3,303,000	3,141,000	162,000	年初会員108,000×24名 + 年度内入会12名 ¥711,000 = ¥3303000
特別会員会費	40,000	80,000	△ 40,000	¥20,000×2名(卒業者より)
賛助会員会費	40,000	40,000	0	¥20,000×2名(長井市長、長井商工会議所会頭より)
その他会費	0	0	0	
事業収益	102,500	80,300	22,200	
登録料収益	68,000	79,000	△ 11,000	ながい寺子屋 ¥15,000 JC 杯中学野球大会 ¥45,000 地域交流事業 ¥8,000
広告料収益	0	0	0	
販売収益	34,500	1,300	33,200	親力を高める講演会 ¥34,000 JC 杯中学野球大会パンフレット販売収益 ¥500
雑収益	0	0	0	
受取補助金等	590,000	1,050,000	△ 460,000	
地方公共団体補助金	0	0	0	
民間補助金	570,000	1,000,000	△ 430,000	市民文化会館サポート事業補助金 ¥40,000 長井市 PTA 連合会 ¥30,000 長井まちづくり基金 ¥500,000
地方公共団体助成金	20,000	20,000	0	フラワーボランティア教室 長井市助成金 ¥20,000
民間助成金	0	30,000	△ 30,000	
受取負担金	0	149,670	△ 149,670	
受取負担金	0	149,670	△ 149,670	
受取寄付金	859,860	588,719	271,141	
受取寄付金	859,860	588,719	271,141	夢灯、元気創造プロジェクト企業協賛金 ¥857,000 JC カード還元金 ¥2,860
受取寄付金振替額	0	0	0	
雑収益	583	611	△ 28	
受取利息収益	583	611	△ 28	受取利息
その他の雑収益	0	0	0	
経常収益計	5,175,943	5,170,300	5,643	
(2)経常費用				
事業費	3,947,098	3,740,995	206,103	
地域開発事業	2,116,949	2,402,911	△ 285,962	
青少年育成事業	972,400	556,380	416,020	
公益事業共通	267,462	254,635	12,827	
内部例会及び会員交流系事業	240,577	162,841	77,736	
広報系事業	282,355	294,873	△ 12,518	
その他組織運営に関する事業	67,355	69,355	△ 2,000	
収益事業等共通	0	0	0	
科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
管理費	1,042,960	1,114,080	△ 71,120	
役員報酬	0	0	0	
給料手当	0	0	0	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	33,400	67,480	△ 34,080	ネームプレート、バッジ
会議費	12,810	9,450	3,360	タスパークホテル 4月例会 長井商工会議所会議室使用 7、12月
旅費交通費	0	0	0	

通信運搬費	18,355	5,415	12,940	通常総会資料郵送料、他郵送料
減価償却費	0	0	0	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	35,510	126,390	△ 90,880	スローガン看板作成、コピー代金、印鑑代金
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	315,000	360,800	△ 45,800	総会資料・手帳
燃料費	0	0	0	
光熱水料費	0	0	0	
賃借料	20,000	20,000	0	JCルームの賃借料¥20,000×12ヶ月
保険料	10,500	8,120	2,380	ボランティア活動保険：¥300×35名（年初会員数）
委託費	162,855	131,355	31,500	長井商工会議所事務員¥420,000：1ヶ月¥35,000、ホームページ作成・更新、ホスティング料等¥107,100、PV作成費31,500
租税公課	700	700	0	登記収入印紙
支払負担金	334,350	312,625	21,725	JCI負担金¥32,112：¥892×24名（年初会員数）＋¥892×12名（新規会員数） 日本JC負担金¥165,000：¥30,000（基本額）＋¥5,000×30名（7月時点会員数）＋¥2,500×6名（7月以降入会会員） 地区協議会負担金¥50,000：¥5,000（基本金）＋¥1,500×30名（7月時点会員数）＋¥10,000×0名（ゼミナール委員出向者数） ブロック協議会負担金¥170,000：¥10,000（基本金）＋¥5,000×30名（7月時点会員数）＋¥5,000×2名（アカデミー委員出向者数） 国際協力資金¥65,700：¥1,825×36名 日本JC出向者負担金¥0：0 We Believe購読料¥89,000：¥3,000×24名（年初会員数）＋¥17,000（新規会員分）
支払寄付金	0	0	0	
支払利息	0	0	0	
交際費	83,560	57,400	26,160	関係団体年会費5団体¥42,000 周年会議所お祝い、電報他¥41,560
雑費	15,920	14,345	1,575	京都会議登録料¥7,700 残高証明書¥2,100 納税証明書¥1,200 他振込手数料
経常費用計	4,990,058	4,855,075	134,983	
評価損益等調整前当期経常増減額	185,885	315,225	△ 129,340	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	185,885	315,225	△ 129,340	
2. 経常外増減の部			0	
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	185,885	315,225	△ 129,340	
一般正味財産期首残高	2,770,387	2,455,162	315,225	
一般正味財産期末残高	2,956,272	2,770,387	185,885	
II 指定正味財産増減の部			0	
受取補助金等	0	0	0	
．．．．．	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	2,956,272	2,770,387	185,885	

2013年度正味財産増減計算書（事業区分単位） 決算内訳表（案）

2013年1月4日から2013年12月31日まで

（単位：円）

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引控除	合 計
	公1 地域開発事業	公2 青少年育成事業	小 計	他1 内部例会及び 会員交流系事業	他2 広報紙事業	他3 その他組織運営 に関する事業			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産運用利益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取入会金	0	240,000	240,000	0	0	0	0	0	240,000
受取入会金	0	240,000	240,000	0	0	0	0	0	240,000
受取会費	0	1,815,311	1,815,311	0	0	0	582,287	582,287	3,383,000
正会員会費	0	1,775,311	1,775,311	0	0	0	582,287	582,287	3,383,000
特別会員会費	0	20,000	20,000	0	0	0	0	0	40,000
賛助会員会費	0	20,000	20,000	0	0	0	20,000	20,000	40,000
その他会費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業収益	0	94,500	94,500	8,000	8,000	0	8,000	8,000	102,500
登録料収益	0	60,000	60,000	8,000	8,000	0	8,000	8,000	68,000
広告料収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
販売収益	0	34,500	34,500	0	0	0	0	0	34,500
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取補助金等	500,000	90,000	590,000	0	0	0	0	0	590,000
地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
民間補助金	500,000	70,000	570,000	0	0	0	0	0	570,000
地方公共団体助成金	0	20,000	20,000	0	0	0	0	0	20,000
民間助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	857,000	0	857,000	0	0	0	0	0	859,860
受取寄付金振替額	857,000	0	857,000	0	0	0	2,860	2,860	859,860
雑収益	0	414	414	0	0	0	0	0	583
受取利息収益	0	414	414	0	0	0	169	169	583
その他の雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常収益計	1,857,000	184,500	3,567,225	8,000	8,000	0	582,287	582,287	5,175,943
(2) 経常費用									
事業費	2,116,949	972,400	3,356,811	240,577	282,355	67,355	590,287	590,287	3,947,098
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時雇賃金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	68,550	0	0	0	0	68,550
会議費	0	0	0	26,570	0	0	0	0	26,570
旅費交通費	0	30,000	30,000	0	0	0	0	0	30,000
通信運搬費	320	8,380	8,700	0	3,040	0	0	3,040	11,740
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗什器備品費	437,388	280,330	717,718	12,635	6,940	0	0	19,575	737,293
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	383,575	135,845	524,420	19,480	140,918	0	0	160,398	689,818
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	0	840	840	0	0	0	0	0	840

賃借料	96,645	108,500	0	0	265,145	31,275	20,000	20,000	0	71,275	0	0	0	276,421
保険料	0	5,400	0	0	5,400	2,000	0	0	0	2,000	0	0	0	7,400
諸謝金	364,015	269,575	0	0	633,590	0	0	0	0	0	0	0	0	633,590
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	267,462	0	267,462	0	0	0	0	0	0	0	0	267,462
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	742,530	116,130	0	0	858,660	68,775	111,457	47,355	0	227,587	0	0	0	1,086,247
有価証券運用損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	82,476	17,400	0	0	99,876	11,292	0	0	0	11,292	0	0	0	111,168
管理費									1,042,960		0	0	0	1,042,960
役員報酬									0		0	0	0	0
給料手当									0		0	0	0	0
退職給付費用									0		0	0	0	0
福利厚生費									33,400		0	0	0	33,400
会議費									12,810		0	0	0	12,810
旅費交通費									18,355		0	0	0	18,355
通信運搬費									0		0	0	0	0
減価償却費									0		0	0	0	0
消耗什器備品費									35,510		0	0	0	35,510
消耗品費									0		0	0	0	0
修繕費									315,000		0	0	0	315,000
印刷製本費									0		0	0	0	0
燃料費									0		0	0	0	0
光熱水料費									0		0	0	0	0
賃借料									20,000		0	0	0	20,000
保険料									10,500		0	0	0	10,500
委託費									162,855		0	0	0	162,855
租税公課									700		0	0	0	700
支払負担金									334,350		0	0	0	334,350
支払利息									0		0	0	0	0
交際費									0		0	0	0	0
雑費									83,560		0	0	0	83,560
経費費用計	2,116,949	972,400	267,462	0	3,356,811	240,577	282,355	67,355	0	590,287	0	0	0	4,990,058
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 759,949	△ 787,900	1,788,263	0	240,414	△ 232,577	△ 282,355	△ 67,355	582,287	0	0	0	0	185,885
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 759,949	△ 787,900	1,788,263	0	240,414	△ 232,577	△ 282,355	△ 67,355	582,287	0	0	0	0	185,885
2. 経常外増減の部														
(1) 経常外収益														
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用														
中科目別記載	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 759,949	△ 787,900	1,788,263	0	240,414	△ 232,577	△ 282,355	△ 67,355	582,287	0	0	0	0	185,885
一般正味財産前期末残高	0	0	2,495,599	0	2,495,599	0	0	0	0	0	0	0	0	2,770,587
一般正味財産期末残高	△ 759,949	△ 787,900	4,283,862	0	2,736,013	△ 232,577	△ 282,355	△ 67,355	582,287	0	0	0	0	2,956,272
II 指定正味財産増減の部														
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産前期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	△ 759,949	△ 787,900	4,283,862	0	2,736,013	△ 232,577	△ 282,355	△ 67,355	582,287	0	0	0	0	2,956,272

2013年度 財務諸表に対する注記（案）

1. 継続事業の前提に関する注記

該当無し。

2. 重要な会計方針

- (1) 価証券の評価基準及び評価方法
該当無し。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当無し。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
該当無し。
- (4) 引当金の計上基準
該当無し。
- (5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲
該当無し。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当無し。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	608,788	111,000	△165,529	554,259
小 計	608,788	111,000	△165,529	554,259
特定資産				
事業実施積立金	1,574,224	240,393	0	1,814,617
特別積立金	87,372	21	0	87,393
地域振興積立金	500,000	0	0	500,000
災害支援寄付金	3	0	0	3
小 計	2,161,599	240,414	0	2,402,013
合 計	2,770,387	351,414	△165,529	2,956,272

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当額)	(うち一般正味 財産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産	554,259		554,259	
小 計	554,259	0	554,259	0
特定資産				
事業実施積立金	1,814,617	0	1,814,617	0
特別積立金	87,393	0	87,393	0
地域振興積立金	500,000	0	500,000	0
災害支援寄付金	3	0	3	0
小 計	2,402,013	0	2,402,013	0
合 計	2,956,272	0	2,956,272	0

6. 担保に供している資産

該当無し。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当無し。

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当期債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当期債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債 権 金 額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収会費	336,000	0	336,000
合 計	336,000	0	336,000

9. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当無し。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当無し。

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交 付 者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
地方公共団体補助金 フラワーボランティア 事業助成金	長井市	0	20,000	20,000	0	
民間補助金 長井まちづくり 基金助成金	長井まちづくり 基金委員会	0	500,000	500,000	0	
市民文化会館サポート 事業補助金	長井市まちづく り青少年育成市 民会議		40,000	40,000	0	
長井市PTA連合会 補助金	長井市PTA連 合会	0	30,000	30,000	0	
合 計		0	590,000	590,000	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当無し。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
事業実施による振替額	0
合 計	0

14. 関連当事者との取引の内容

該当無し。

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当無し。

16. 重要な後発事象

該当無し。

17. その他

該当無し。

2013年度 附属明細書（案）

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載。

2. 引当金の明細

該当無し。

2013年度 財産目録(案)

2013年12月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場 所・物 量 等	使 用 目 的 等	金 額
(流動資産)				
	現金	手元保管		104,086
	預金	普通預金 山形中央信用組合本店 口座番号 1417583		0
		普通預金 山形銀行長井支店 口座番号 0010707		114,173
		普通預金 きらやか銀行長井支店 口座番号 100960		0
		普通預金 荘内銀行長井支店 口座番号 149318		0
	未収会費	大滝和春君 2010 年度分 (¥116,000) 大滝和春君 2011 年度分 (¥109,000)	移行前なので公益目的事業会計 移行前なので公益目的事業会計	225,000
		菅原純一君 2013 年度分 (¥111,000)		111,000
流動資産合計				554,259
(固定資産)				
特定資産	事業実施積立金	定期預金 山形中央信用組合本店 口座番号 00008910	公益目的事業会計の収支決算に 損失が生じたとき、損失額の補填を 目的とする。	1,794,617
		現金		20,000
	特別積立金	普通預金 山形銀行長井支店 口座番号 3033050068	公益目的事業会計の収支決算に 損失が生じたとき、損失額の補填を 目的とする。	87,393
	地域振興積立金	有価証券	山形鉄道株の有価証券で、 地域振興を目的とする。	500,000
	災害支援寄付金	普通預金 山形銀行長井支店 口座番号 3129454	災害支援事業に充てる目的で、 受け入れた寄付金。	3
固定資産合計				2,402,013
資産合計				2,956,272
(流動負債)				
流動負債合計				0
(固定負債)				
固定負債合計				0
負債合計				0
正味財産				2,956,272

2013年度 委員会別事業費収支予算書 決算(案)

(単位：円)

事業名称	事業区分	当 年 度		
		事業費	事業別収入	事業費 繰入収入
ひとづくり委員会				
親力を高める講演会の実施	公2	389,813	104,000	285,813
ながい寺子屋	公2	190,204	15,000	175,204
第22回JC杯中学野球大会の実施	公2	96,869	45,500	51,369
第22回JC杯中学野球大会一年生の部	公2	32,558	0	32,558
納涼パーティーの実施	他1	0	0	0
教育座談会		1,000	0	1,000
小計		710,444	164,500	545,944
まちづくり委員会				
地域交流事業	他1	8,000	8,000	0
長井駅周辺設備事業	公1	37,340	0	37,340
フラワーボランティア教室	公2	66,826	20,000	46,826
地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯」	公1	835,237	632,000	203,237
地域の元気創造事業(仮)	公1	892,139	725,000	167,139
防災に関する事業(仮)	公1	4,870	0	4,870
クリスマスパーティー	他1	0	0	0
小計		1,844,412	1,385,000	459,412
事務局				
新春賀詞交歓会	他2	15,000	0	15,000
置賜4JC合同例会	他1	25,000	0	25,000
卒業式	他1	78,550	0	78,550
記録の管理	他3	0	0	0
ブロック大会たからいちへの参加協力	公1	70,000	0	70,000
小計		204,650	0	204,650
総務局				
次年度理事長候補者所信発表例会	他1	4,650	0	4,650
広報誌「あゆみ」	他2	200,000	0	200,000
小計		204,650	0	204,650
未来創造会議				
会員拡大ミーティング	他1	8,252	0	8,252
入会説明会	他1	9,750	0	9,750
入会説明会7月	他1	5,915	0	5,915
入会説明会11月	他1	430	0	430
長井JCアカデミー	他1	8,040	0	8,040
第2回長井JCアカデミー	他1	2,215	0	2,215
人材育成講座	公1	81,233	0	81,233
小計		115,835	0	115,835
合 計		3,063,891	1,549,500	1,514,391

監査報告書

公益社団法人長井青年会議所

理事長 鈴木 喜典 殿

2013年1月1日から2013年12月31日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて計算書類の正当性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し理事からの報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書・貸借対照表及び財産目録は会計帳簿の金額と一致し法人の収支状況及び財産状態を正しく表示しているものと認められる。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認められる。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認められる。

以上

平成 26 年 1 月 10 日

公益社団法人 長井青年会議所

監 事 飯 鉢 文 義 

備 品 目 録

〔2013年度12月31日現在〕

1、木製書（89年度卒業記念寄贈）	1台
2、演題（90年度卒業記念寄贈）	1台
3、黒板（90年度卒業記念寄贈）	1台
4、ネームプレートキャリーバック（91年度卒業記念寄贈）	1台
5、スチール書庫	3台
6、書類（天童寺派館長関牧翁師書他）	1額
7、ゴング（米沢JC寄贈）	1式
8、野球ユニフォーム	10着
9、JC法被	26着
10、JC綱領版（新潟JC寄贈）	1式
11、腕章	19本
12、CD（国家、JCソング他）	1枚
13、JCジャンパー	25着
14、入会認定書	1額
15、日本青年会議所新聞（縮刷版）Vol. 1～3	1式
16、祭事用テント（95年度卒業記念寄贈）	1張
17、拡声器（96年度卒業記念寄贈）	1台
18、例会場看板（97年度卒業記念寄贈）	1枚
19、プレジデントリーフ（98年度卒業記念寄贈）	1式
20、国旗、JC旗（99年度卒業記念寄贈）	1式
21、デジタルカメラ（00年度卒業記念寄贈）	1台
22、PCカード	1枚
23、ICレコーダー（04年度卒業記念寄贈）	1台
24、プレジデントリーフ JC Iマーク変更の為（06年度卒業記念寄贈）	1式
25、ハンマー JC Iマーク変更の為（06年度卒業記念寄贈）	1台
26、JC旗 JC Iマーク変更の為（06年度卒業記念寄贈）	1式
27、JCゴング JC Iマーク変更の為マーク部分のみ（06年度卒業記念寄贈）	1台
28、デジタルビデオ	1台
29、ホワイトボード	1台
30、テント	3貼



1月 新春賀詞交歓会



2月 雪灯り回廊まつり



3月 会頭公式訪問



3月 地域交流事業



3月 入会説明会



4月 新入会員セミナー



5月 人材育成講座



5月 長井駅周辺整備事業_春



6月 ASPAC光州 (韓国)



6月 元気創造プロジェクト



6月 夢灯1



6月 夢灯2



7月 ながい寺子屋1



7月 ながい寺子屋2



7月 ブロック大会寒河江



9月 親力を高める講演会



10月 4JC合同例会



10月 中学野球大会1年生



10月 全国大会奈良



11月 ブロック卒業式



11月 卒業式

〒993-0011 山形県長井市船田北6番27号 [長井商工会議所内] TEL.0238-84-5394 FAX.0238-88-3778 <http://nagai-ic.jp/> E-mail : info@nagai-ic.jp